

TOTO

施工説明書

レストルームドレッサー システムシリーズ

Mサイズ/Lサイズ キャビネットタイプ

Mサイズ (ULF 2B/2C/2D/2E)

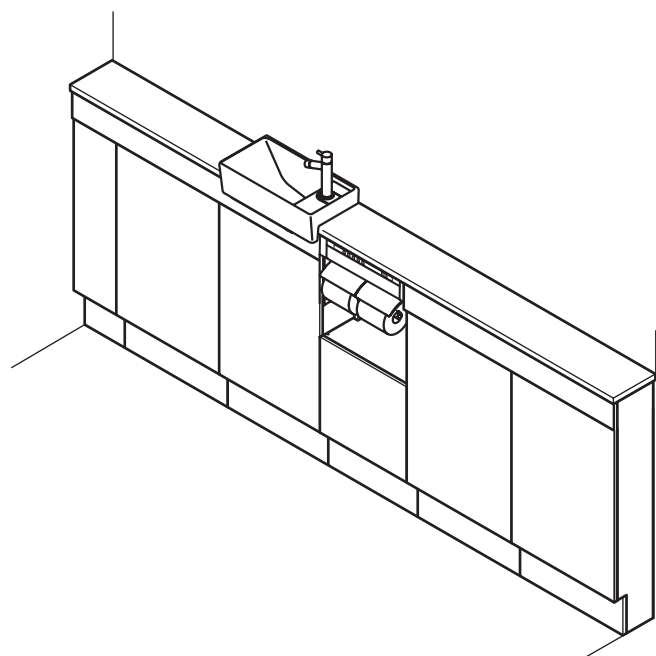
Lサイズ ベッセルタイプ (ULF 3B/3C/3D/3E/5D)

Lサイズ ボウル一体タイプ (ULF 4B/4C/4D/4E/6D)

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

製品の機能が十分発揮できるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

本書はMサイズ(左勝手)を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。



商品タイプの確認 2

情報編 3

- | | |
|--------------|----|
| 1. 安全上のご注意 | 4 |
| 2. 取り付け前のご注意 | 6 |
| 3. 部品の確認 | 17 |

手順編 23

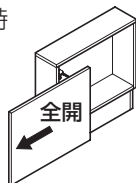
工事店様へ

取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。

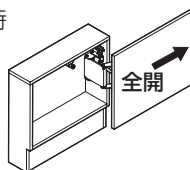
お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。

スライド扉を閉める際、扉が途中で止まる場合は、いったん全開にしてください。

左スライドの時

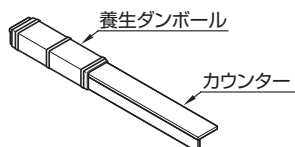


右スライドの時



【Mサイズの場合】

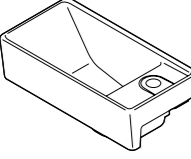
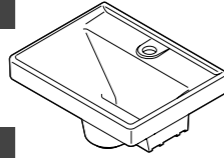
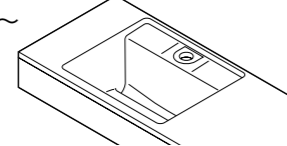
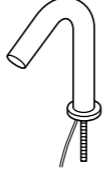
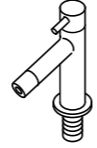
カウンターの養生ダンボールは、切欠部保護のため、カウンターを取り付ける直前まで外さないでください。



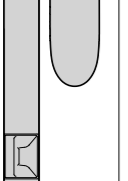
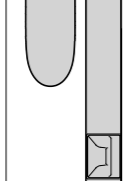
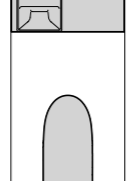
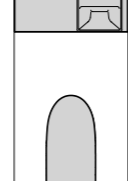
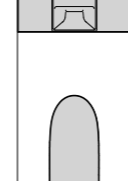
商品タイプの確認

商品タイプにより施工手順が異なります。

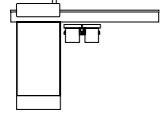
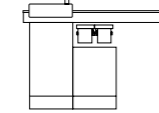
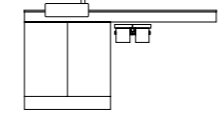
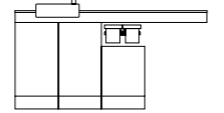
お施主様のお宅は、どのタイプですか？

手洗器		水栓金具	
Mサイズ	Lサイズ	自動水栓	ハンドル式水栓
品番: ULF2~ 	ベッセルタイプ 品番: ULF3/5~  ボウル一体タイプ 品番: ULF4/6~ 		

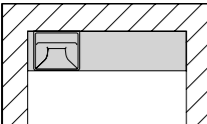
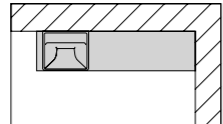
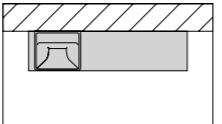
手洗器位置 ※図は1方エプロン・Lサイズベッセルタイプ

側面設置		対面設置		
左勝手	右勝手	左勝手	右勝手	中央・振り分け指定
				

キャビネット ※図はMサイズ側面設置

片扉		両扉	
紙巻器下収納なし	紙巻器下収納あり	紙巻器下収納なし	紙巻器下収納あり
品番: ULF□B~ 	品番: ULF□C~ 	品番: ULF□D~ 	品番: ULF□E~ 

エプロン形状 ※図はLサイズベッセルタイプ

1方エプロン	2方エプロン	3方エプロン	タイプ
			品番: ULF□□□□■~ A : パッケージタイプ(ショート) B : パッケージタイプ(ミドル) C : パッケージタイプ(ロング) O/1: フリーサイズタイプ

情報編

1. 安全上のご注意 ▶ 4

2. 取り付け前のご注意 ▶ 6

1 専用大便器	6
2 設置寸法	6
3 給排水位置	10
4 補強材位置	12
5 壁開口(Mサイズでビルトインリモコンありの場合のみ)	12
6 電気工事	13
7 コンセント位置	13
8 幅木	15
9 窓枠	16

3. 部品の確認 ▶ 17

1. 安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取り付け前にこの「安全に関するご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。

警告 誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。








注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害※の発生が想定される」内容です。


●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

禁止 してはいけない「禁止」の内容です。



必ず守る 必ず実行していただく「強制」の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。


	修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 火災や感電の原因となります。		ぬれた手で、スイッチやコンセント部分、電源プラグにさわらない 感電の原因となります。	
	アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。		浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない 火災や感電の原因となります。 商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。	
	水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は使用しない 皮膚の炎症などを起こす原因となります。	器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。		
		給水および排水管の真下部にコンセントを設置したり、ウォシュレット用のホースとコンセントを接触させたりしない 結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。	
	指定する電源交流100V以外では使用しない 火災の原因となります。	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因となります。	雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因となります。	
	電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいまま使用しない 火災や感電の原因となります。	屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けない 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。		
	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏に補強材を入れる 取り付け物の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。		
	取り付け面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。		
	コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。	コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。		
電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。				
電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因となります。				


警告  機器の設置は専門業者が行う
また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う
火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。

手洗器用クッション材の張り付け、シリコン系シール剤の塗布(コーキング)は確実に
水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。


	給水ホースが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の原因となります。	商品に強い力や衝撃を与えない 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。 水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	カウンターの上に乗って作業しない カウンターが破損したり落下したりして、けがの原因となります。
	凍結のおそれがある地域では、配管部材などに保温材を巻く また寒冷地用の場合は水抜きを行う 自動水栓は、自動水栓施工説明書内「寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。
	ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 商品が破損し、けがをする原因となります。	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。
	手洗器・器具周囲のすき間処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 水が浸入し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	水準器を用いて水平に設置する 収納物が落下してけがの原因となります。	カットした面は滑らかに仕上げる 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。
	推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。	金属露出部や鋭利な部位を扱うときは、軍手などを使用する 取り付け時にけがをする原因となります。
給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは、接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の原因となります。 ※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓を取り付けてください。	【バケージタイプ(ショート)の場合】 必ず角当て材を取り付ける 幕板のエッジにぶつかり、けがをするおそれがあります。	


マーク表示について

 寒冷地仕様の場合を示します。

 下穴をあけてください。(例:φ3の場合)

  けがきをしてください。

 電動ドライバー使用禁止です。手締めしてください。

 シールテープを巻いてください。

  水準器で水平・垂直確認してください。

2. 取り付け前のご注意

1 専用大便器

レストルームドレッサーシステムシリーズと組み合わせる大便器は、**ビルトインリモコンの設置有無**で異なります。下記に従って、大便器を選択してください。

① ビルトインリモコンを設置する場合

- 必ず右に示す専用の大便器を設置してください。
- 専用品以外の大便器を設置された場合、ビルトインリモコンは作動いたしませんので、十分ご注意ください。
- 専用大便器の品揃えは右記の2種類です。

② ビルトインリモコンを設置しない場合

一般の大便器を設置してください。

専用大便器

ネオレストハイブリッドシリーズ AHW
(レストルームドレッサー専用品)

ネオレストハイブリッドシリーズ RHW
(レストルームドレッサー専用品)

2 設置寸法

レストルームドレッサーシステムシリーズを快適にご使用いただくためには、以下に示すトイレ寸法を確保してください。ドアとの位置関係を事前にご確認ください。ドアとの位置によってドア枠とカウンターなどが干渉してしまうことがあります。

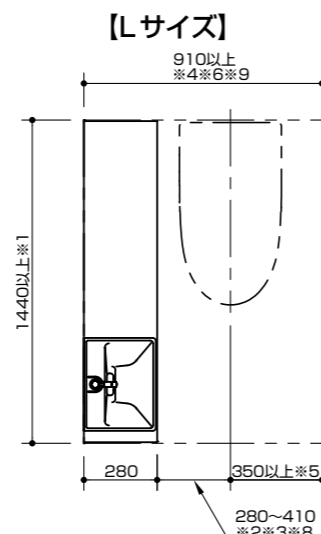
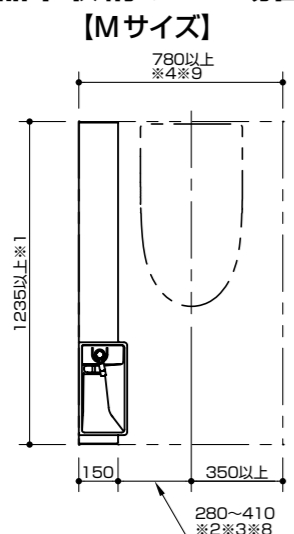
① 側面設置の場合

本図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。

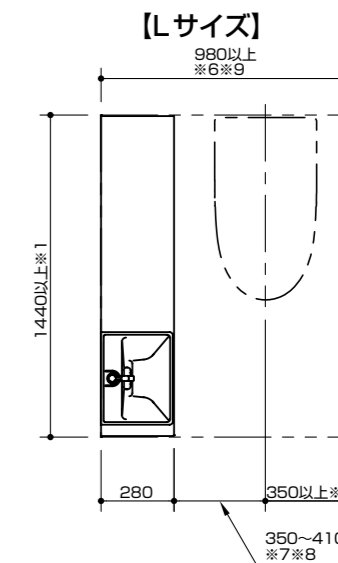
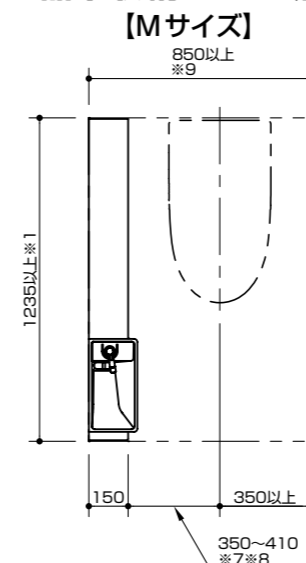
① カウンター側に紙巻器を設置する場合

リモコンを壁に設置する場合は、カウンター側の横壁に設置してください。ただし、Lサイズで便器中心からカウンター側の横壁までが600mmを超える場合は、カウンターと反対側の横壁に設置してください。

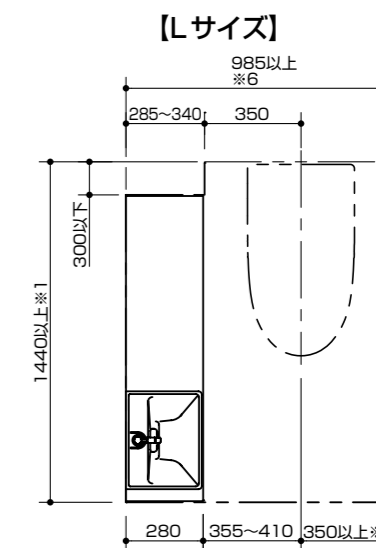
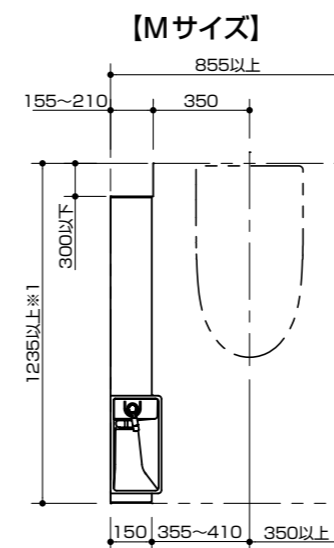
① 紙巻器下収納なしの場合



② 紙巻器下収納ありの場合



③ 立管対応の場合(フリーサイズタイプのみ)



- ※1 商品タイプや便器によって最小奥行寸法が異なります。
- ※2 オプションのインテリア・バー、ハンドグリップをカウンター側の横壁に設置する場合は、280～350mmとなります(Lサイズの場合、ハンドグリップは使い勝手が悪いいため設置不可)。
- ※3 右勝手にピュアレストEX/QRを設置する場合は、310～410mmとなります。
- ※4 右勝手にピュアレストEX/QRを設置する場合は、Mサイズ:810mm～、Lサイズ:940mm～となります。
- ※5 リモコンをカウンターと反対側の壁に設置する場合は、～600mmとなります。
- ※6 リモコンをカウンターと反対側の壁に設置する場合は、～1290mmとなります。
- ※7 オプションのインテリア・バー、ハンドグリップをカウンター側の横壁に設置する場合は、350mmとなります(Lサイズの場合、ハンドグリップは使い勝手が悪いいため設置不可)。
- ※8 左勝手にピュアレストEX/QRにウォシュレットSBをセットする場合は、410mmとなります。
- ※9 左勝手にピュアレストEX/QRにウォシュレットSBをセットする場合は、Mサイズ:910mm～、Lサイズ:1040mm～となります。

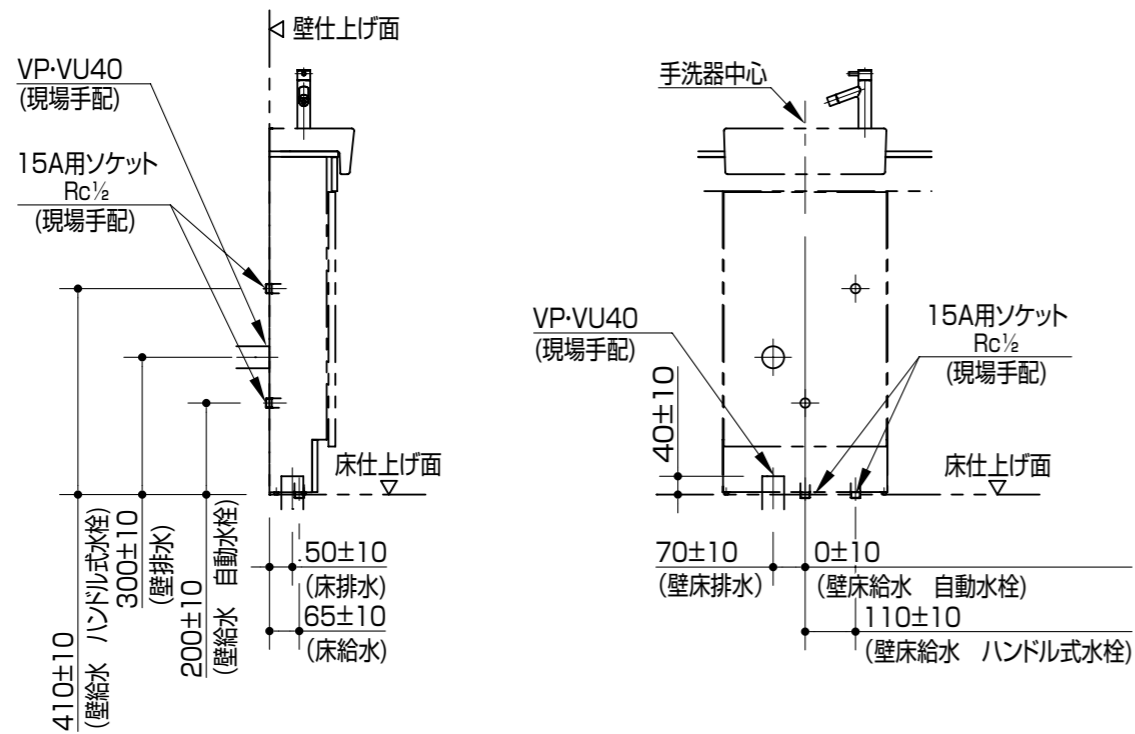
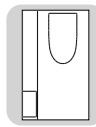
3 給排水位置

Mサイズ

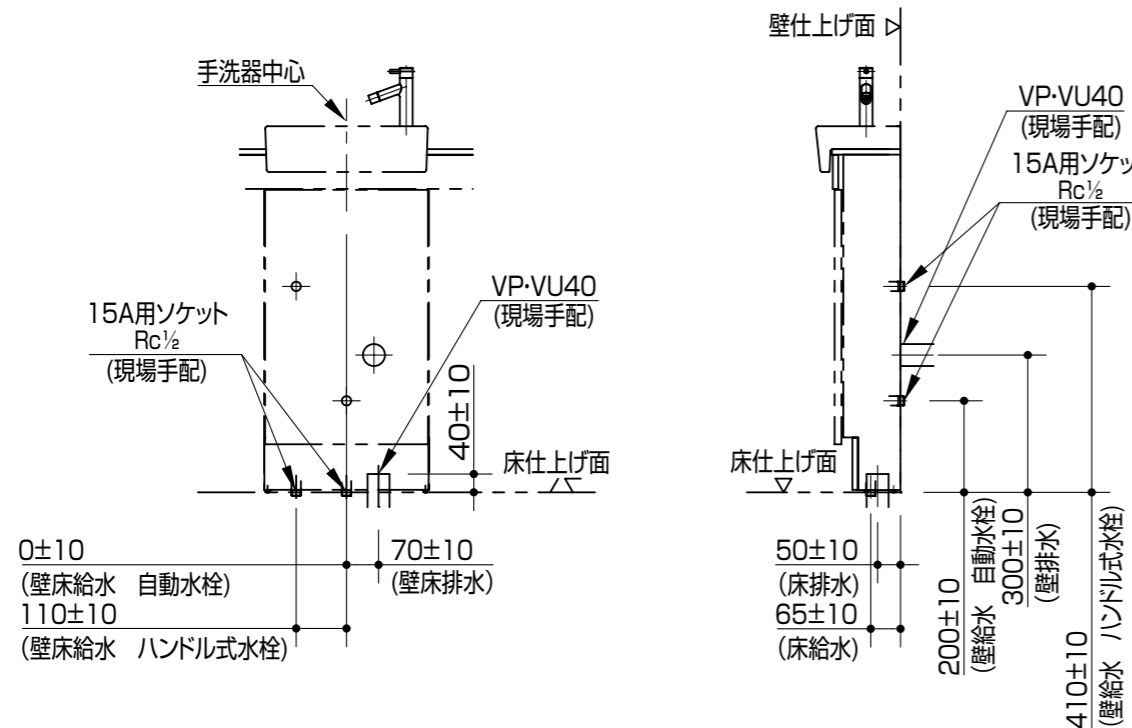
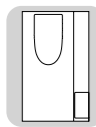
- 片扉・両扉とも、図中の寸法は共通です(図は片扉の場合)。
- 設備側給水管の取り出しは壁・床仕上げ面と同一面(±10)とする。
- 設備側排水管の取り出しは壁排水の場合、壁仕上げ面と同一面(±10)とする。
床排水の場合、床仕上げ面より40±10で取り出してください。
- 電気温水器を設置する場合も同位置になります。
- 給水圧力は、最低必要水圧:0.05MPa(流動時)最高水圧:0.75MPa(静止時)です。
この圧力範囲でご使用ください。

参照 大便器の給排水位置は、大便器の施工説明書をご覧ください。

左勝手



右勝手

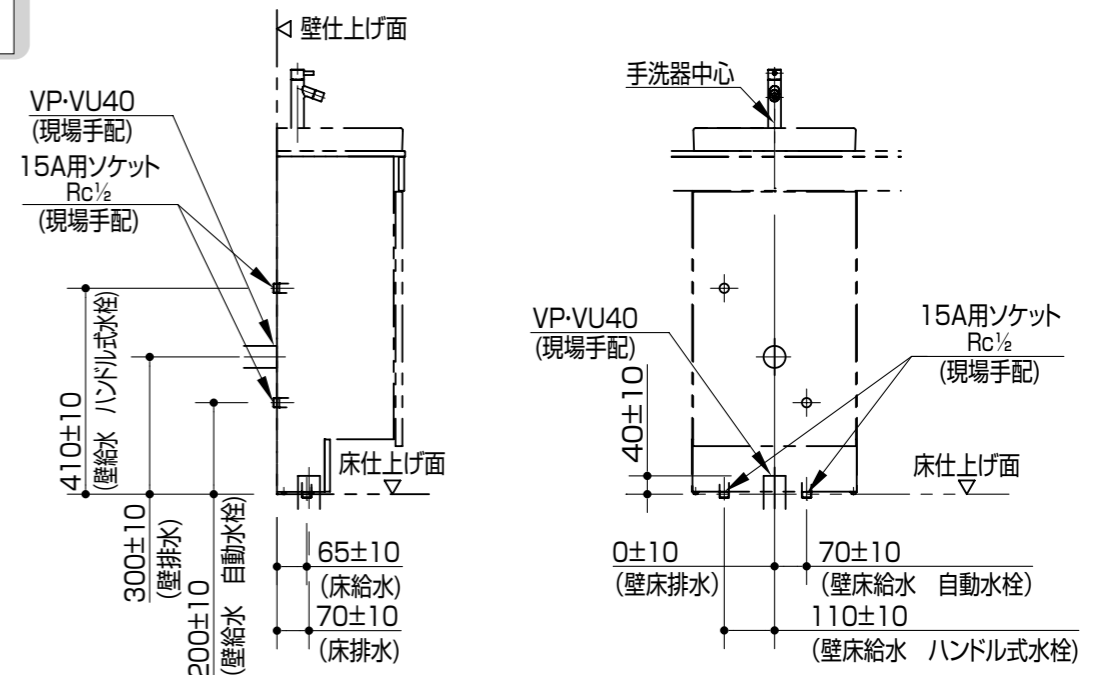
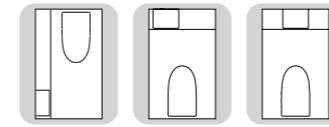


Lサイズ

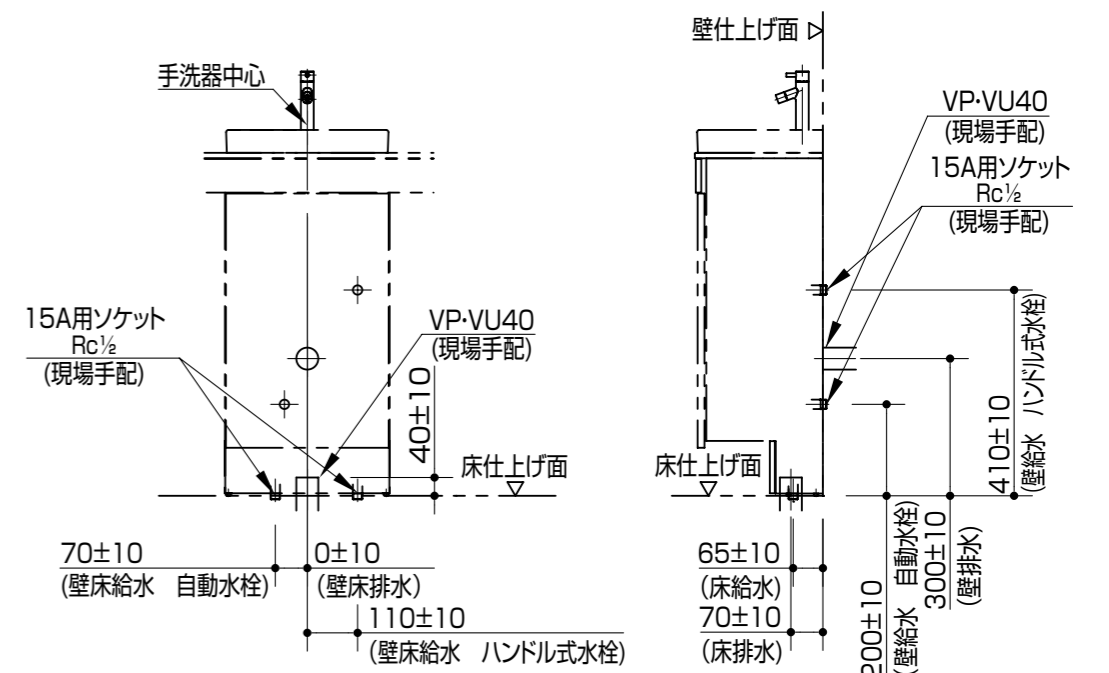
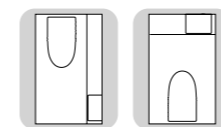
- 片扉・両扉とも、図中の寸法は共通です(図は片扉の場合)。また、ベッセルタイプ・ポウルー体タイプとも共通です(図はベッセルタイプの場合)。
- 設備側給水管の取り出しは壁・床仕上げ面と同一面(±10)とする。
- 設備側排水管の取り出しは壁排水の場合、壁仕上げ面と同一面(±10)とする。
床排水の場合、床仕上げ面より40±10で取り出してください。
- 電気温水器を設置する場合も同位置になります。
- 給水圧力は、最低必要水圧:0.05MPa(流動時)最高水圧:0.75MPa(静止時)です。
この圧力範囲でご使用ください。

参照 大便器の給排水位置は、大便器の施工説明書をご覧ください。

左勝手・中央・振り分け指定



右勝手



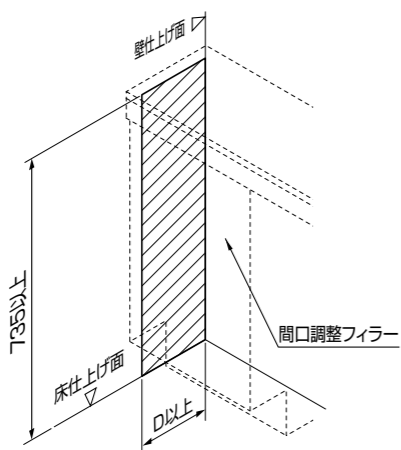
4 補強材位置(必ず入れる)

ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。
[URL]
<http://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/default.htm>

- 建築工事(別途工事)にて、手洗器およびカウンター、周辺部材の壁固定ねじ取り付け位置には、あらかじめt12以上の補強用合板(JAS規格相当品)を壁面に入れておいてください。合板は受木または間柱などに固定してください。タイル・コンクリート壁の場合は、固定ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んで固定してください。

間口調整フィラーが付く場合(エンドスペーサーの場合は補強材不要)

間口調整フィラーを設置する側の側面壁(図の斜線範囲)にも、t12以上の補強用合板(JAS規格相当品)を入れてください。合板は受木または間柱に固定してください。

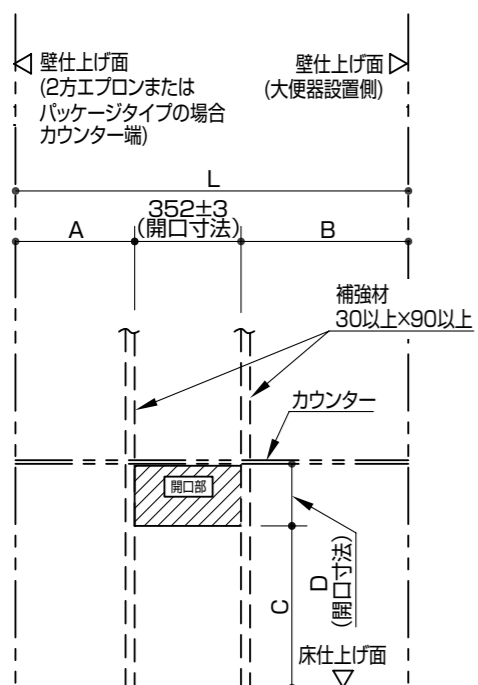
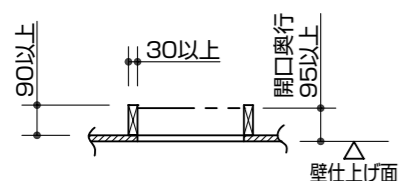


(単位:mm)

タイプ	D
Mサイズ	125
Lサイズ	255

5 壁開口(Mサイズでビルトインリモコンありの場合のみ)

図に示す位置に、あらかじめ開口が必要となります。本図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。



(単位:mm)

エプロン	扉	L	A	B
1方	片扉	1372 ~ 1493	411 ±3	L-763 ±3
		1494 ~ 1950	L-1082 ±3	730 ±3
	両扉	1596 ~ 1796	715 ±3	L-1067 ±3
		1797 ~ 1850	768 ±3	L-1120 ±3
2方	片扉	1342 ~ 1376	363 ±3	L-715 ±3
		1377 ~ 1495	416 ±3	L-768 ±3
		1496 ~ 1920	L-1079 ±3	727 ±3
	両扉	1681 ~ 1798	720 ±3	L-1072 ±3
		1799 ~ 1852	773 ±3	L-1125 ±3
		1853 ~ 1920	L-1079 ±3	727 ±3
パッケージタイプの場合		363 ±3	L-715 ±3	

(単位:mm)

タイプ	C	D
手洗器キャビネットのみ	535 ±3	199 ±3
手洗器キャビネット +紙巻器下収納	450 ±3	284 ±3

6 電気工事

各器具および大便器の消費電力をご確認のうえ、適切な配線を行ってください。

器具	定格消費電力 ※1	定格消費電源
電気温水器	505W ※2	AC100V (50/60Hz)
ビルトインリモコン	待機時1W (作動時6W)	
自動水栓	待機時0.4W (最大3W) 作動時0.6W (最大5W)	
専用大便器 (ネオレストAHW/RHW レストルームドレッサー専用品)	一般地1383W (寒冷地1423W)	

※1 一般地：流動方式兼用
寒冷地：ヒーター付便器・水抜併用方式

※2 沸上がり温度約38°C、タンク容量約1L、元止め式の場合

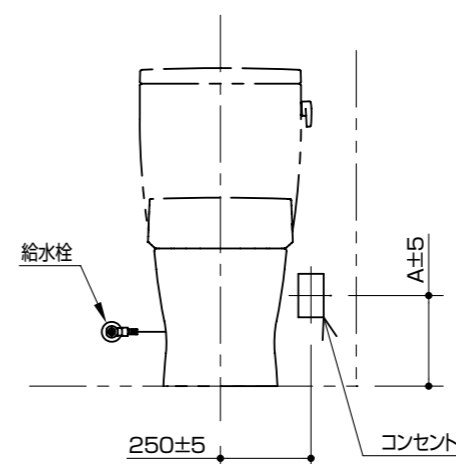
- 上表の各器具以外の電気器具を設置する場合は消費電力をご確認のうえ、適切な配線を行ってください。

7 コンセント位置

大便器側(参考)

本商品と組み合わせるウォシュレット用のコンセントは、便器を挟んで給水栓と反対側に接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式1口コンセントを設置してください。

※ピュアレストEXおよびQR(ヒーター付便器・水抜併用方式)にウォシュレットを設置する場合は、接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセントを設置してください。



(単位:mm)

大便器	A
ネオレスト AH/AHW・RH/RHW・DH (床排水・壁排水後ろ抜き)	250
ネオレスト AH/AHW・RH/RHW・DH (壁排水左右抜き)	350
GG	250
ピュアレストEX・QR	250

手洗器側

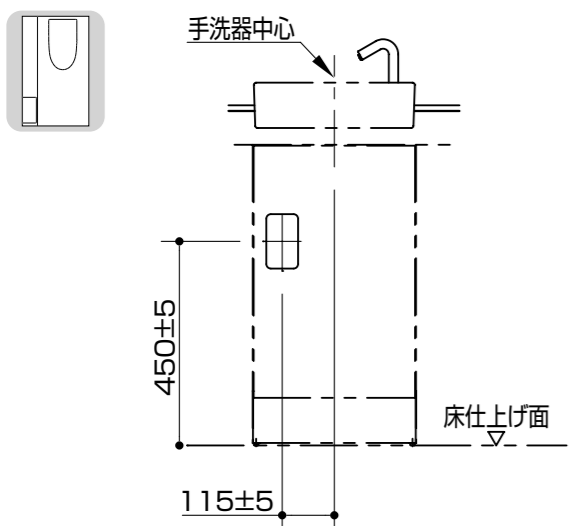
●自動水栓・電気温水器・ビルトインリモコンを設置する場合は図を参照し、コンセントを壁仕上げ面に設置してください。背板を開口してカバーする仕様になります。

▶▶設置するコンセントの種類は、P.76「**1** 電源コンセントの確認」に記載されている一覧表を参照

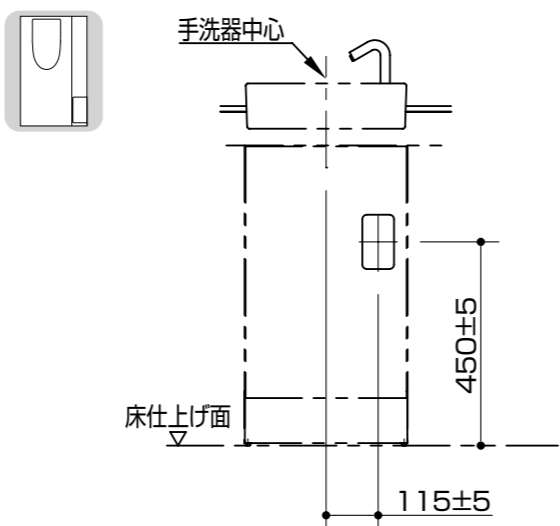
Mサイズ

●片扉・両扉とも共通です(図は片扉)。

左勝手



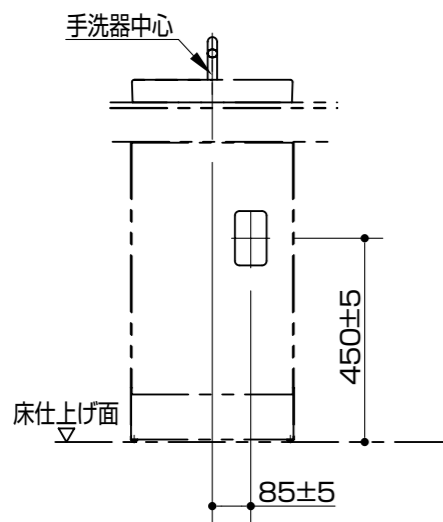
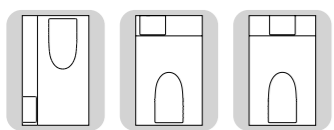
右勝手



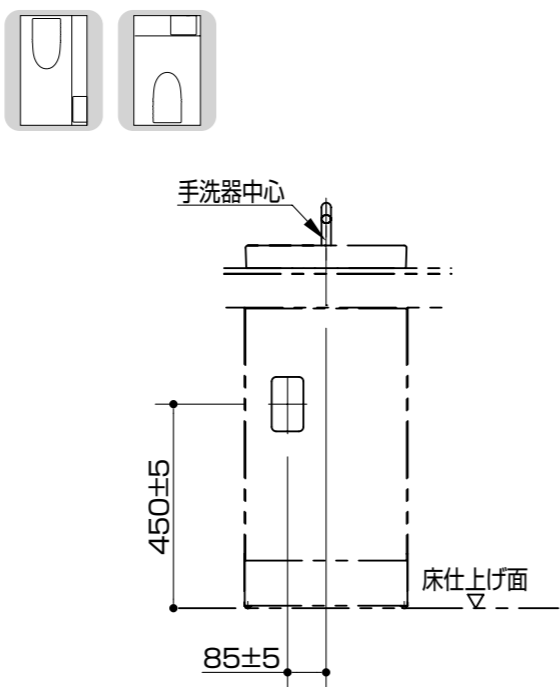
Lサイズ

●片扉・両扉とも共通です(図は片扉)。また、ベッセルタイプ・ポウル一体タイプとも共通です(図はベッセルタイプ)。

左勝手・中央・振り分け指定



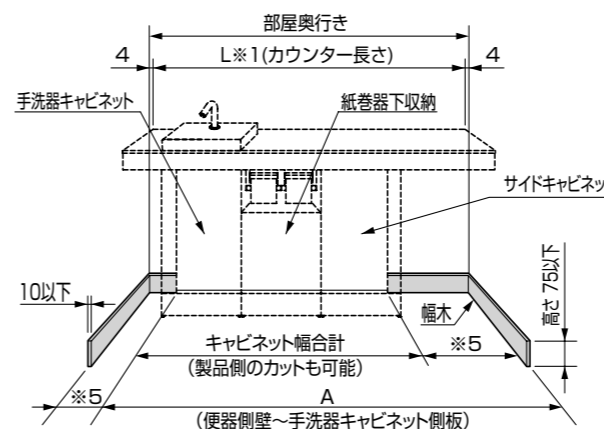
右勝手



8 幅木

キャビネット設置部分の幅木を図のようにカットしておいてください。
※使用する幅木は高さ75mm以下、厚さ10mm以下にしてください。製品と干渉したり、製品側がカットできなくなります。

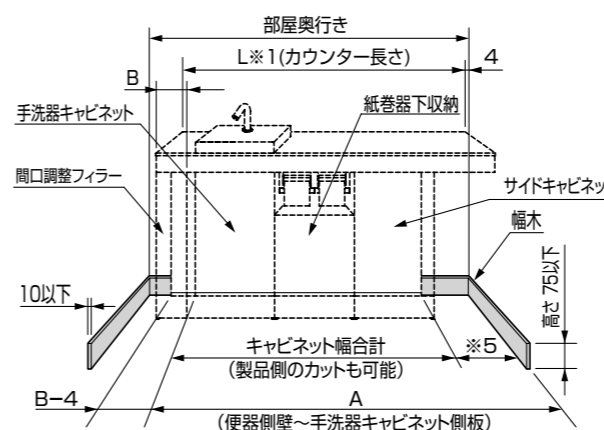
1方エプロンの場合



(単位:mm)

種類		キャビネット幅
手洗器キャビネット	両扉	717
	片扉	360
紙巻器下収納		
サイドキャビネット		

2方エプロンの場合

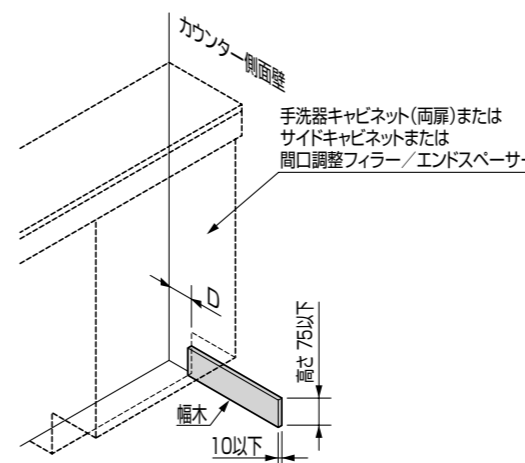


(単位:mm)

タイプ	サイズ	キャビネットタイプ	エプロン	L ※ 1	A
フリーサイズ	M/L	片扉	1方	1227~1485※2	L-45
				1486~1942	1440
			2方	1201~1372※3	L+2
				1373~1491※4	L-51
		両扉	1方	1492~1916	1440
				1588~1788	L+8
			2方	1789~1842	L-45
				1843~1942	1797
パッケージ	M	片扉	2方	1594~1794	L+2
				1795~1848	L-51
				1849~1916	1797
				1201(ミドル)	1203
				1438(ロング)	1440

※1 立管がある場合は、カウンター長さ+立管幅です。
 ※2 Lサイズの場合: 1432~1485
 ※3 Mサイズのみ品の揃えとなります。
 ※4 Lサイズの場合: 1438~1491
 ※5 間口調整フィラーを設置する場合には、幅木を設置しないでください。

カウンター側面壁まですき間なく設置する場合

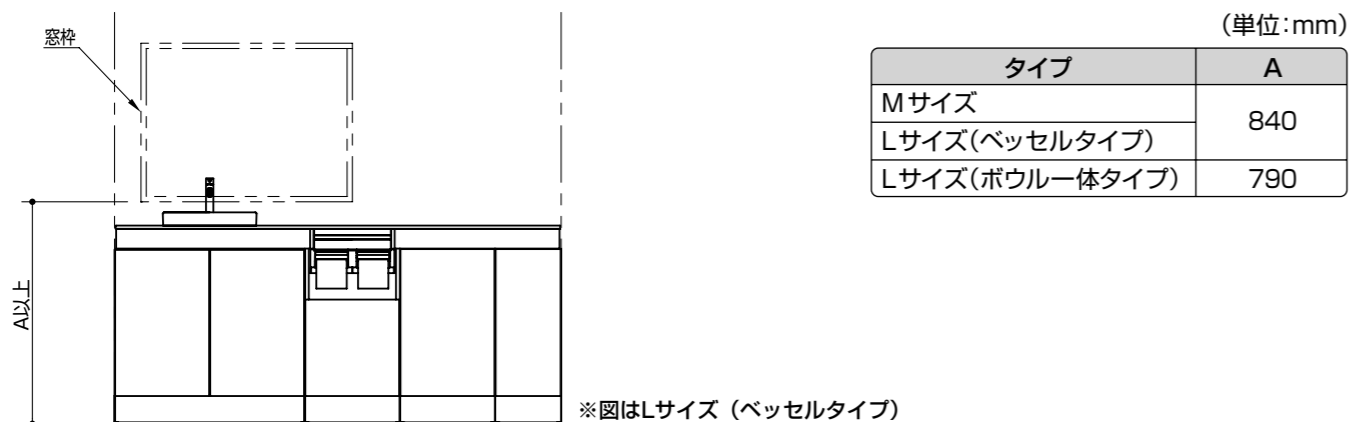


(単位:mm)

設置部材	D	
	Mサイズ	Lサイズ
手洗器キャビネット(両扉)	106	126
サイドキャビネット	106	126
間口調整フィラー	89	109
エンドスペーサー		114

9 窓枠

窓がある場合、図のような制約が付きまます。事前に製品と干渉しないように注意してください。



MEMO

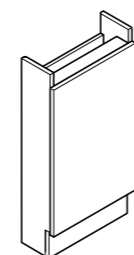
3. 部品の確認

・包装箱の内容は左勝手を基本として記載しています。

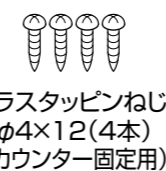
手洗器キャビネット

手洗器キャビネット本体 ※図は片扉の場合

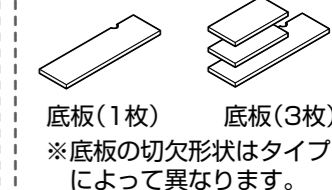
【Mサイズ】



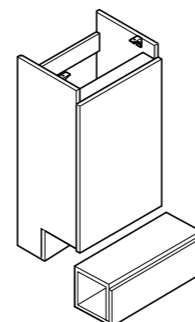
【Mサイズ(片扉)】



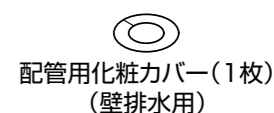
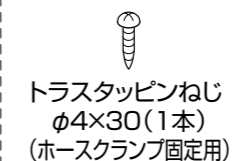
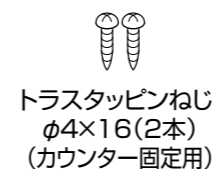
【片扉】 【両扉】



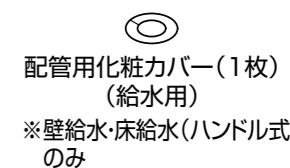
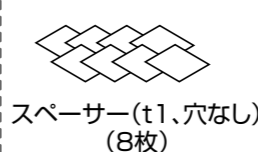
【Lサイズ】



【Lサイズ(片扉・両扉)】
【Mサイズ(両扉)】



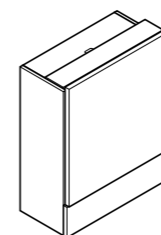
施工補助材
(ダンボール)



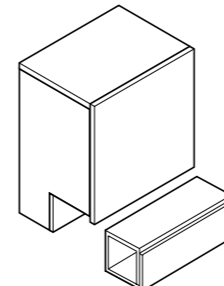
紙巻器下収納(選択商品)

紙巻器下収納本体

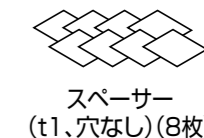
【Mサイズ】



【Lサイズ】



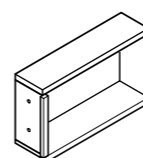
施工補助材
(ダンボール)



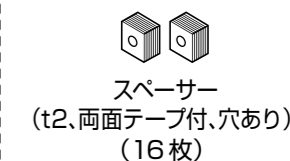
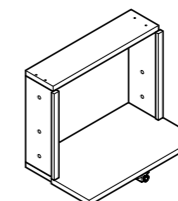
ビルトインリモコン収納ボックス(選択商品)

ビルトインリモコン収納ボックス本体

【Mサイズ紙巻器下収納なし】



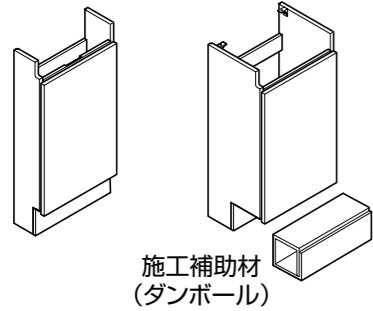
【Mサイズ紙巻器下収納あり】



サイドキャビネット(オプション)

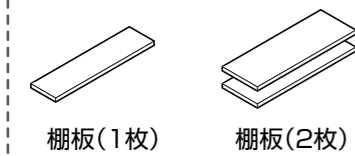
サイドキャビネット本体

【Mサイズ】 【Lサイズ】

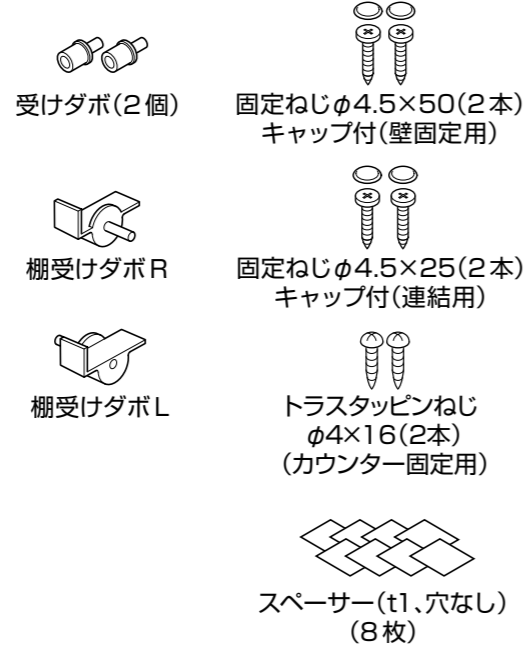


施工補助材
(ダンボール)

【共通】 【Lサイズ
スライド扉の場合】

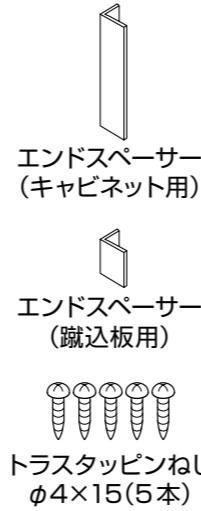


棚板(1枚) 棚板(2枚)



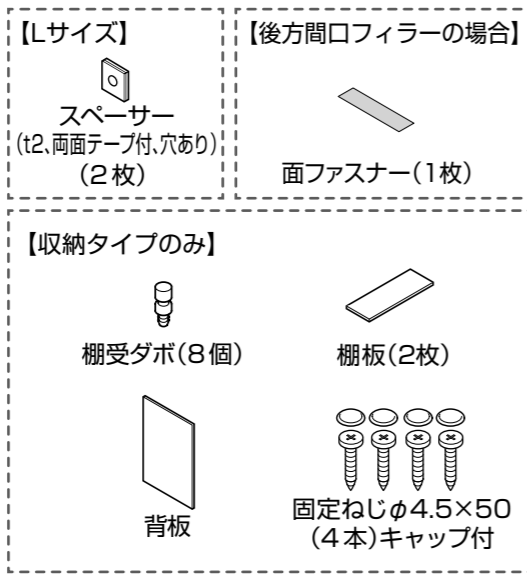
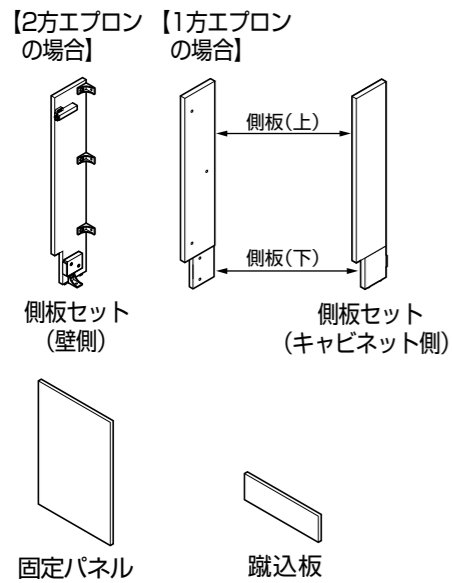
エンドスペーサー

※スライド扉の場合

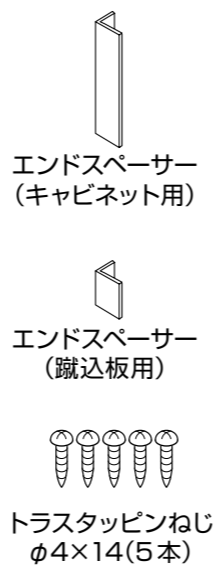


間口調整材(オプション)

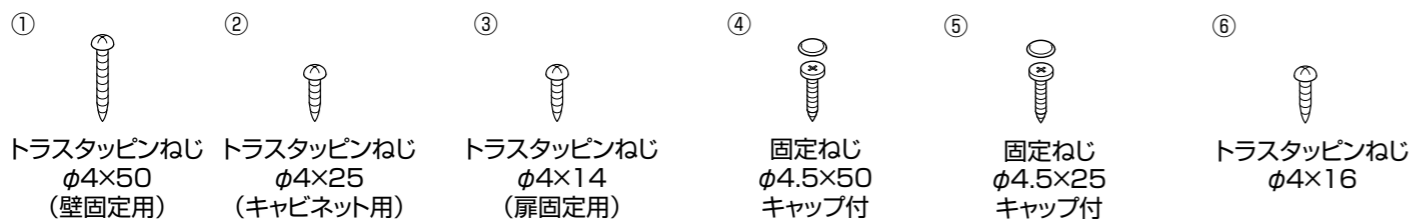
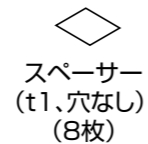
間口調整フィラー(Mサイズ/Lサイズで寸法が異なります)



エンドスペーサー



ねじ本数		①	②	③	④	⑤	⑥
1方エプロン	固定タイプ	5	5	3	-	-	-
	収納タイプ	2	2	-	3	3	1
2方エプロン	固定タイプ	3	6	3	-	-	-
	収納タイプ	3	3	-	-	3	-



手洗器

【Mサイズ】

【Lサイズ(ベッセルタイプ)】



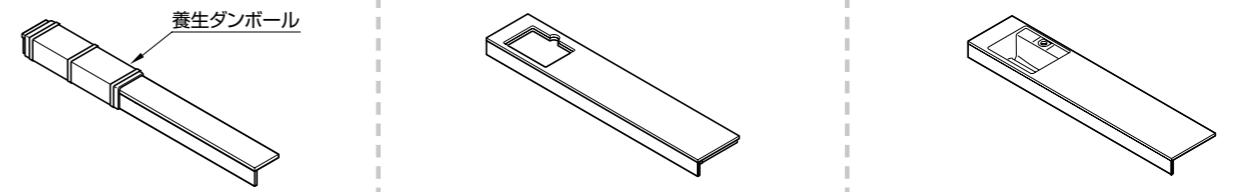
カウンター(プランによってブラケットの個数は異なります)

カウンター本体

【Mサイズ】

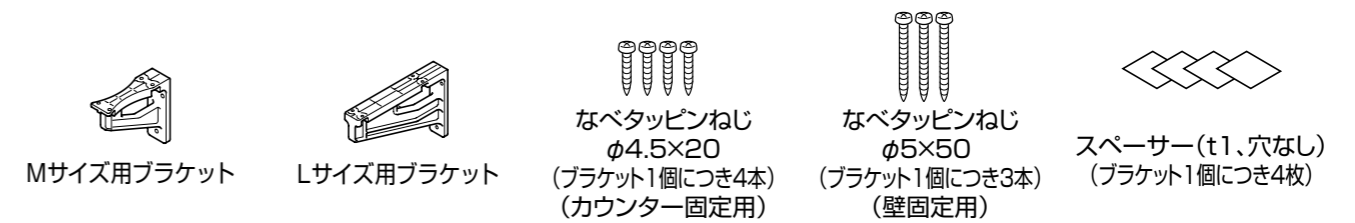
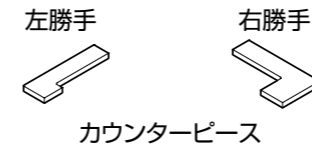
【Lサイズ(ベッセルタイプ)】

【Lサイズ(ボウル一体タイプ)】



(養生ダンボールはカウンター取り付け時まで外さないでください)

Mサイズ カウンター長さ 1201 ~ 1372(2方エプロン)の場合



Mサイズ(片扉・左勝手)のみ

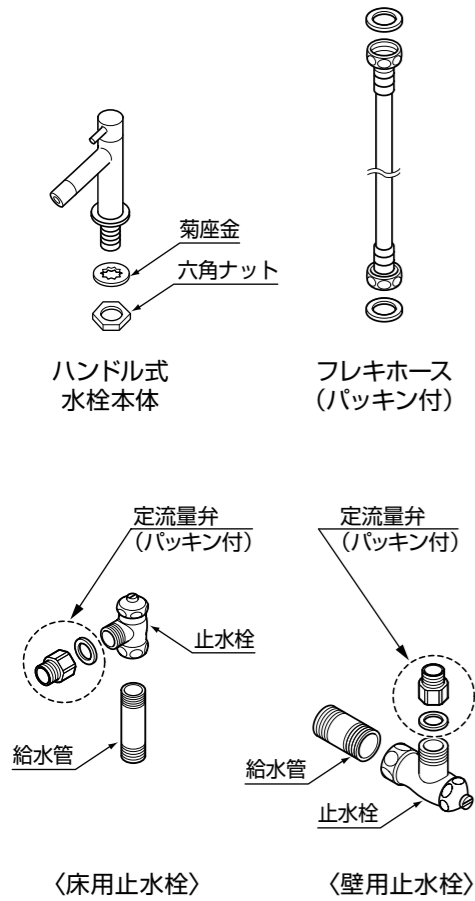
【Mサイズ カウンター長さ 1227~1542(1方エプロン)、1373~1548(2方エプロン)の場合】



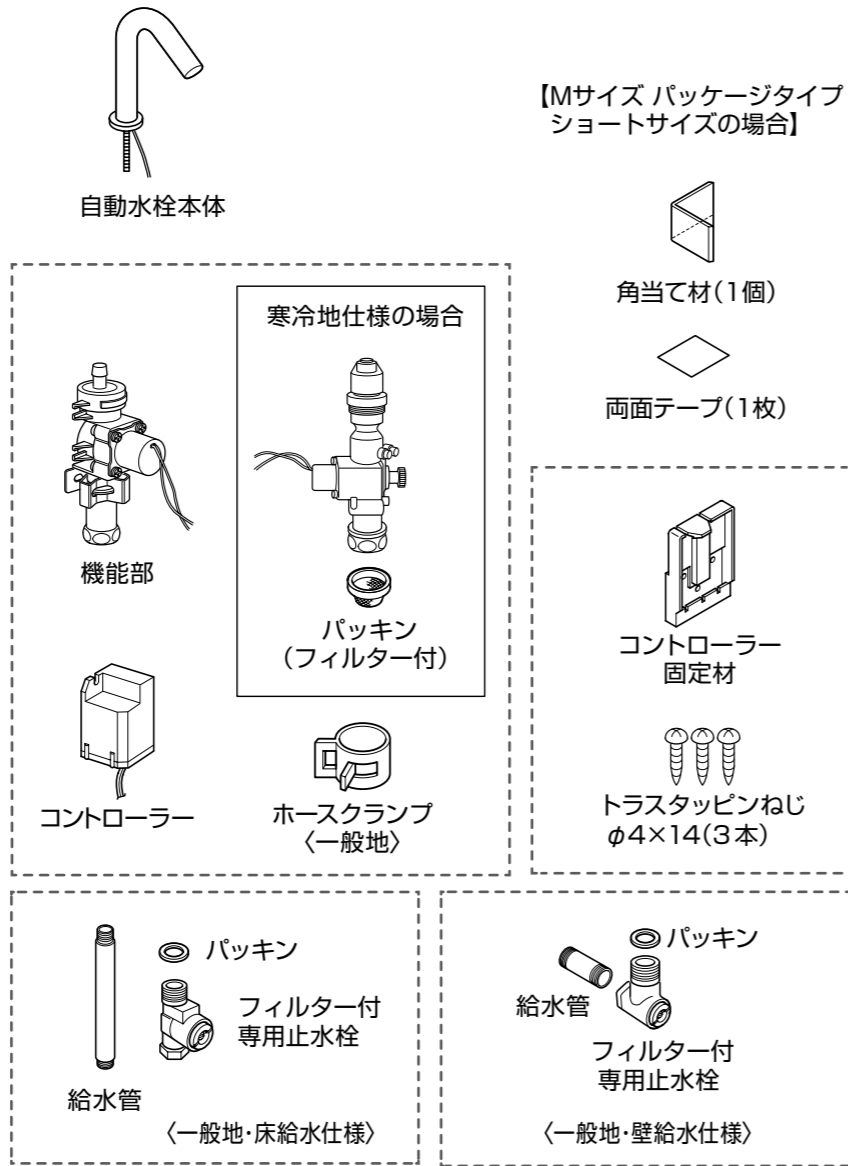
MEMO

水栓金具 他(プランによって同梱内容は異なります)

ハンドル式水栓



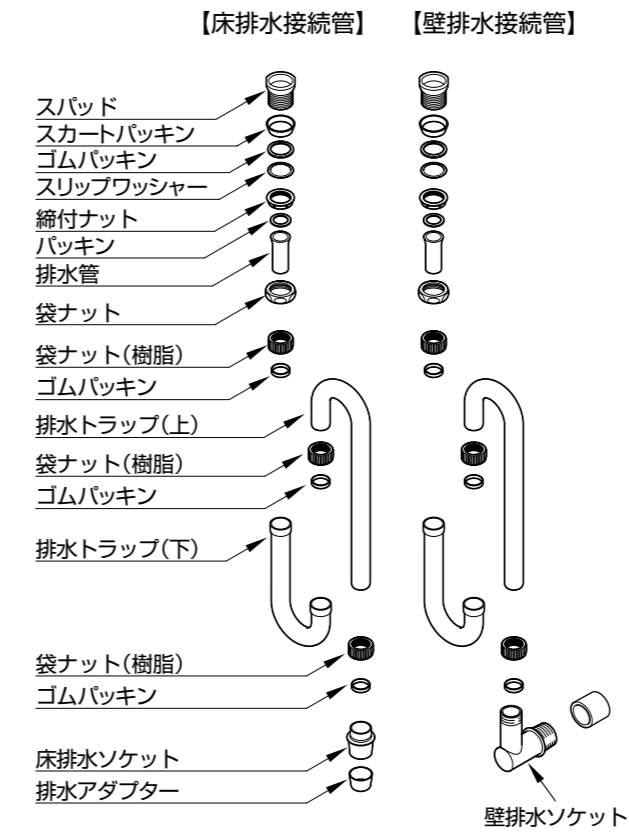
自動水栓



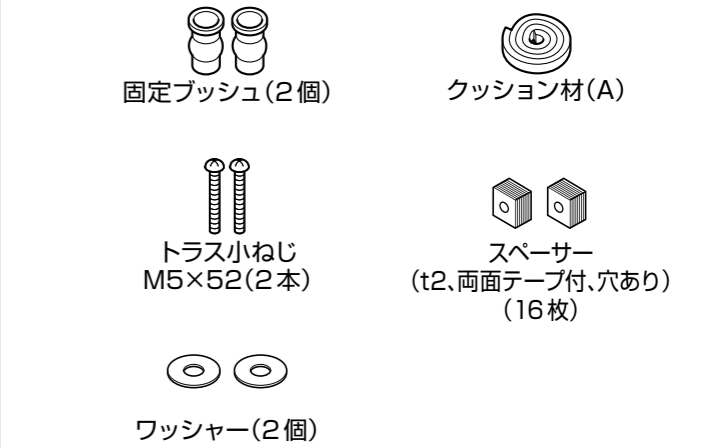
※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

水栓金具 他(プランによって同梱内容は異なります)(つづき)

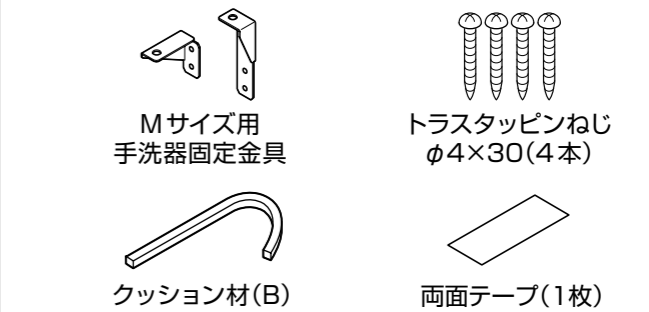
排水管トラップセット



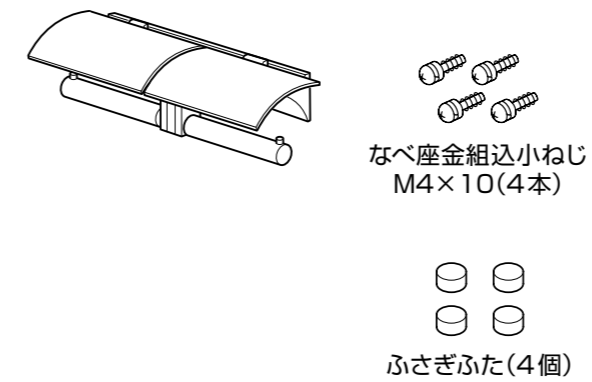
手洗器固定金具 ※Mサイズ/Lサイズ(ベッセルタイプ)の場合



Mサイズ用手洗器固定金具 ※Mサイズの場合



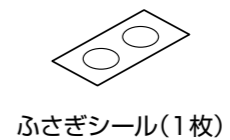
メタル製紙巻器



※ビルトインリモコンがある場合のみ使用します。



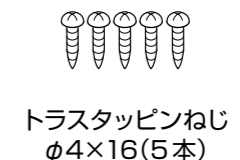
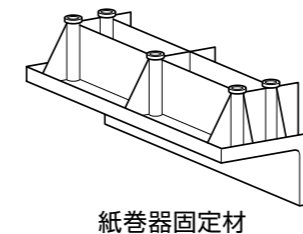
※めっき仕上げの場合のみ同梱



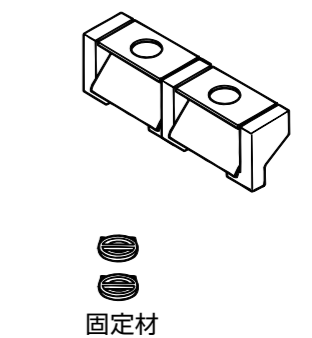
※同梱のなべタッピンねじφ4×40(4本)、型紙は使用しません。

紙巻器固定材

※ビルトインリモコンを設置しない場合



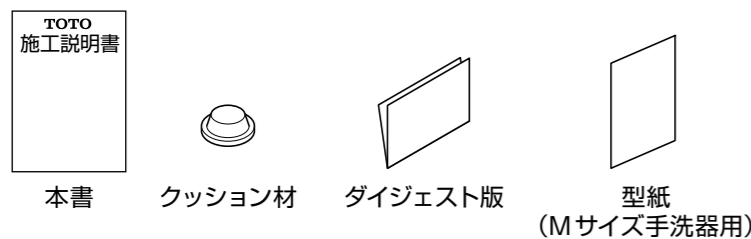
樹脂製紙巻器



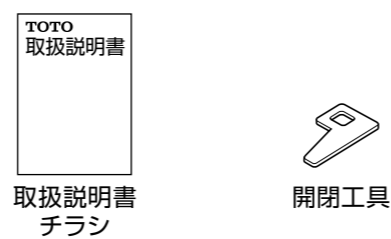
※同梱のなべ座金組込小ねじ M4×10(4本)は使用しません。

水栓金具 他(プランによって同梱内容は異なります)(つづき)

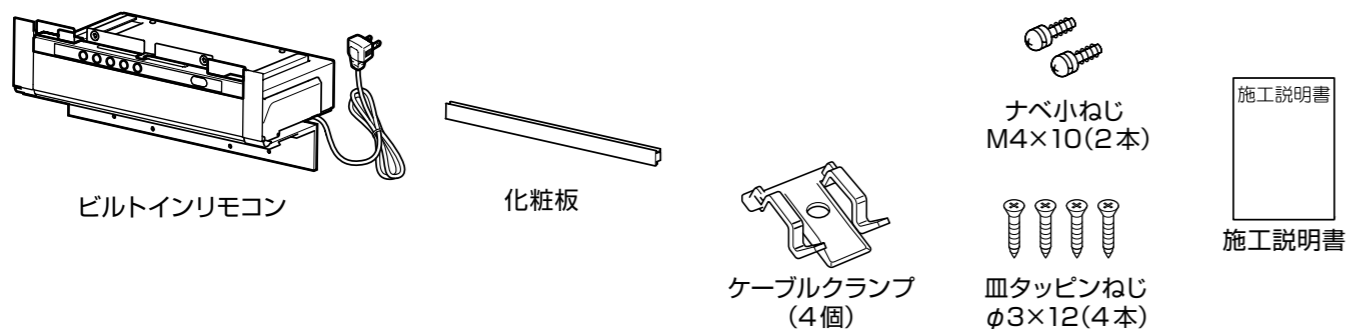
施工説明書



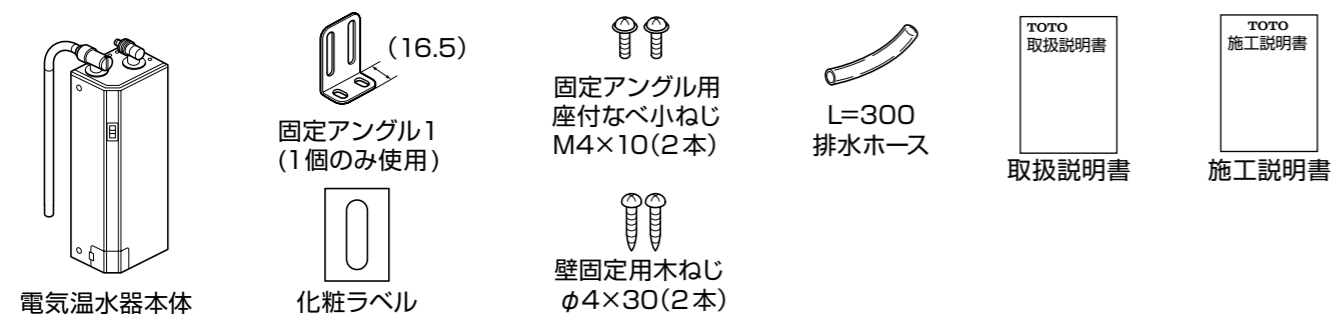
取扱説明書



ビルトインリモコン(選択商品)



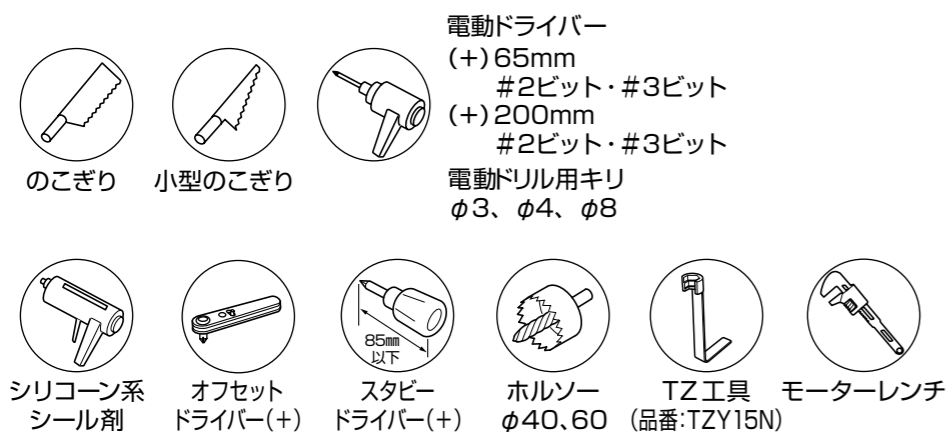
電気温水器(選択商品)



【下記の部品は使用しません】

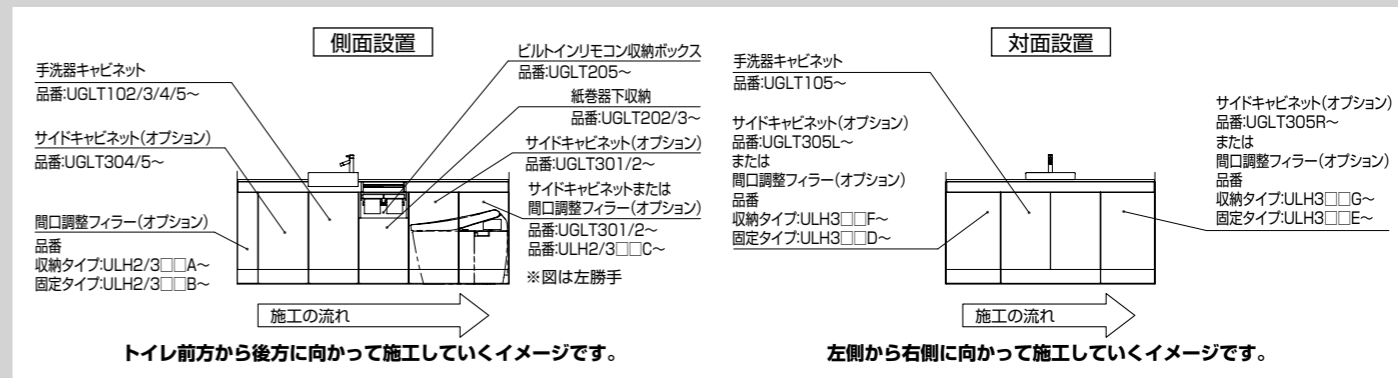


必要工具 一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してから施工を始めてください。



手順編

0. 施工前の準備	▶24
1. 排水ソケット・給水管・止水栓	▶26
2. ブラケット・Mサイズ用手洗器固定金具	▶27
3. 間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)	▶30
※側面設置で手洗器よりも前方に設置する場合 ※対面設置で手洗器に向かって左側に設置する場合	
4. 手洗器キャビネット	▶36
5. 止水栓	▶44
6. 紙巻器下収納・ビルトインリモコン収納ボックス	▶45
7. 間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)	▶48
※側面設置で手洗器よりも後方に設置する場合 ※対面設置で手洗器に向かって右側に設置する場合	
8. 排水金具(ボウル一体タイプ)	▶60
9. カウンター	▶61
10. ビルトインリモコン	▶65
11. 手洗器・水栓金具	▶66
12. 給排水	▶69
13. 紙巻器	▶75
14. 試運転・確認	▶76
15. 配管用化粧カバー	▶81
16. シリコン系シール剤	▶82
17. ビルトインリモコン組み合わせ設定	▶83



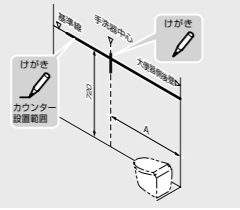
0. 施工前の準備

プラン図または以下の情報をもとに、設置位置の基準をご確認のうえ、けがいてください。

けがく際のご注意

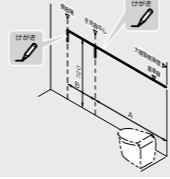
商品取り付け後に、けがき線が露出しないよう、ご注意ください。また、鉛筆など後で消せるものでけがいてください。

1 基準線・手洗器キャビネット中心位置をけがく



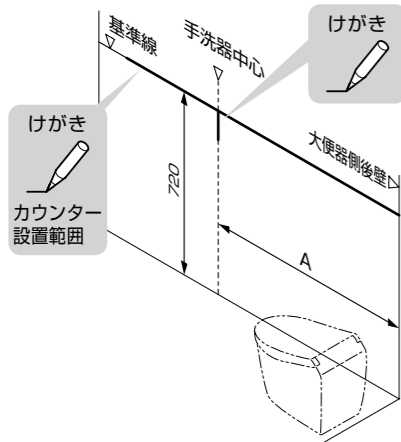
▶P.24

2 間口調整フィルター・背板・サイドキャビネット設置基準をけがく



▶P.24

1 基準線・手洗器キャビネット中心位置をけがく

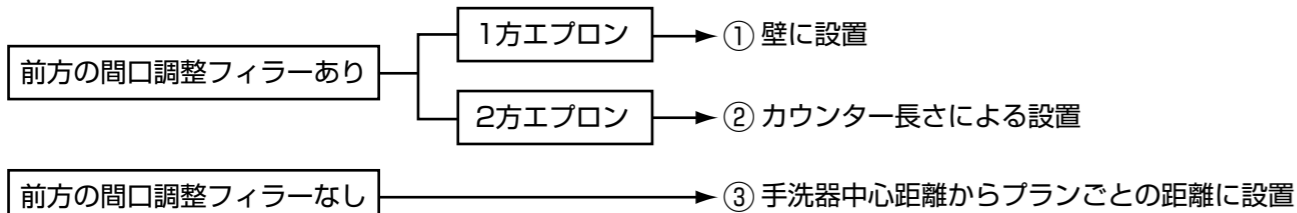


手洗器中心 (A寸法)		カウンター長さ X	壁から手洗器中心(A寸法)
片扉手洗器 Aタイプ	1方エプロン	1227~1485	X-225
	2方エプロン	1486~1942	1260
両扉手洗器 Aタイプ	1方エプロン	1201~1372	X-178
		1373~1491	X-231
	2方エプロン	1492~1916	1260
		1588~1788	X-350
2方エプロン	1789~1842	X-403	
	1843~1942	1439	
	1594~1794	X-356	
2方エプロン	1795~1848	X-409	
	1849~1916	1439	

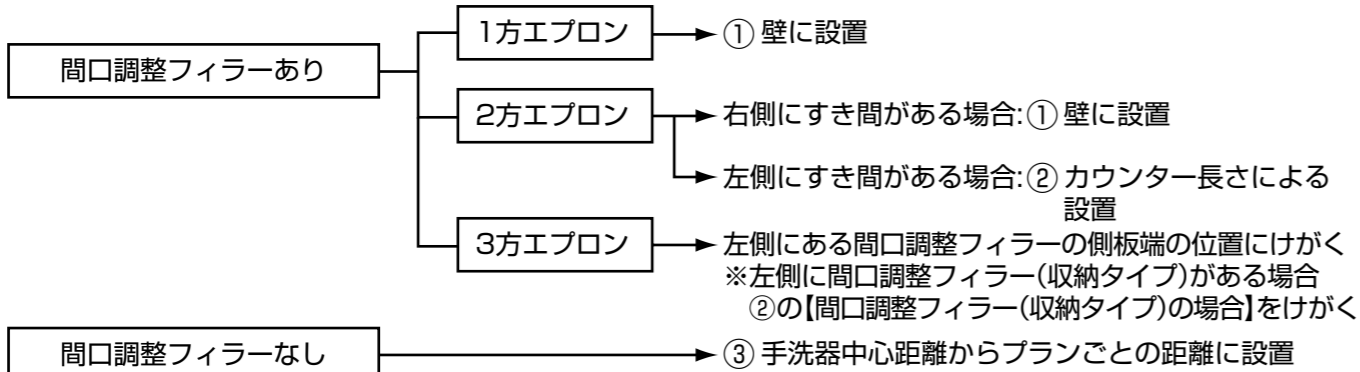
※対面設置またはバケージタイプ(ショート・ロング)の場合は、プラン図より手洗器中心(A寸法)の位置をけがいてください。

2 間口調整フィルター・背板・サイドキャビネット設置基準をけがく

側面設置時の選択肢

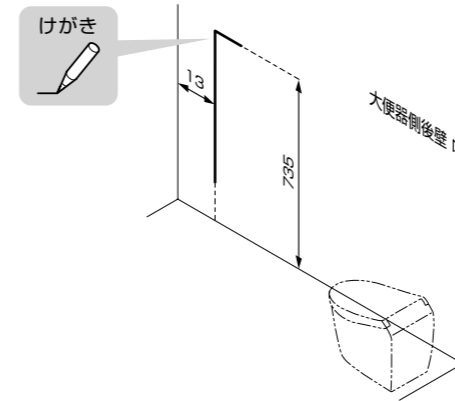


対面設置時の選択肢



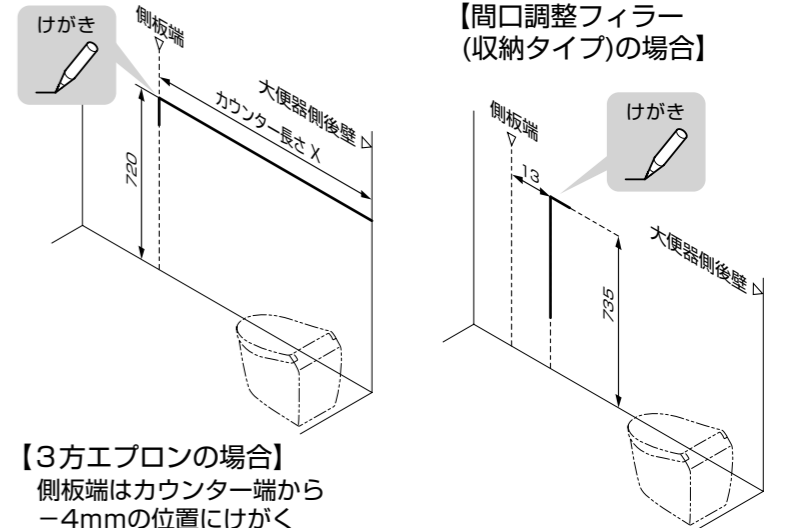
①壁に設置

壁にあわせて設置するタイプのものは、けがきは不要です。
【間口調整フィルター(収納タイプ)の場合】

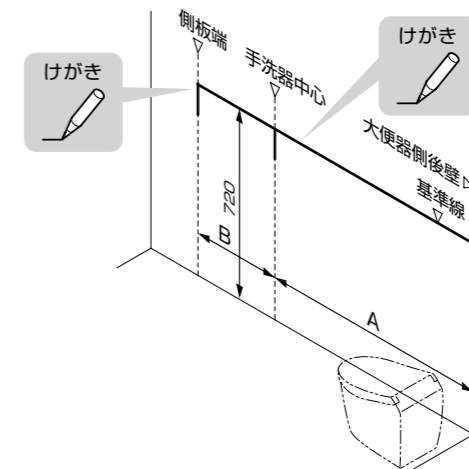


②カウンター長さによる設置

カウンター長さXの位置でけがきます。
(例: カウンター長さ1680の場合はXが1680となる)



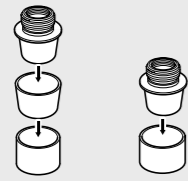
③手洗器中心距離からプランごとの距離に設置



B	手洗器キャビネット	サイドキャビネット(前)	プラン図	けがき位置(B寸法)
		あり		540
1方エプロン	片扉手洗器キャビネット	なし		180
		なし		358
	両扉手洗器キャビネット	あり		540
		なし		180
2方エプロン	片扉手洗器キャビネット	なし		358
	両扉手洗器キャビネット	なし		358

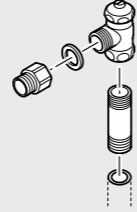
1. 排水ソケット・給水管・止水栓

1 排水ソケットの取り付け (床排水の場合のみ)



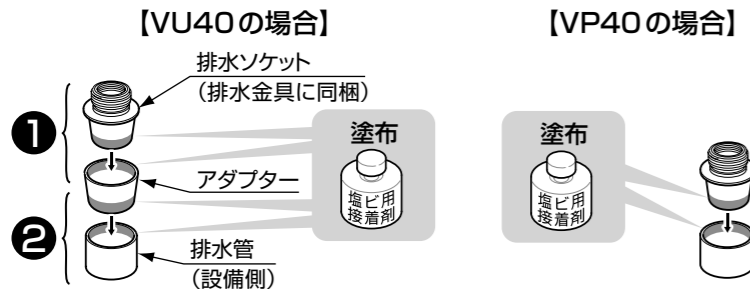
▶P.26

2 給水管・止水栓の取り付け (床給水ハンドル式水栓の場合のみ)



▶P.26

1 排水ソケットの取り付け (床排水の場合のみ)



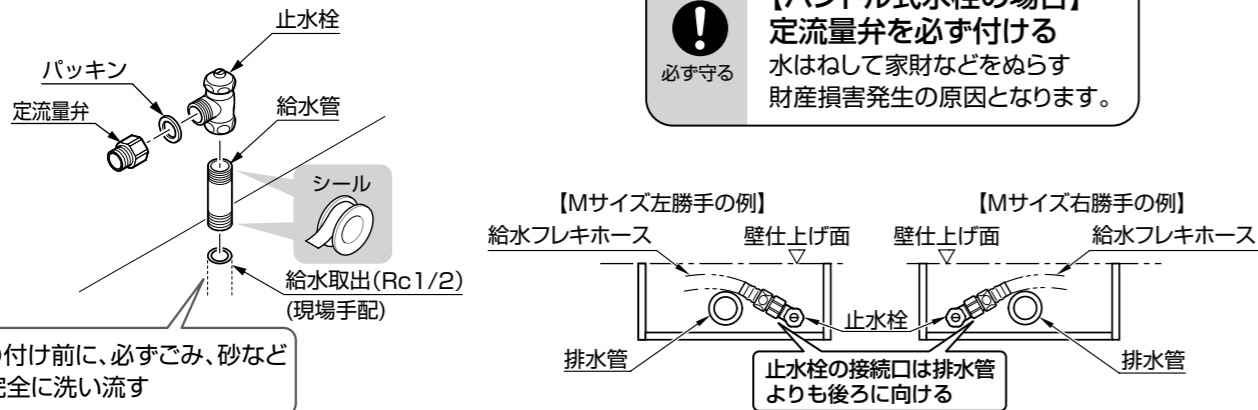
ポイント
排水ソケットは排水管に最後までしっかり差し込んでください。差し込まれてないと排水ソケットの袋ナットが床板より上に出ます。

2 給水管・止水栓の取り付け (床給水ハンドル式水栓の場合のみ)

※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓を取り付けてください。

注意

【ハンドル式水栓の場合】
定流量弁を必ず付ける
水はねして家財などをぬらす
財産損害発生の原因となります。

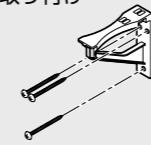


取り付け前に、必ずごみ、砂などを完全に洗い流す

MEMO

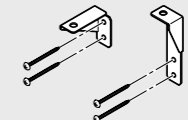
2. ブラケット・Mサイズ用 手洗器固定金具

1 ブラケットの取り付け



▶P.27

2 Mサイズ用 手洗器固定金具の取り付け

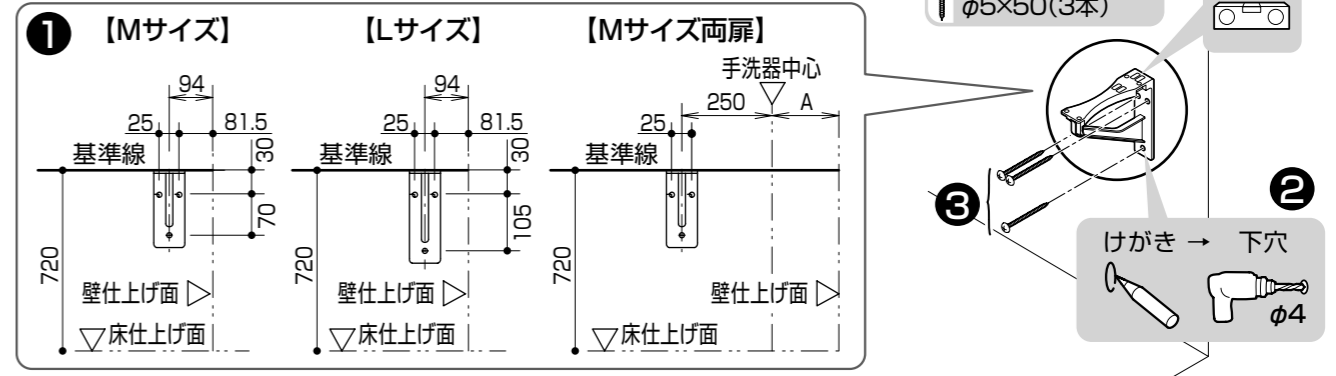


▶P.29

1 ブラケットの取り付け

※後方にサイドキャビネット・間口調整フィラーがつく場合はブラケットの取り付けは不要です。
※図は左勝手を示しています。右勝手の場合は左右対称になります。

▶▶ A寸法は、P.24を参照

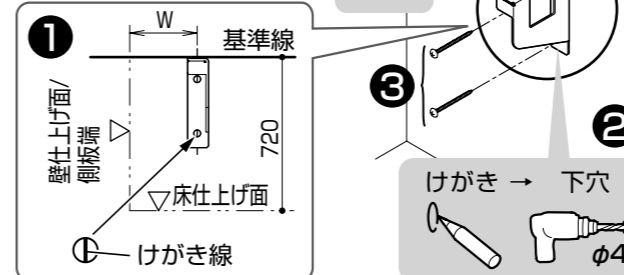


前方に間口調整フィラー(固定タイプ)がある場合

Mサイズのみ

【金属ブラケット(ブラケット小)※1】

トラスタッピンねじ φ4×50(2本)



W値	1方エプロン	2方エプロン
金属ブラケット (ブラケット小)	39	39
樹脂ブラケット	74	80

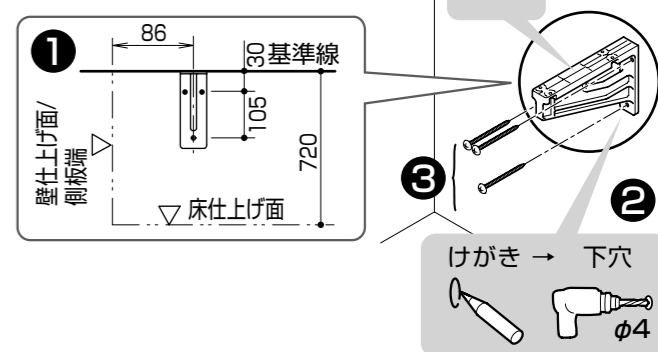
※1 カウンター長さ:1227~1542(1方エプロン)、1373~1548(2方エプロン)

※2 カウンター長さ:1543~1581(1方エプロン)、1549~1589(2方エプロン)

Lサイズのみ

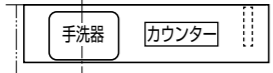
【2方エプロンの場合】

トラスタッピンねじ φ5×50(3本)



対面設置の場合

プラン図の情報をもとに設置位置をご確認ください。取付高さはブラケット上面を基準線(高さ720mm)にあわせてください。
 ※開口調整フィラー(固定タイプ)が入るとき、もしくはキャビネット側板端からのカウンター残り寸法が149mm以下の場合、
 ブラケットはなし



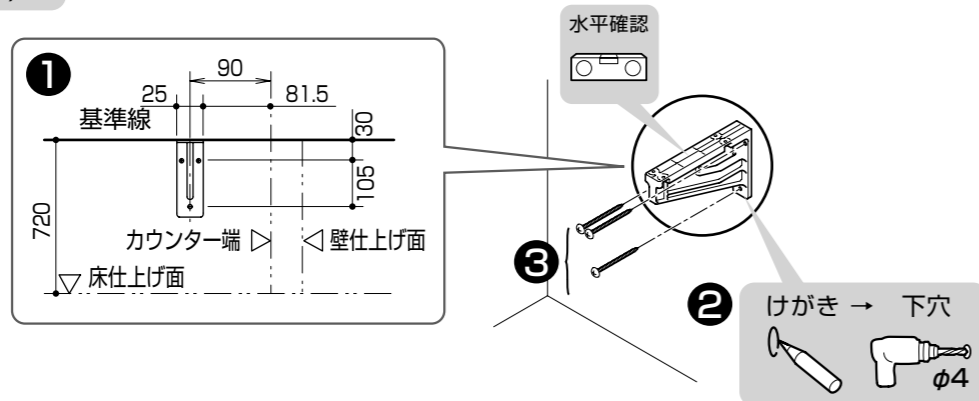
□:ブラケット(樹脂)

※図は上から見たもの

	1方エプロン 間口750~1500	2方エプロン 間口860~1500	3方エプロン 間口880~1500
左勝手			
右勝手			
中央			
振り分け指定			

右側にブラケットがある場合

トラスタッピンねじ
φ5×50(3本)



間口調整フィラー(収納タイプ)の場合

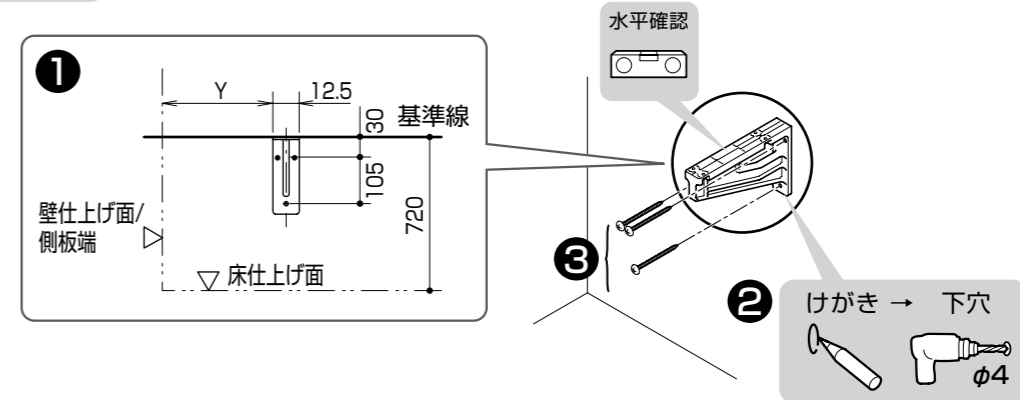
手洗器に向かって左側の場合、P.30へ

手洗器に向かって右側の場合は、手洗器キャビネット設置後に取り付けもしくは、サイドキャビネット設置後に取り付ける。

左側が間口調整フィラー(固定タイプ)の場合

【樹脂ブラケット】

トラスタッピンねじ
φ5×50(3本)

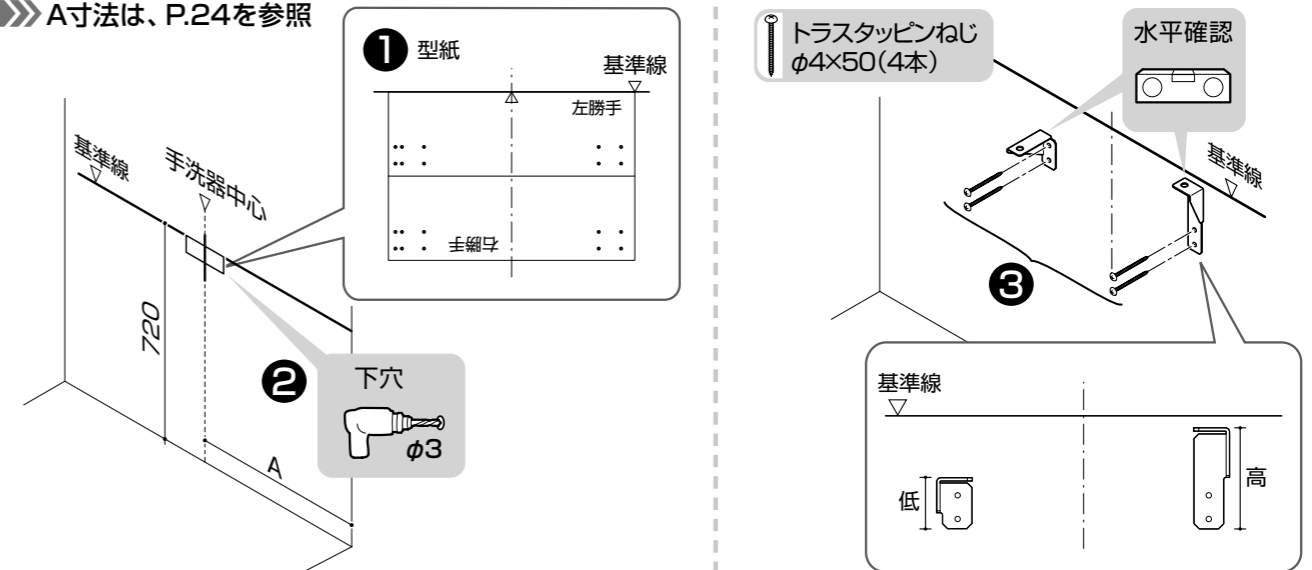


Y値	1方エプロン	2方・3方エプロン
樹脂ブラケット	94	86

Mサイズの場合

2 Mサイズ用手洗器固定金具の取り付け

▶▶▶ A寸法は、P.24を参照

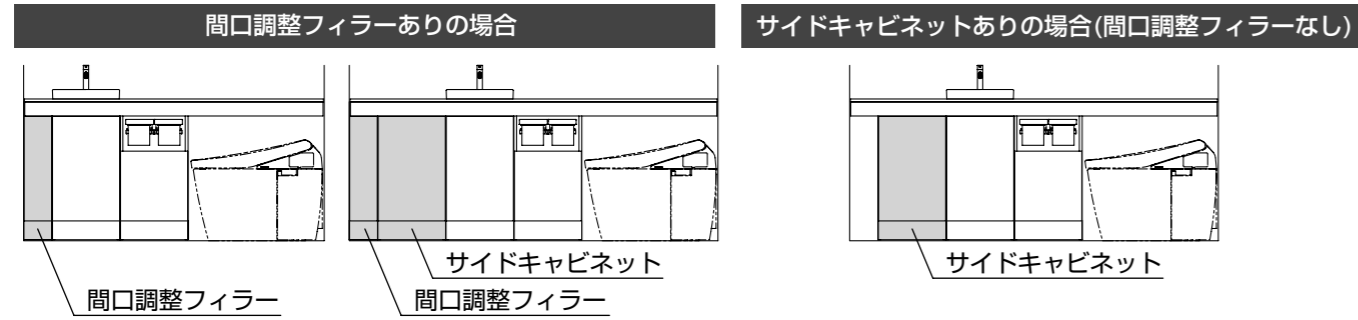


MEMO

3. 間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)

※側面設置で手洗器よりも前方に設置する場合
 ※対面設置で手洗器に向かって左側に設置する場合

※図は側面設置の場合



間口調整フィラー(収納タイプ)の場合

- 1 背板の取り付け** ▶P.30
- 2 側板(壁側) + 側板(キャビネット側)の準備** ▶P.31
- 3 サイドキャビネット・蹴込板・扉の取り付け** ▶P.33

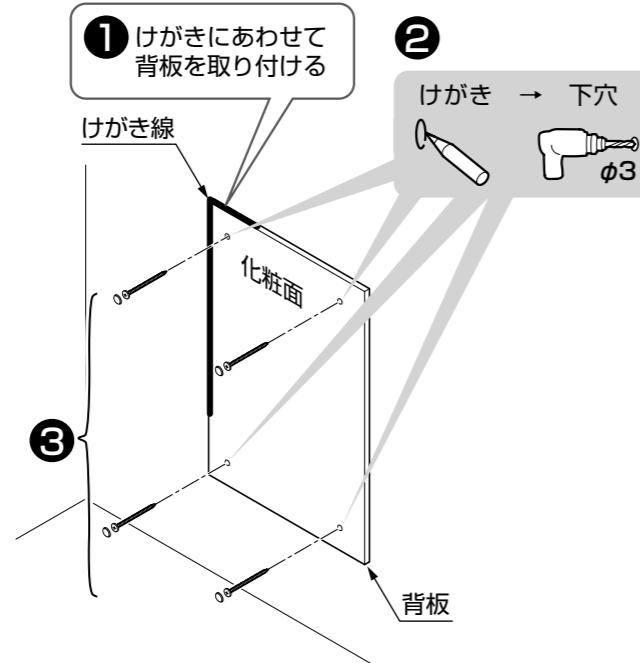
サイドキャビネットありの場合

- 1 サイドキャビネットの取り付け** ▶P.35

間口調整フィラー(収納タイプ)の場合

1 背板の取り付け

固定ねじ $\phi 4.5 \times 50$ (4本)



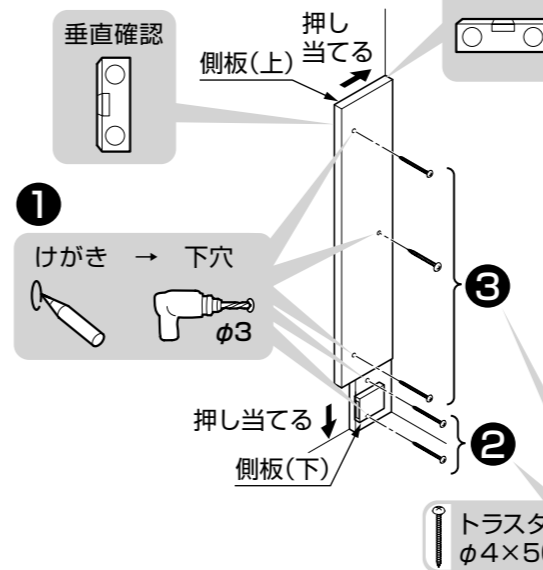
間口調整フィラーありの場合

2 側板(壁側)の取り付け+側板(キャビネット側)の準備

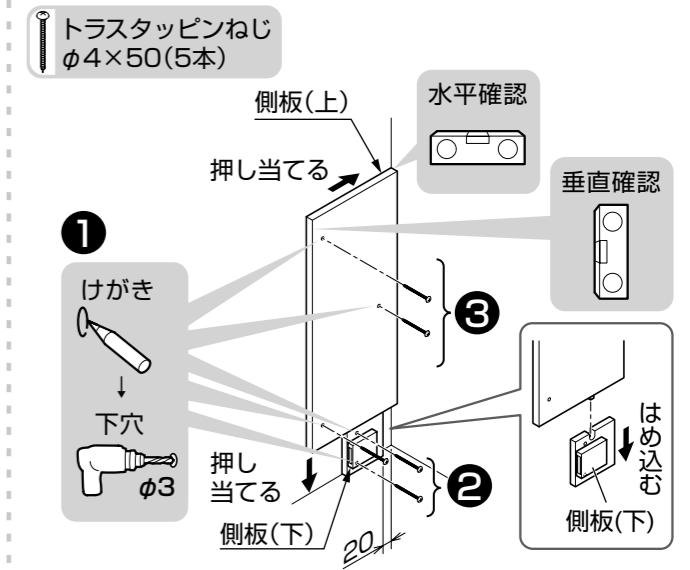
間口調整フィラー(固定タイプ)の場合

1方エプロンの場合

【Mサイズ】

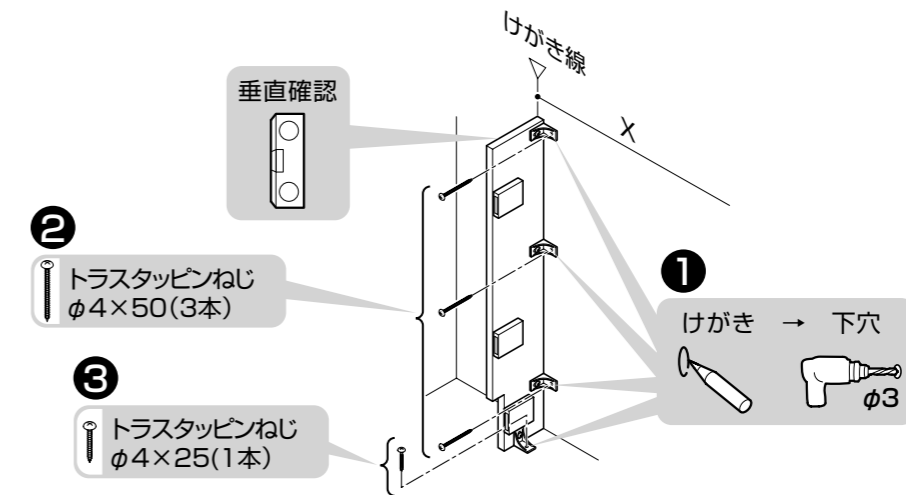


【Lサイズ】



2方・3方エプロンの場合

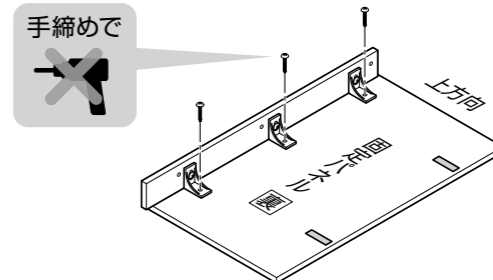
▶▶ X寸法は、P.25を参照、3方エプロンの場合はプラン図を参照



4

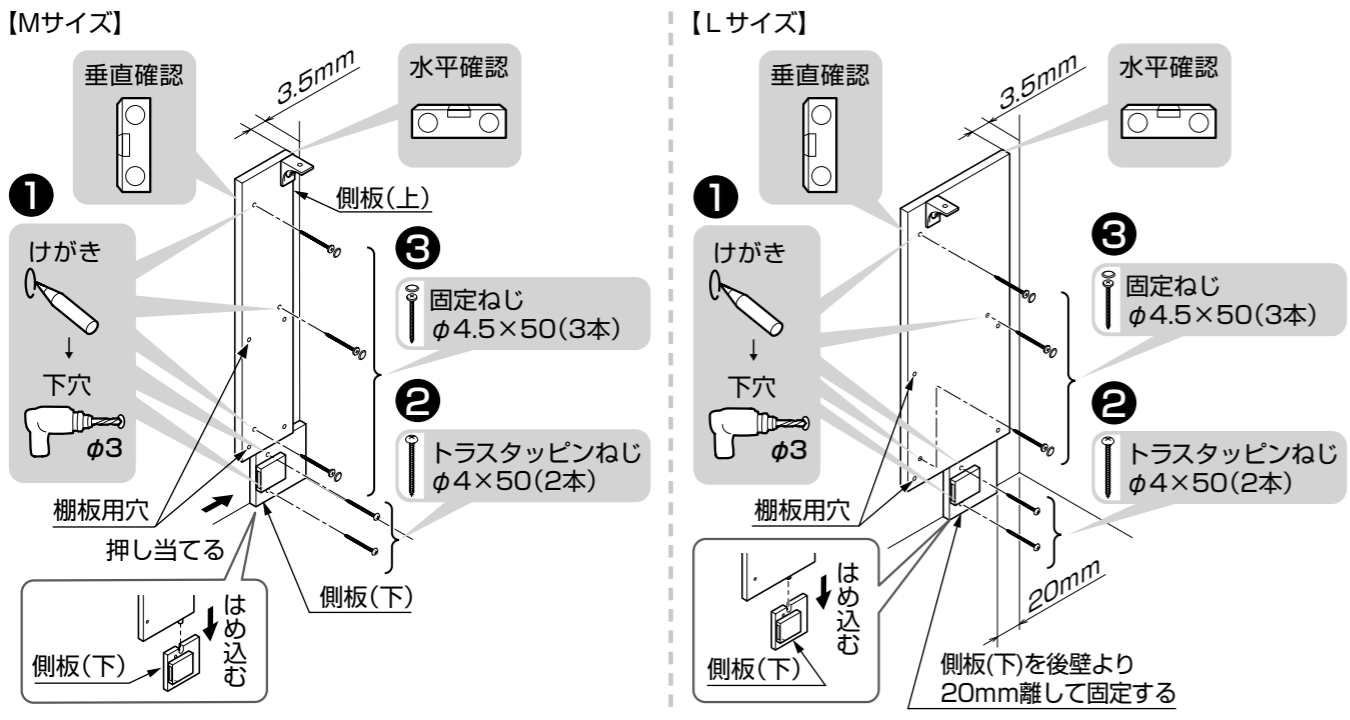
トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 14$ (3本)

手締めで

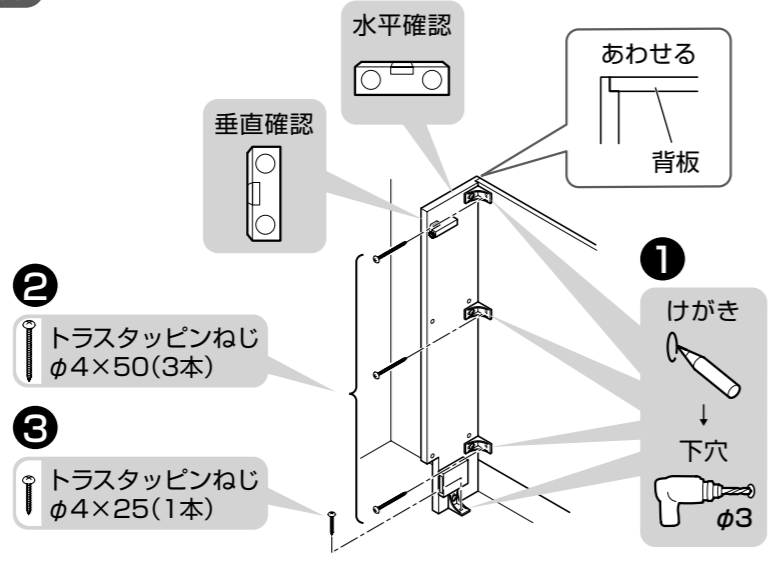


間口調整フィラー(収納タイプ)の場合

1方エプロンの場合

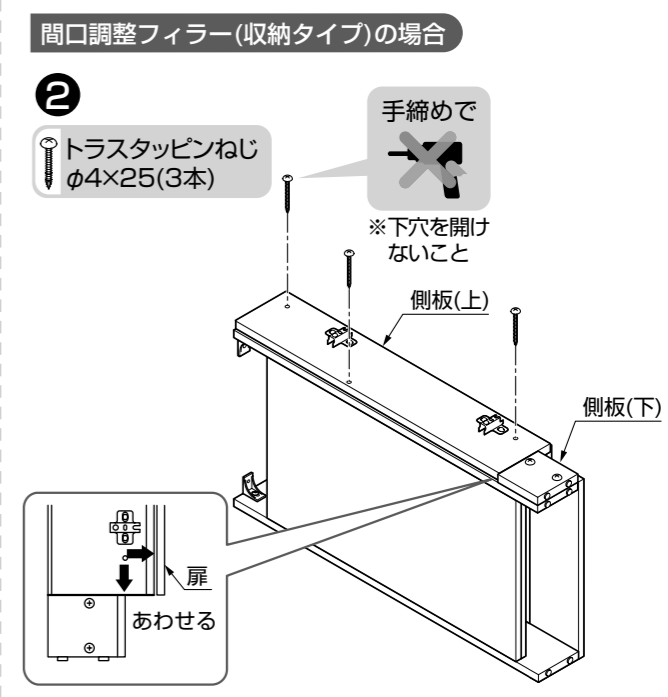
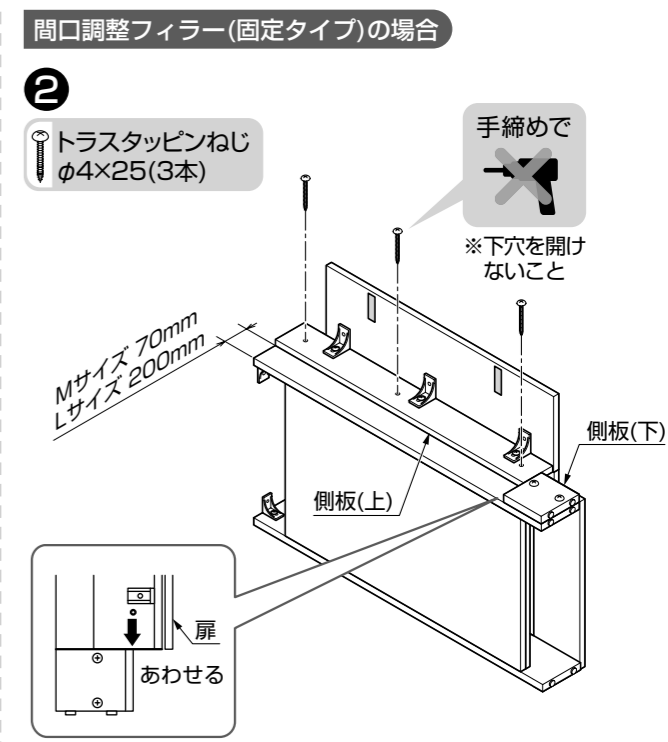
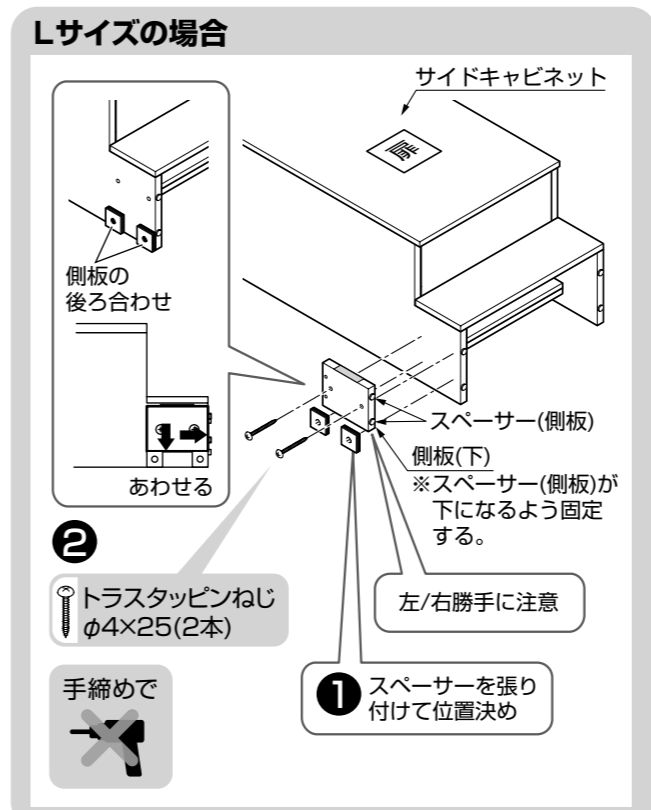
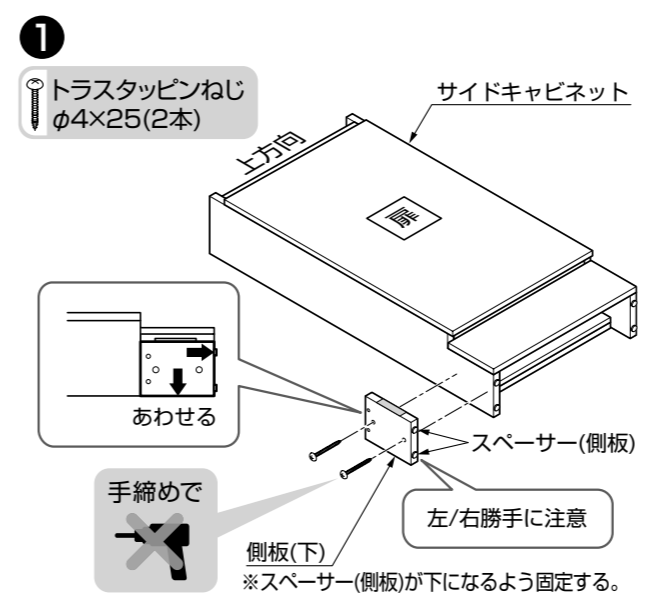


2方・3方エプロンの場合



間口調整フィラー・サイドキャビネットありの場合

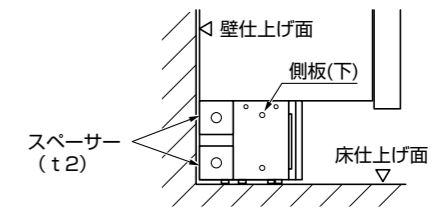
3 サイドキャビネット・蹴込板・扉の取り付け



側板位置決めの目安タイプ

		収納タイプ	固定タイプ
M サイズ	側板(上)	キャビネット側板の前あわせ	キャビネット側板の後ろから70mm
	側板(下)	キャビネット側板の後ろあわせ	キャビネット側板の後ろあわせ
L サイズ	側板(上)	キャビネット側板の前あわせ	キャビネット側板の後ろから200mm
	側板(下)	キャビネット側板のスペーサーあわせ※	キャビネット側板のスペーサーあわせ※

※Lサイズの側板(下)は下図のようにスペーサーにあわせて取り付け。

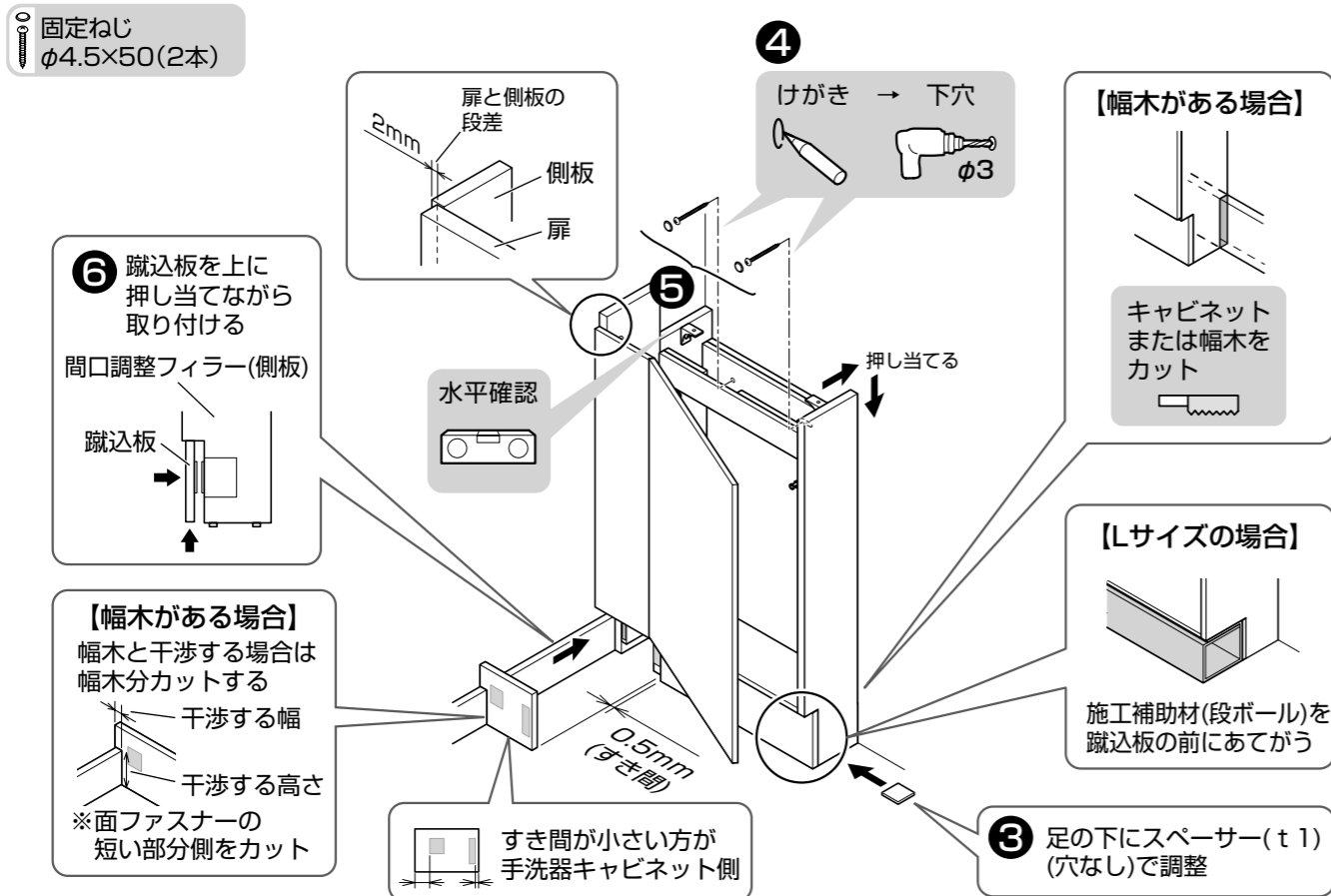


MEMO

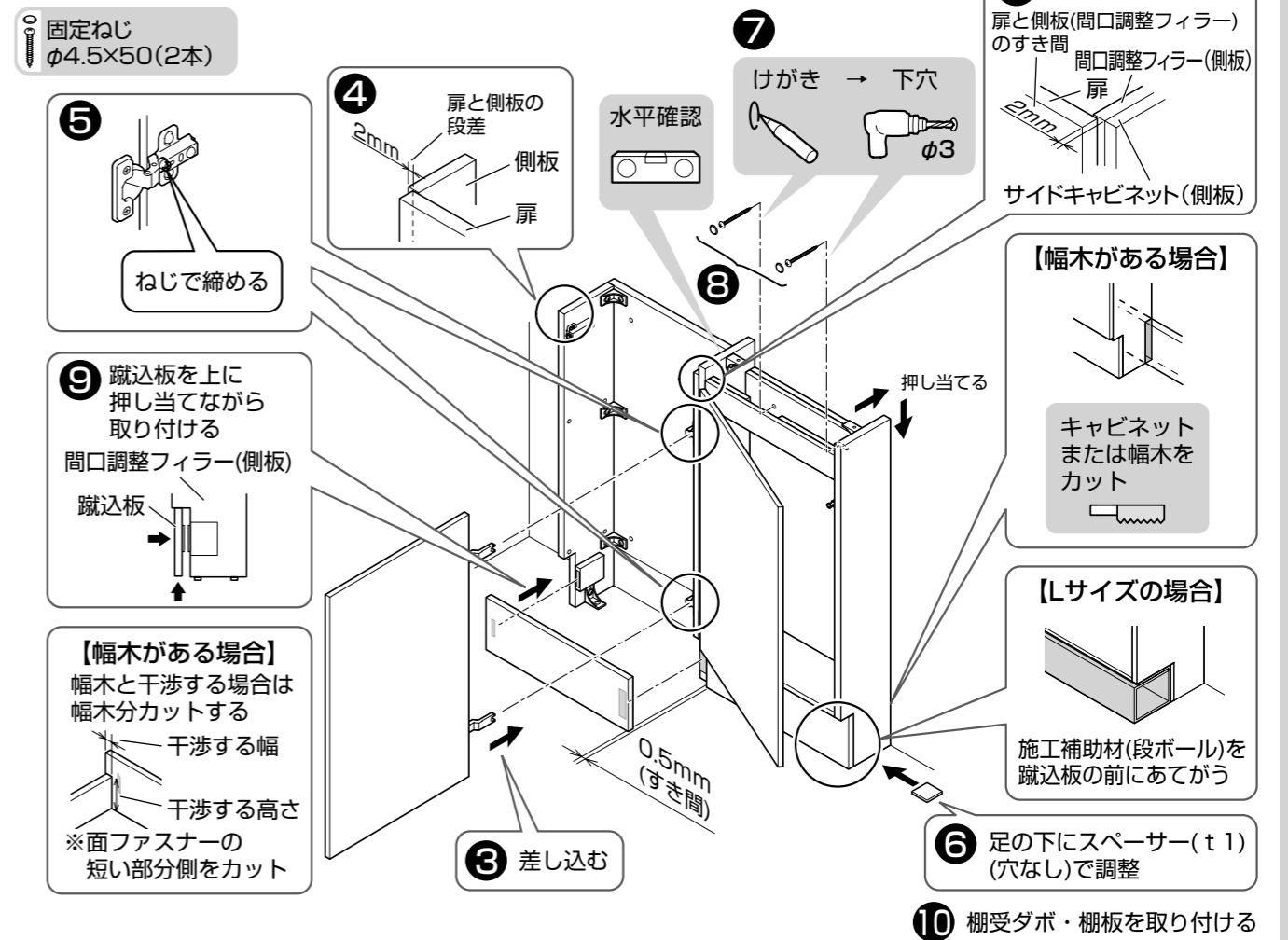
3 間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)

3 間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)

間口調整フィラー(固定タイプ)の場合



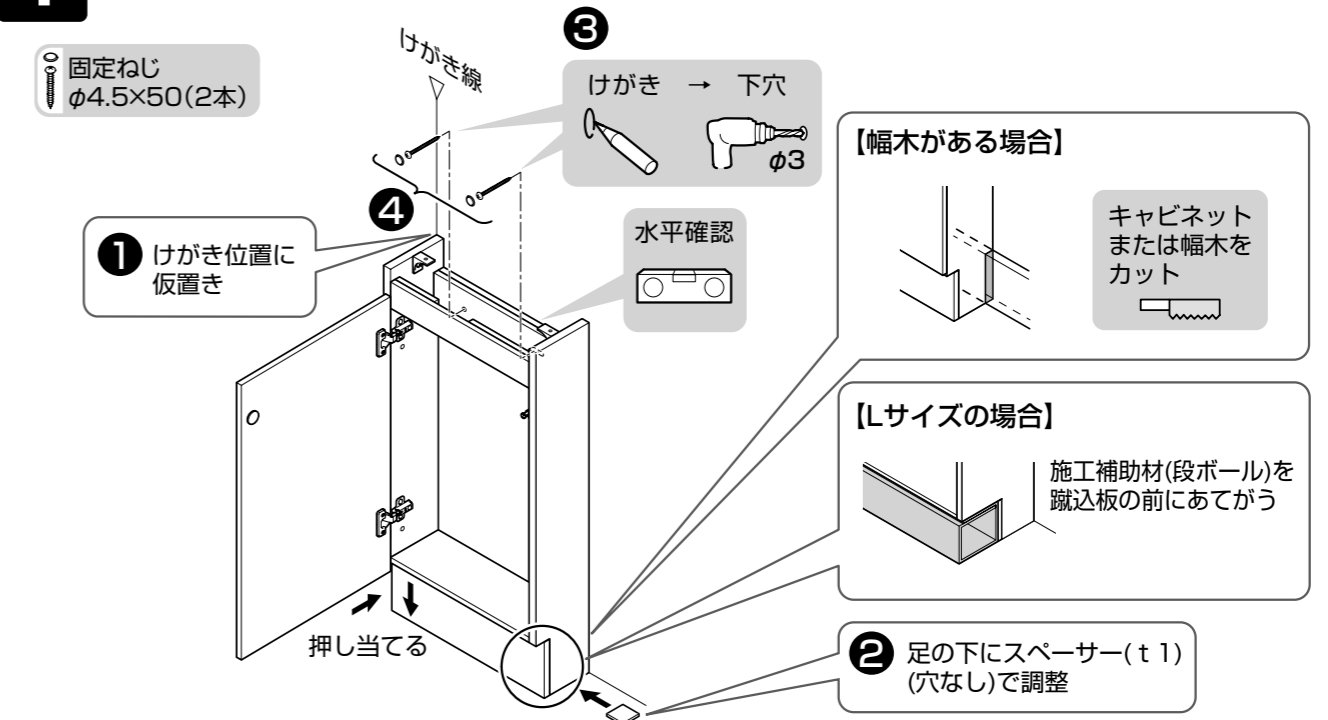
間口調整フィラー(収納タイプ)の場合



MEMO

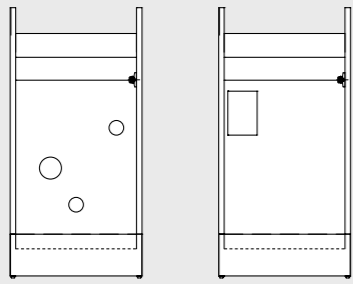
サイドキャビネットありの場合

1 サイドキャビネットの取り付け



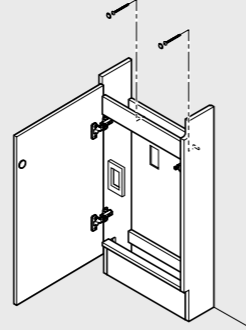
4. 手洗器キャビネット

1 給排水・コンセント用の穴あけ



▶P.36

2 手洗器キャビネットの取り付け



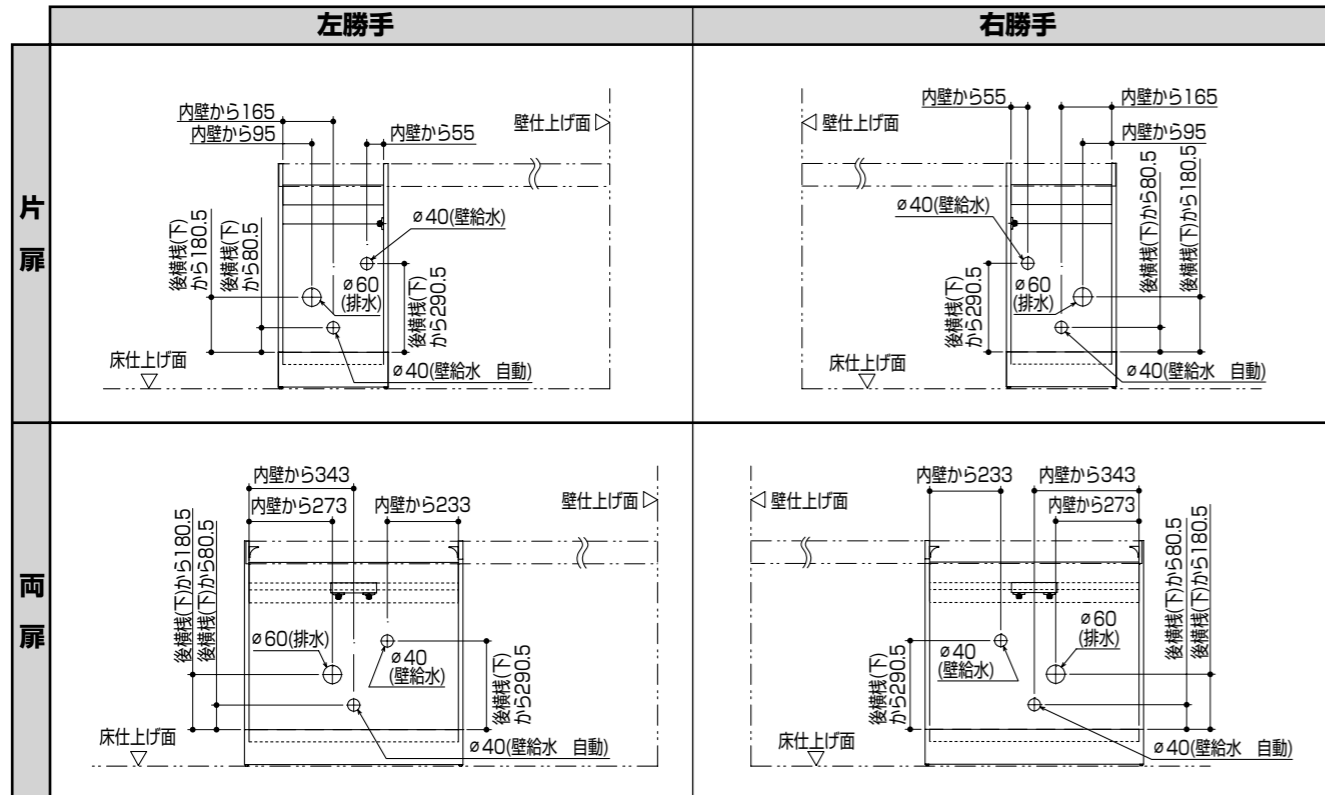
▶P.38

1 給排水・コンセント用の穴あけ

商品タイプに応じた現場の給排水・コンセント位置にあわせて、下図の寸法にて手洗器キャビネットの背板に穴をあける。
※下図は正面から見た形状を表し、扉は省略しています。

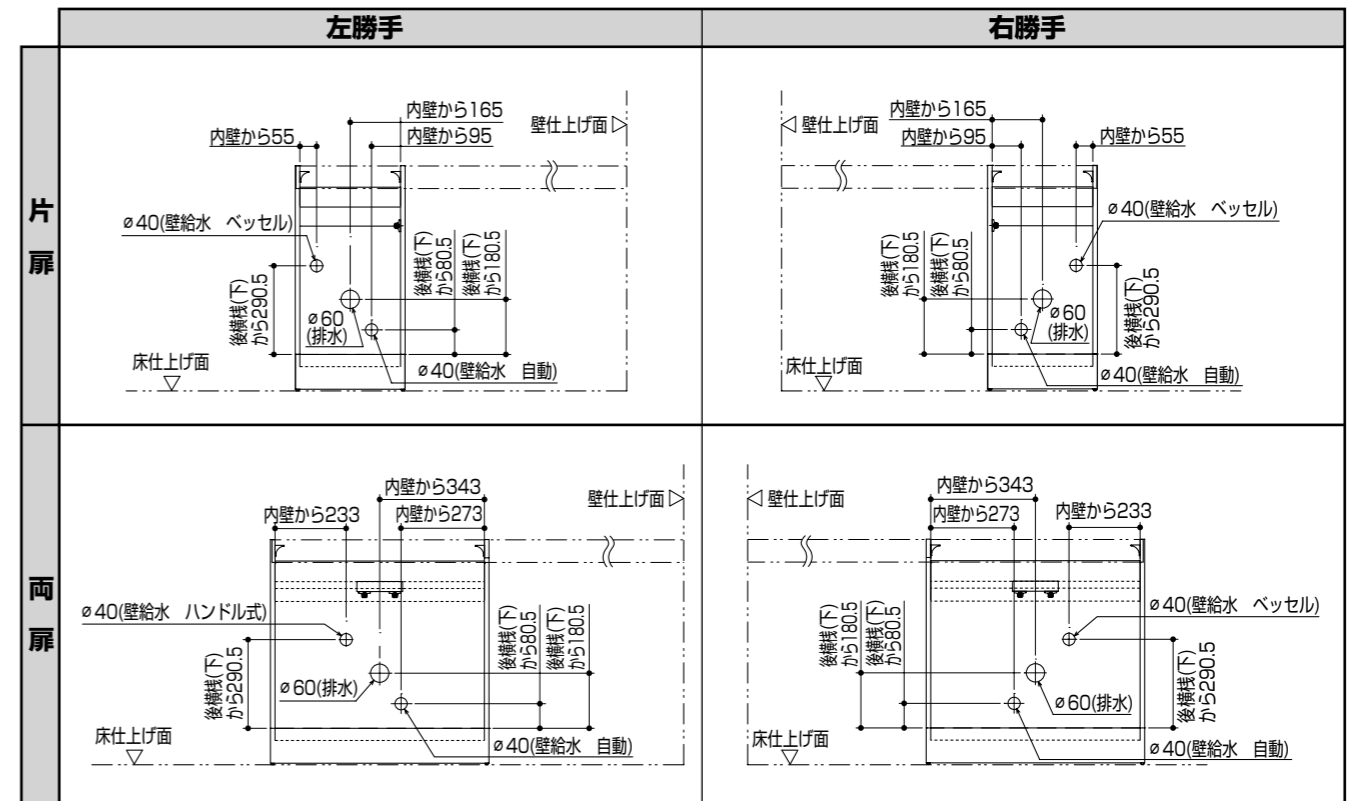
給排水用開口位置

Mサイズ



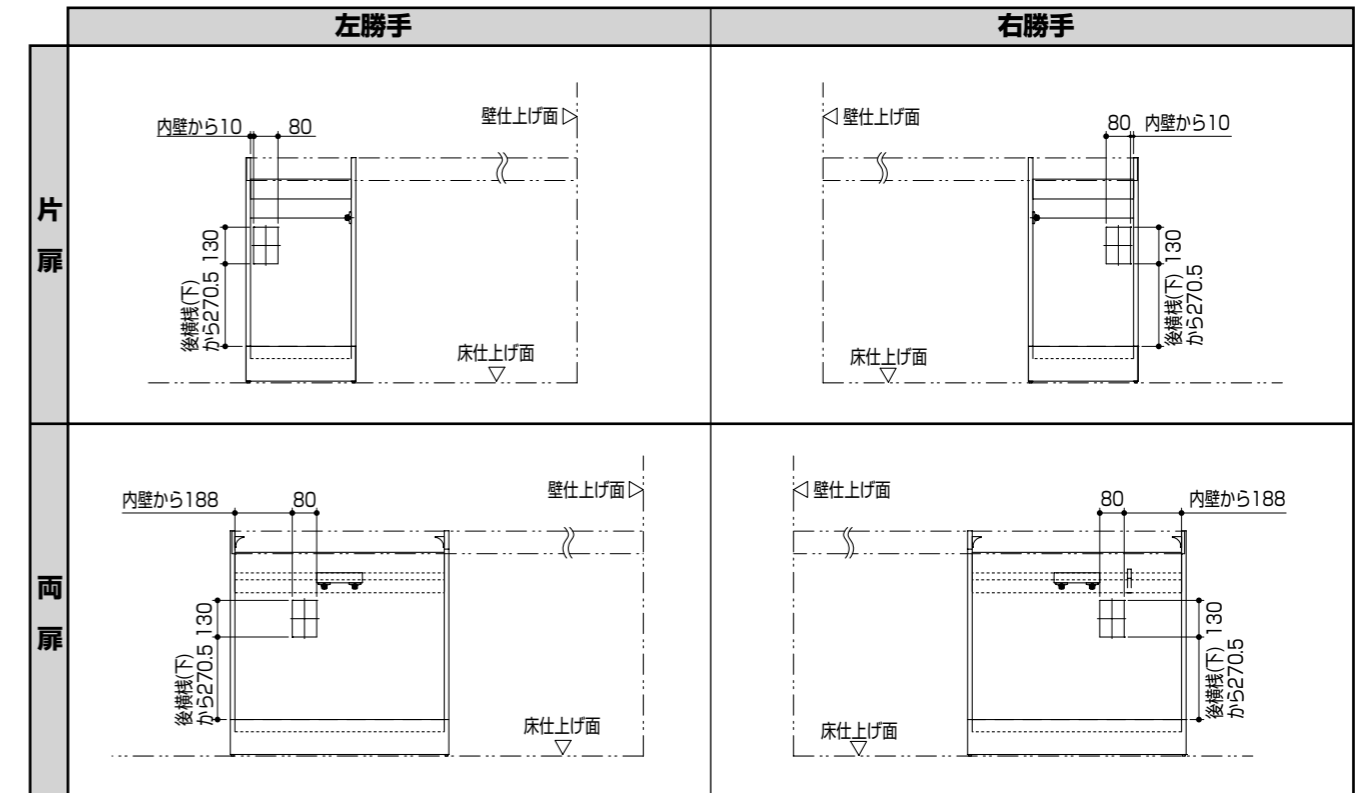
Lサイズ

※対面設置で手洗器位置が中央・振り分け指定の場合は、「左勝手・両扉」の図をご確認ください。



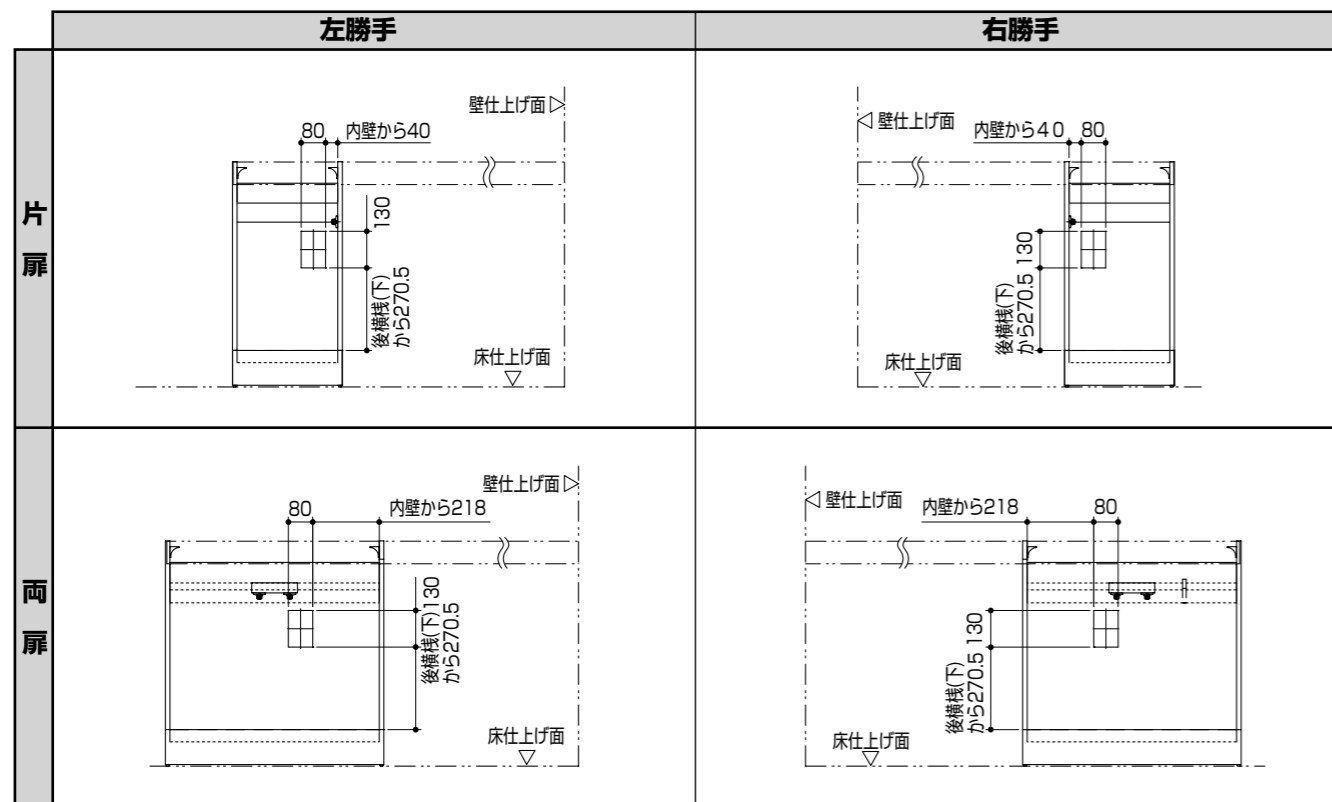
コンセント用開口位置(コンセントありの場合)

Mサイズ



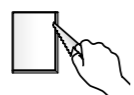
Lサイズ

※対面設置で手洗器位置が中央・振り分け指定の場合は、「左勝手・両扉」の図をご確認ください。



ポイント

コンセント穴は小型のノコギリを使用すると簡単に開けられます。



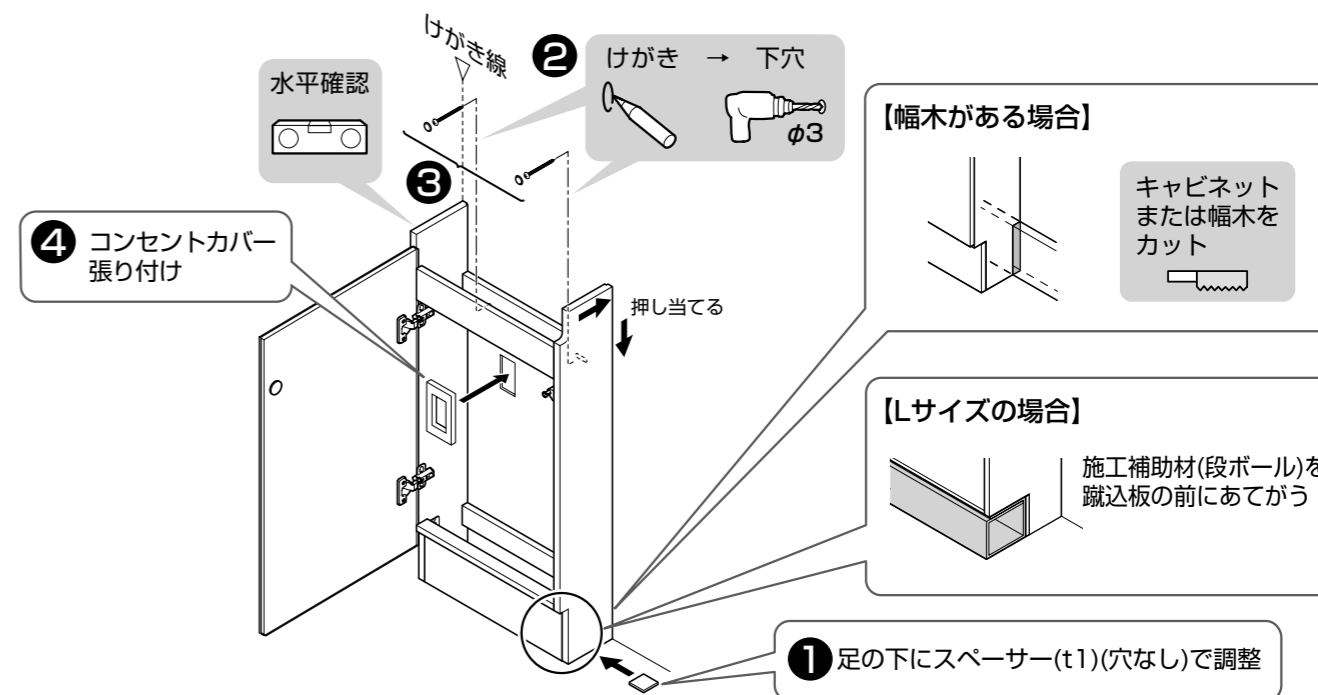
2 手洗器キャビネットの取り付け

手洗器キャビネットのみの場合	P.39
サイドキャビネット・手洗器キャビネットの場合	P.39
間口調整フィラー・手洗器キャビネットの場合	P.40
間口調整フィラー・サイドキャビネット・手洗器キャビネットの場合	P.42
エンドスペーサー(オプション)がつく場合(対面設置のみ)	P.43

MEMO

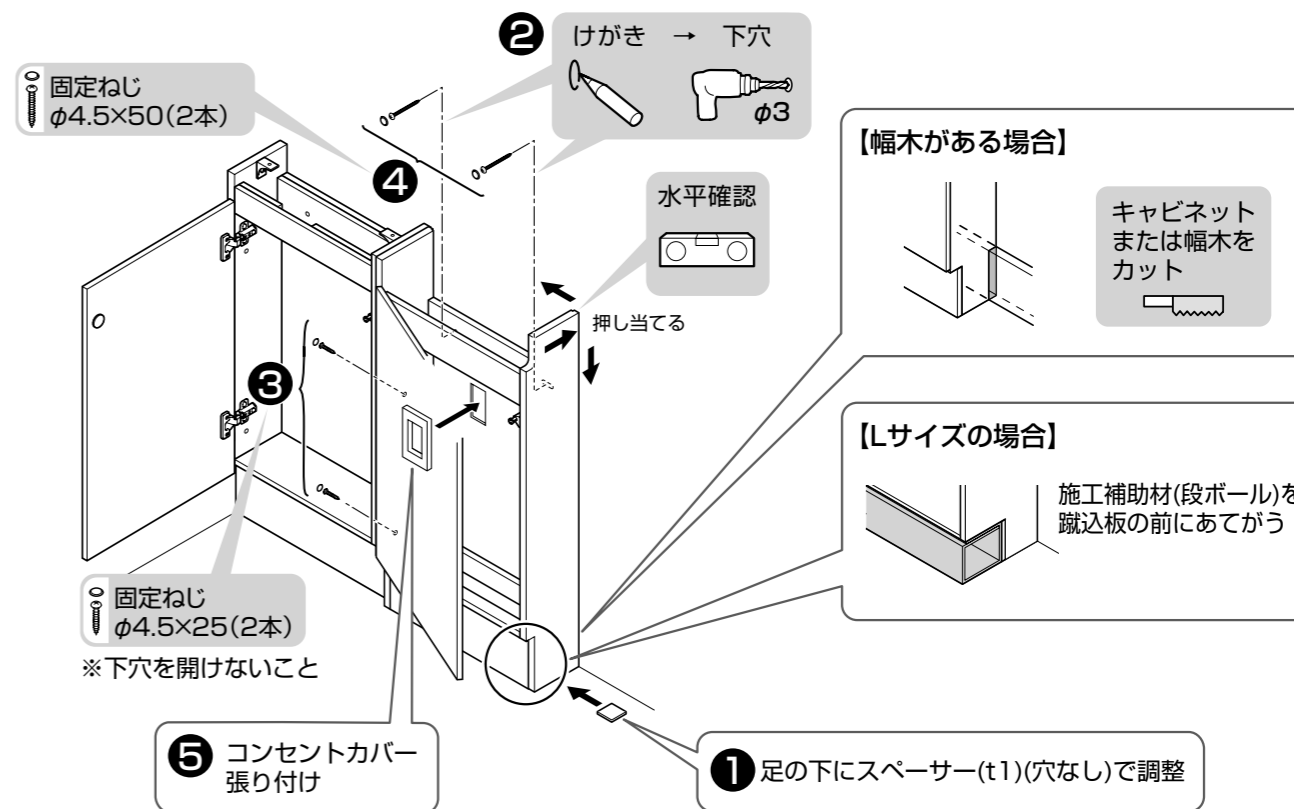
手洗器キャビネットのみの場合

固定ねじ $\phi 4.5 \times 50$ (2本)



サイドキャビネット・手洗器キャビネットの場合

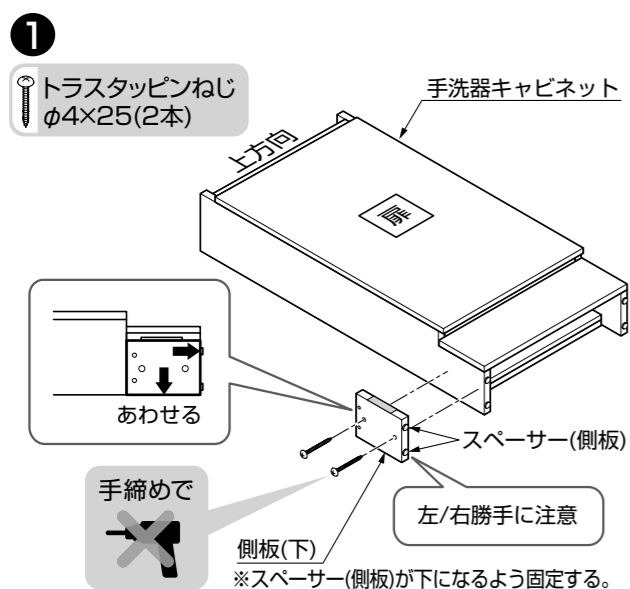
固定ねじ $\phi 4.5 \times 50$ (2本)



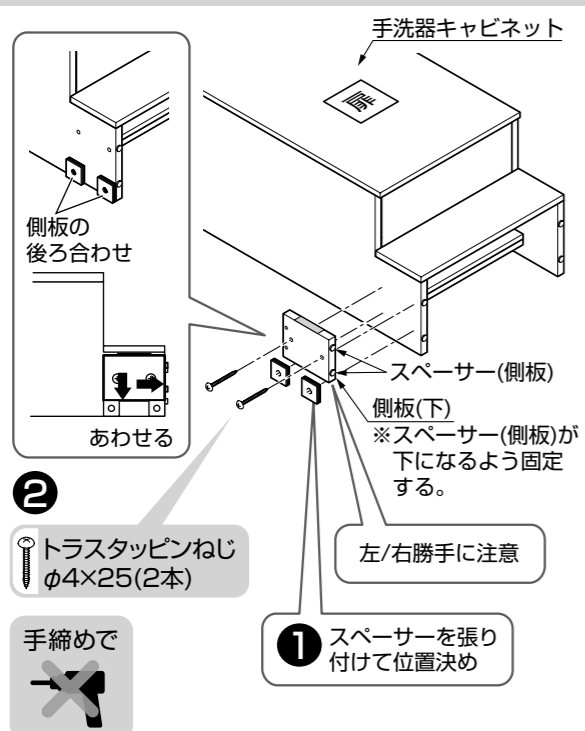
固定ねじ $\phi 4.5 \times 25$ (2本)
※下穴を開けないこと

6 棚受ダボ・棚板を取り付ける

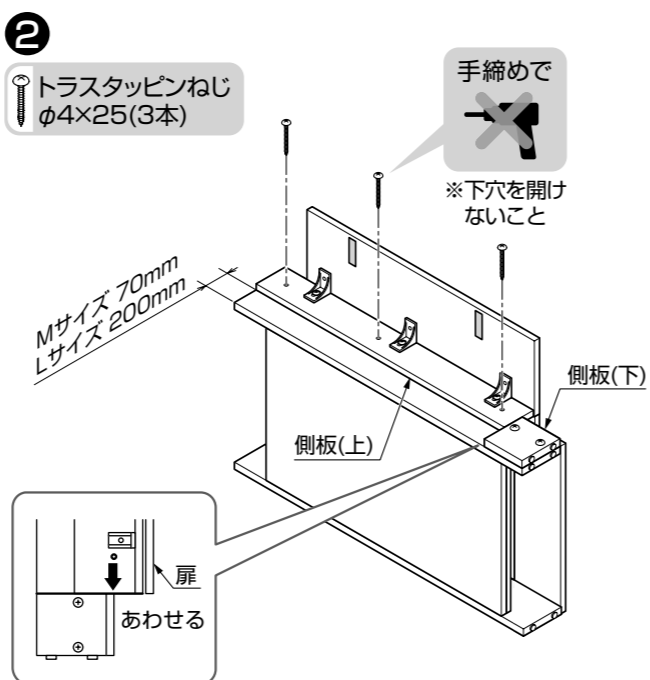
間口調整フィラー・手洗器キャビネットの場合



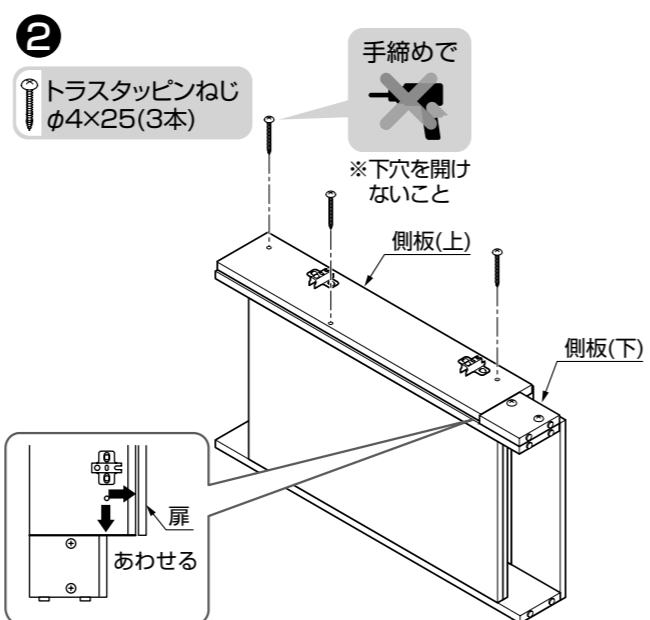
Lサイズの場合



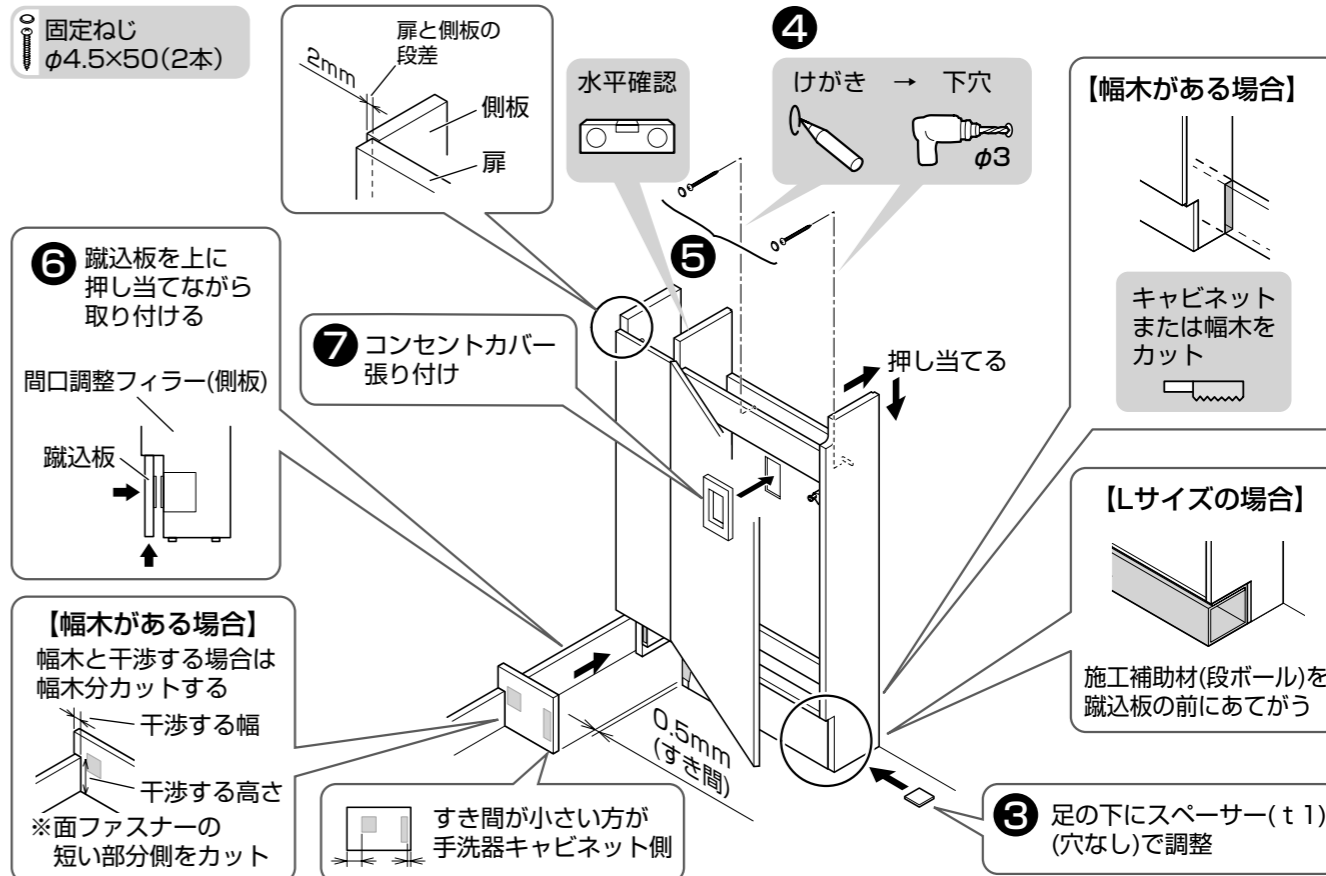
間口調整フィラー(固定タイプ)の場合



間口調整フィラー(収納タイプ)の場合



間口調整フィラー(固定タイプ)の場合

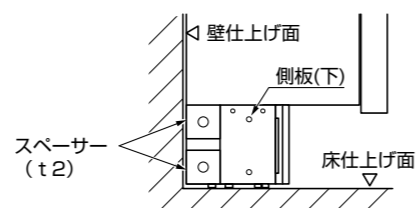


MEMO

側板位置決め目安

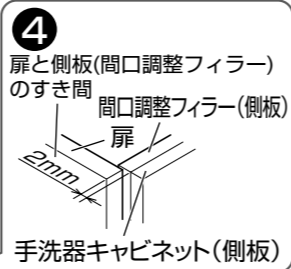
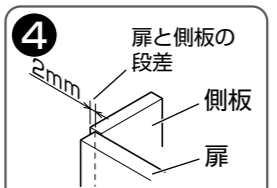
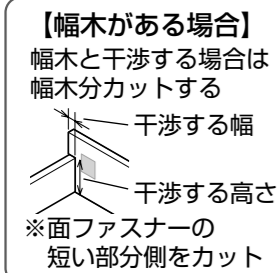
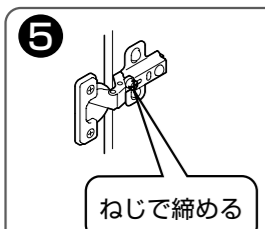
		収納タイプ	固定タイプ
Mサイズ	側板(上)	キャビネット側板の前合わせ	キャビネット側板の後ろから70mm
	側板(下)	キャビネット側板の後ろ合わせ	キャビネット側板の後ろ合わせ
Lサイズ	側板(上)	キャビネット側板の前合わせ	キャビネット側板の後ろから200mm
	側板(下)	キャビネット側板のスペーサーあわせ※	キャビネット側板のスペーサーあわせ※

※Lサイズの側板(下)は下図のようにスペーサーにあわせて取り付けます。



間口調整フィラー(収納タイプ)の場合

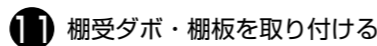
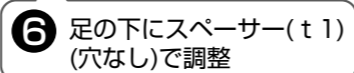
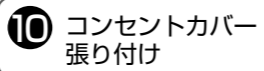
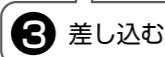
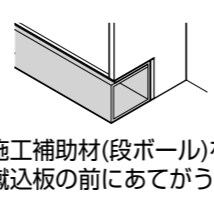
固定ねじ
φ4.5×50(2本)



【幅木がある場合】

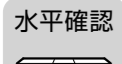


【Lサイズの場合】

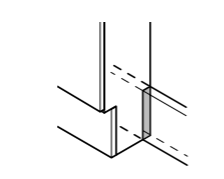


間口調整フィラー・サイドキャビネット・手洗器キャビネットの場合

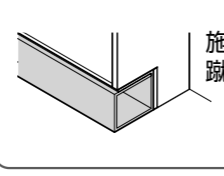
固定ねじ
φ4.5×50(2本)



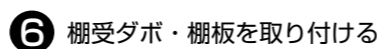
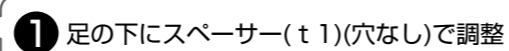
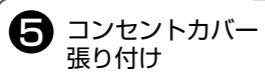
【幅木がある場合】



【Lサイズの場合】



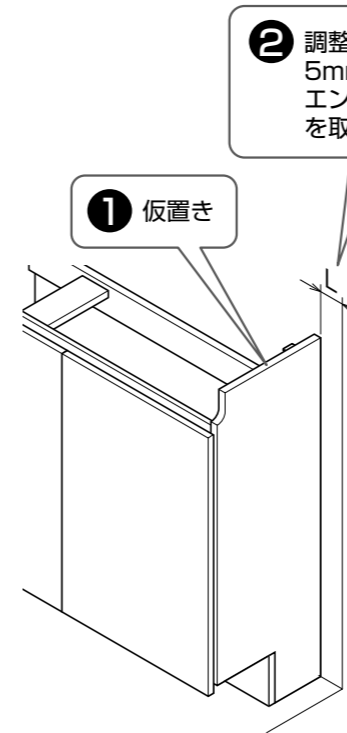
固定ねじ
φ4.5×25(2本)
※下穴を開けないこと



エンドスペーサー(オプション)がつく場合(対面設置のみ)

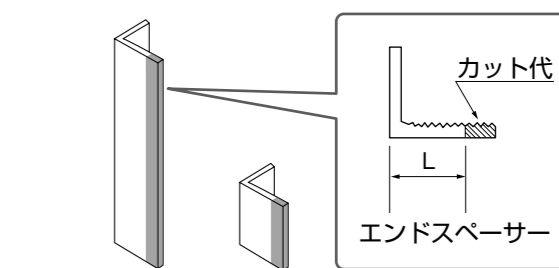
エンドスペースがある場合

※左勝手・右勝手共通



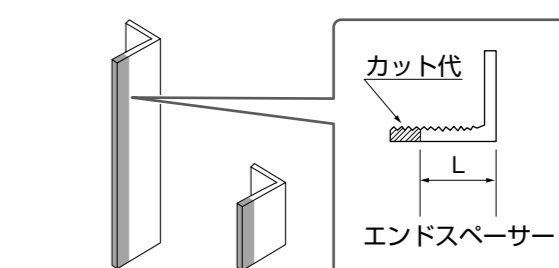
3 エンドスペーサーをカッターナイフでカットする

【左勝手】



キャビネット用 蹴込用

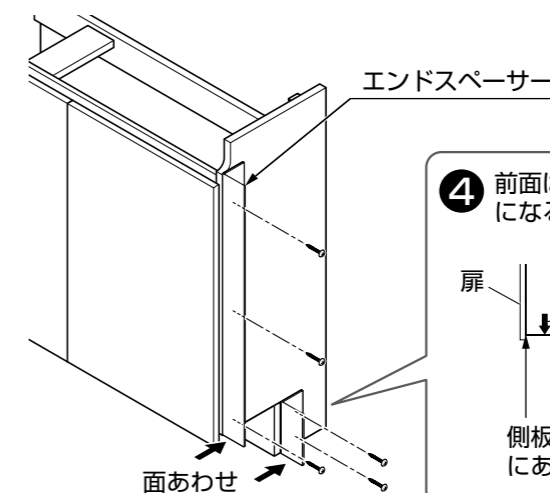
【右勝手】



キャビネット用 蹴込用

5

トラスタッピンねじ
φ4×14(5本)



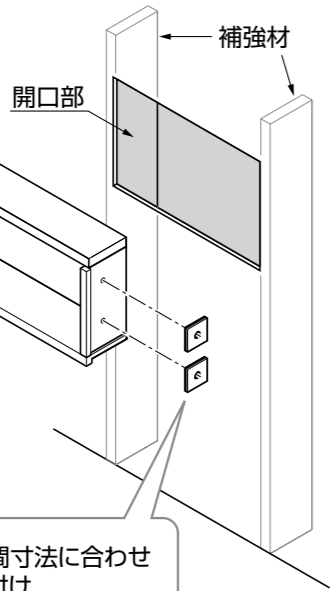
MEMO

ビルトインリモコン収納ボックスのみの場合

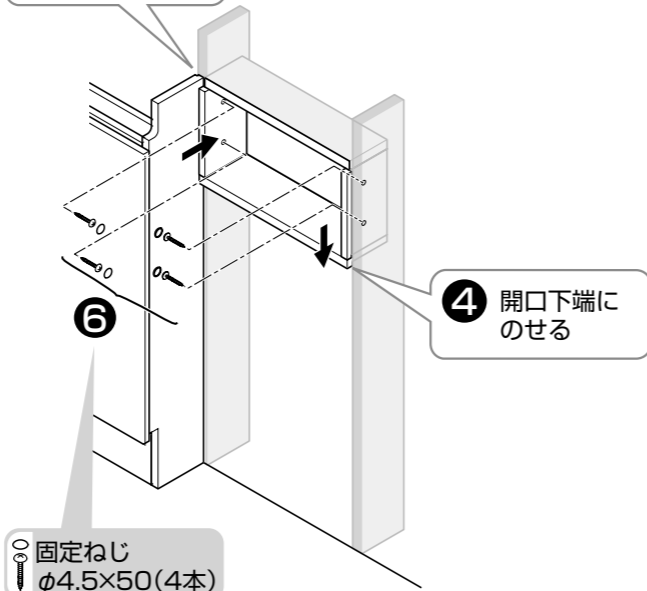
1 ビルトインリモコン収納ボックスの取り付け

1 壁開口を確認する
開口位置はP.12参照

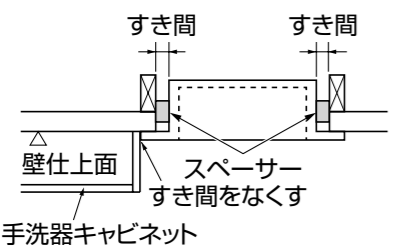
2 仮置き



5 壁に合わせる



3 開口部とのすき間寸法に合わせ
スペーサー張り付け



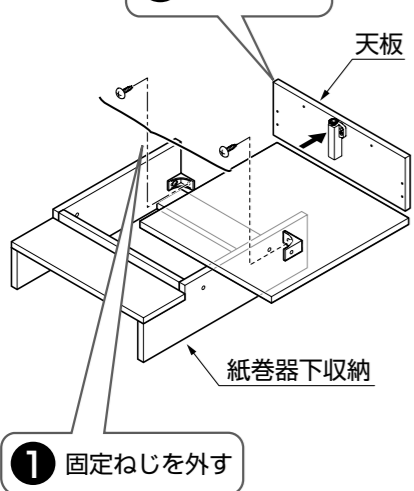
ポイント

スペーサーは必ず張り付ける
ねじ固定時にキャビネットが変形する
原因となります。

紙巻器下収納・ビルトインリモコン収納ボックスの場合

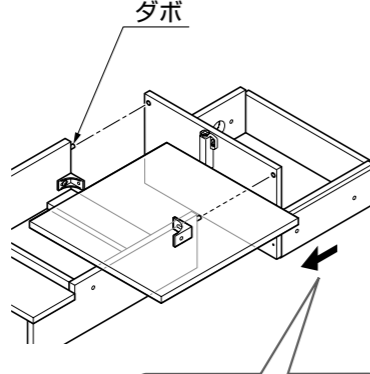
1 紙巻器下収納・ビルトインリモコン収納ボックスの組み立て

2 使用しない



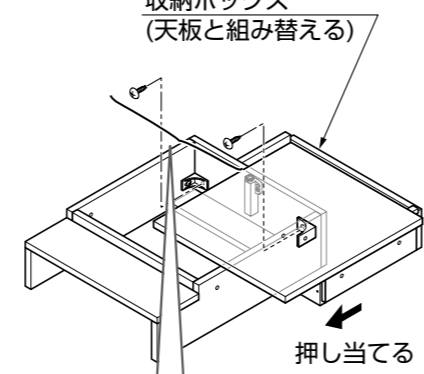
ダボ

3 ダボに合わせて
差し込む



ビルトインリモコン
収納ボックス
(天板と組み替える)

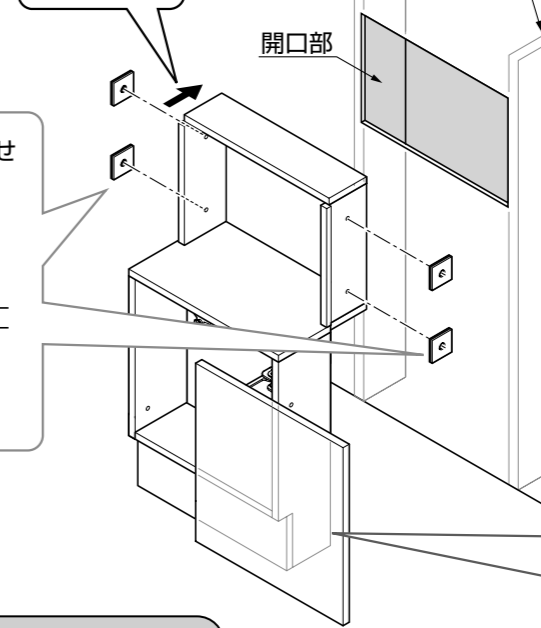
4 外したねじを使用



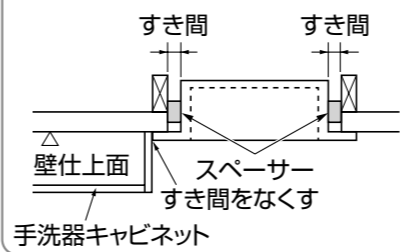
2 紙巻器下収納・ビルトインリモコン収納ボックスの取り付け

1 壁開口(Mサイズでビルトインリモコンありの場合)を確認する
開口位置はP.12参照

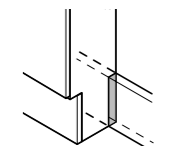
2 仮置き



3 開口部とのすき間寸法に合わせ
スペーサー張り付け



【幅木がある場合】



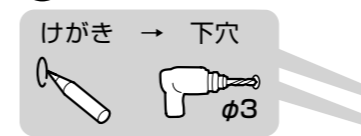
キャビネット
または
幅木をカット

ポイント

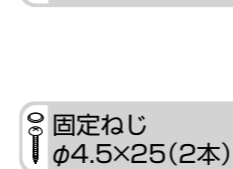
スペーサーは必ず張り付ける
ねじ固定時にキャビネットが変形する原因となります。

水平確認

8 固定ねじ φ4.5×50(4本)



固定ねじ φ4.5×50(2本)



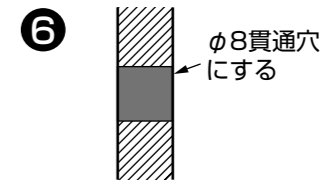
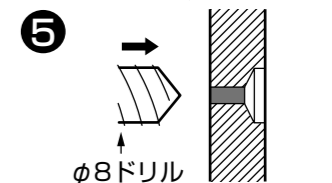
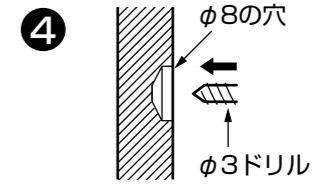
固定ねじ φ4.5×25(2本)



7 足の下にスペーサー(t1)
(穴なし)で調整

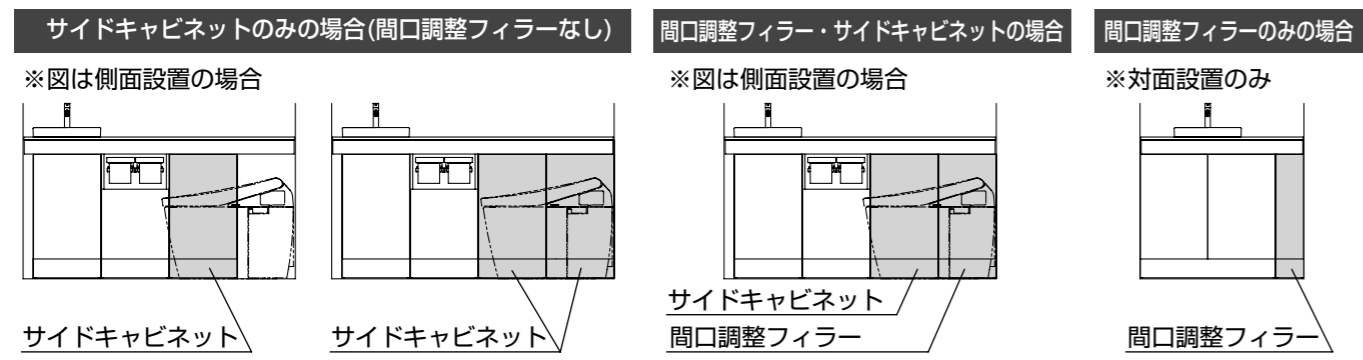
穴うめキャップ

押し当てる



7. 間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)

※側面設置で手洗器よりも後方に設置する場合
 ※対面設置で手洗器に向かって右側に設置する場合



サイドキャビネットのみの場合

1 サイドキャビネットの取り付け

▶P.49

間口調整フィラー・サイドキャビネット (固定タイプ) の場合

1 側板(壁側)の取り付け

▶P.51

2 側板(キャビネット側)の取り付け

▶P.52

3 サイドキャビネット・蹴込板の取り付け

▶P.53

間口調整フィラー (収納タイプ)・サイドキャビネットの場合(対面設置)

1 背板の取り付け

▶P.53

2 側板(壁側)の取り付け

▶P.54

3 側板(キャビネット側)の取り付け

▶P.54

4 サイドキャビネット・蹴込板・扉の取り付け

▶P.55

間口調整フィラー (固定タイプ) のみの場合(対面設置)

1 側板(壁側)の取り付け

▶P.56

2 側板(キャビネット側)の取り付け

▶P.56

3 サイドキャビネット・蹴込板の取り付け

▶P.57

間口調整フィラー (収納タイプ) のみの場合(対面設置)

1 側板(キャビネット側)の取り付け

▶P.58

2 背板の取り付け

▶P.58

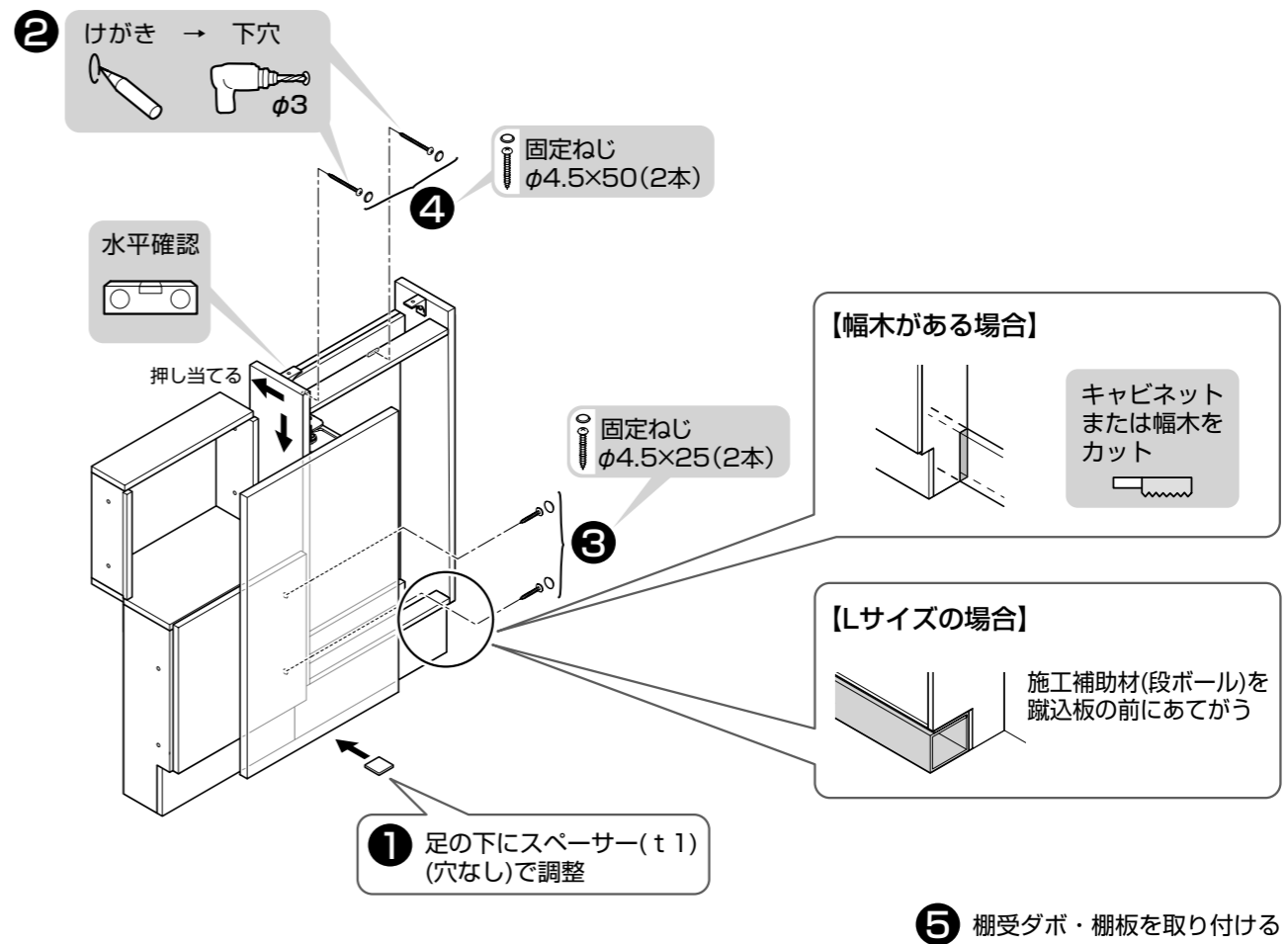
3 側板(壁側)の取り付け + 手洗器キャビネット・蹴込板・扉の取り付け

▶P.59

サイドキャビネットのみの場合

1 サイドキャビネットの取り付け

サイドキャビネット1台の場合

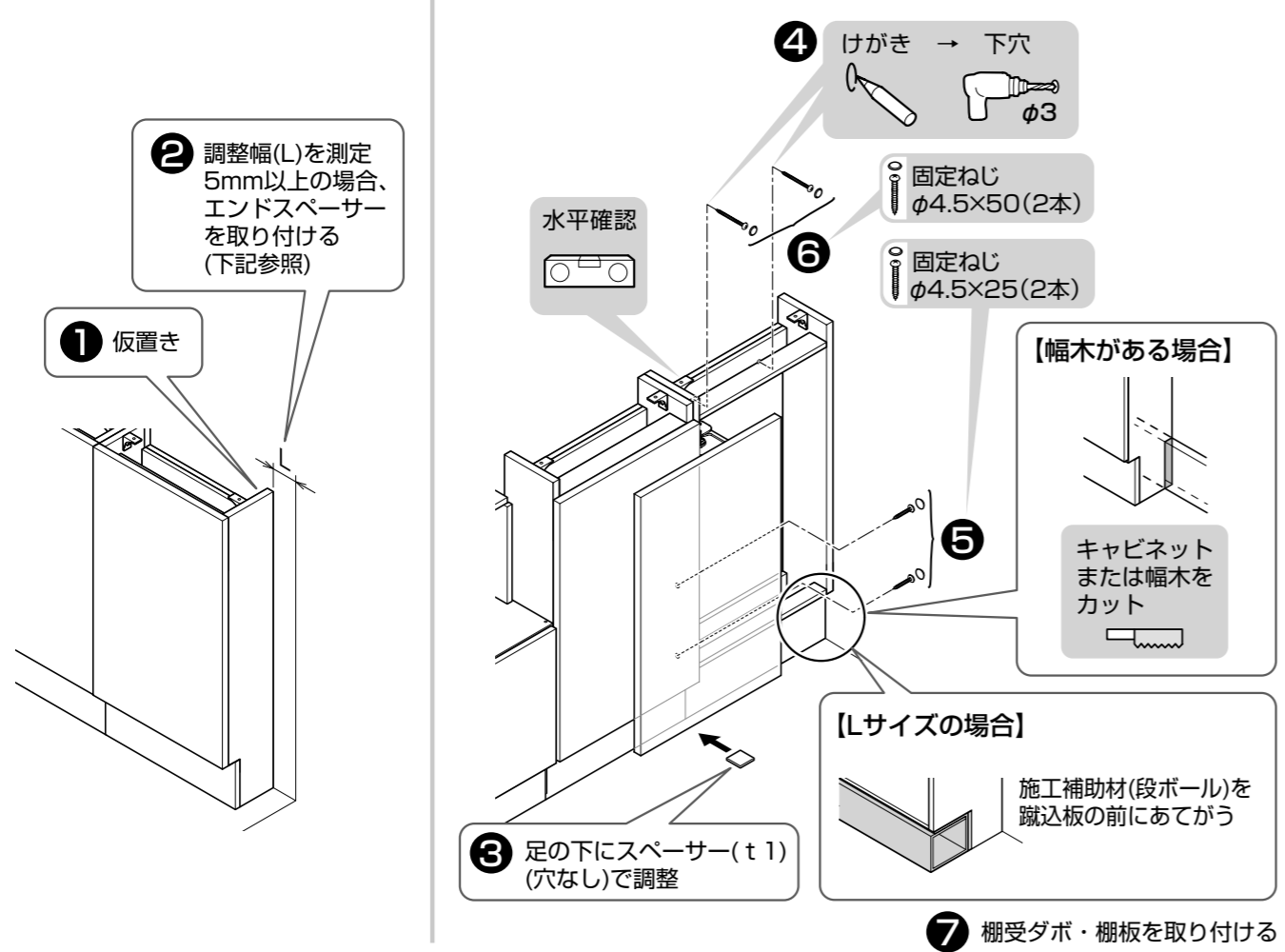


MEMO

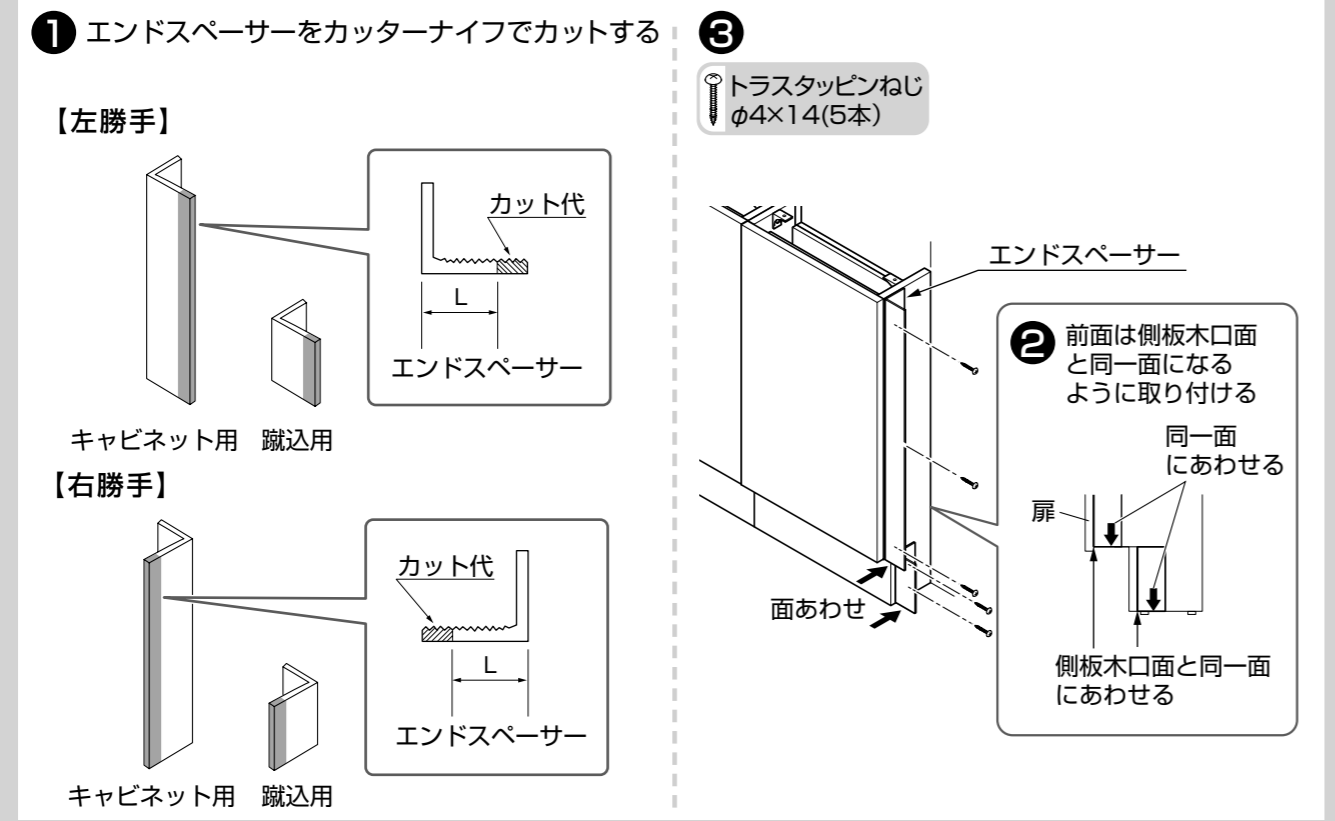
7 間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)

7 間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)

サイドキャビネット2台の場合

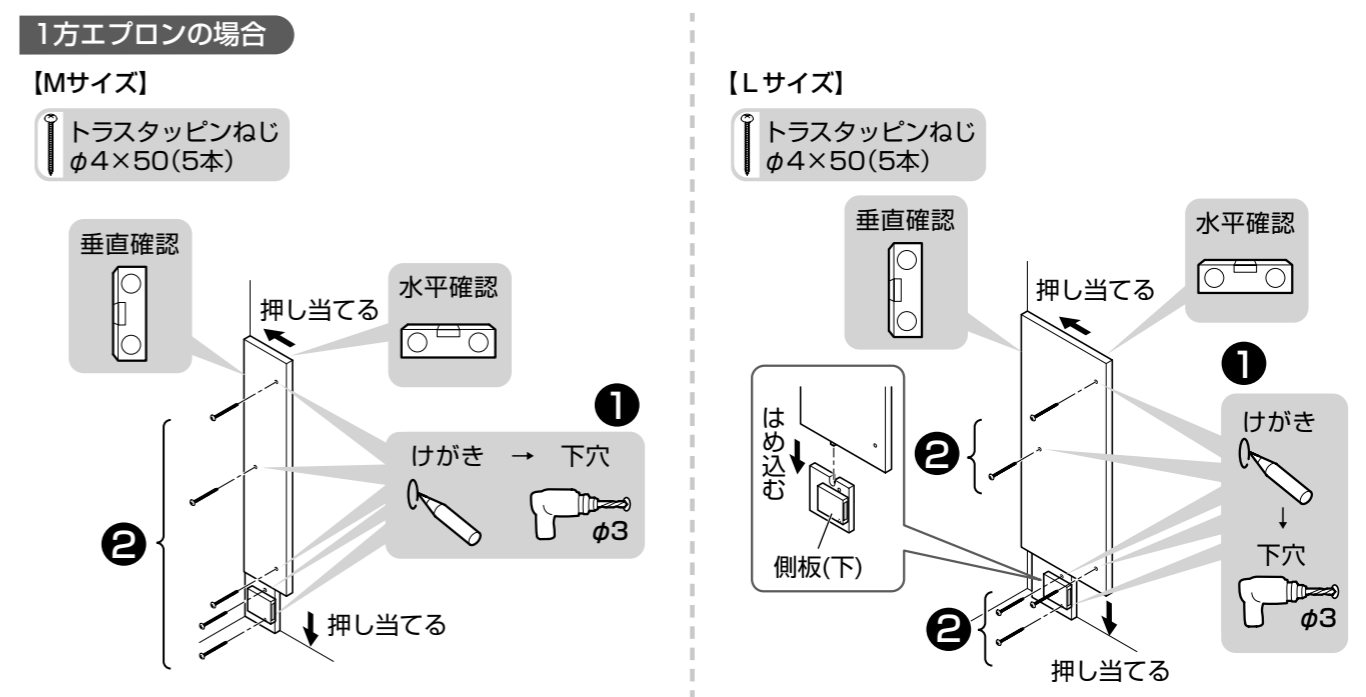


エンドスペーサーの取付方法(L≧5mmの場合)

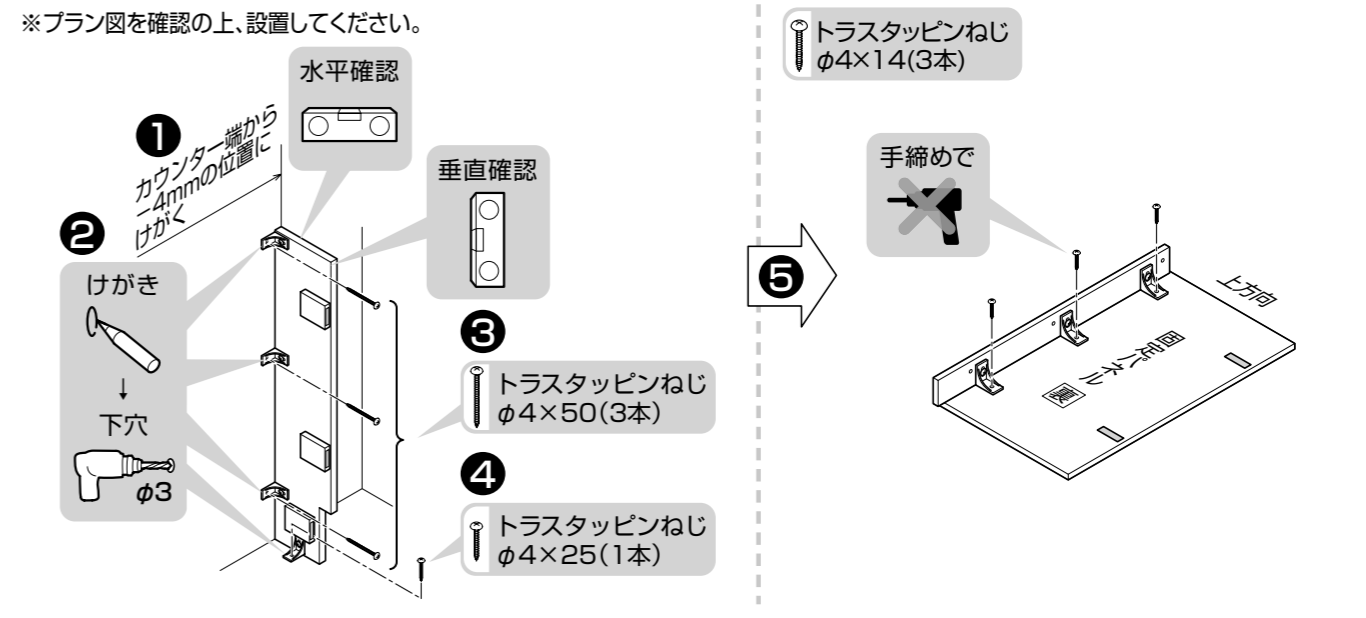


間口調整フィラー(固定タイプ)・サイドキャビネットの場合

1 側板(壁側)の取り付け

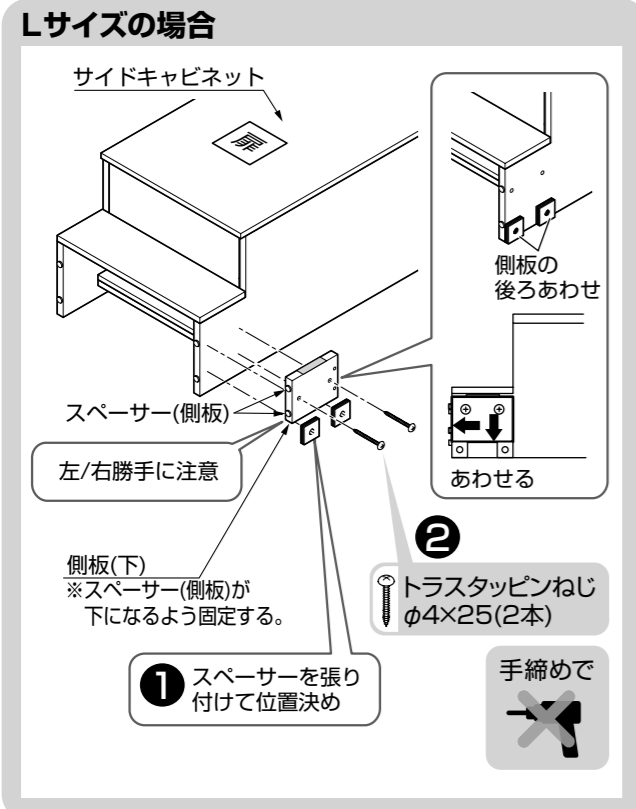
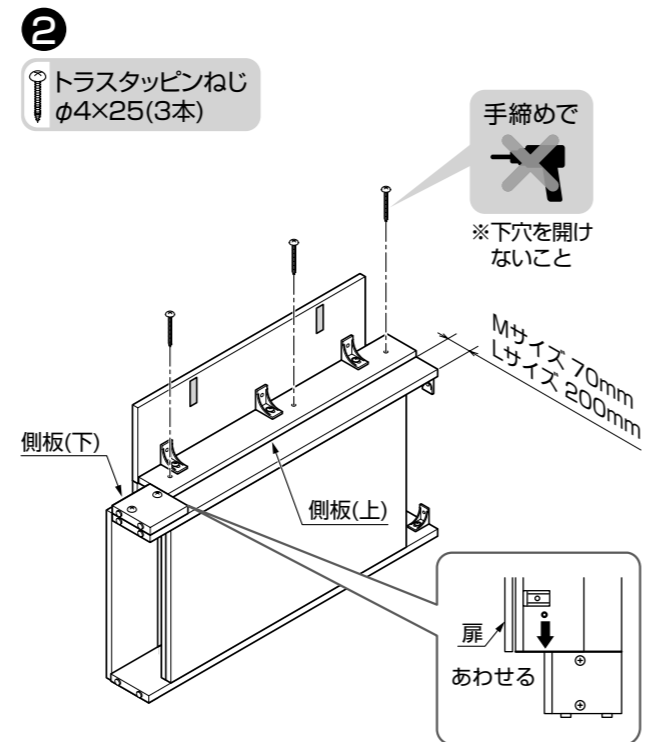
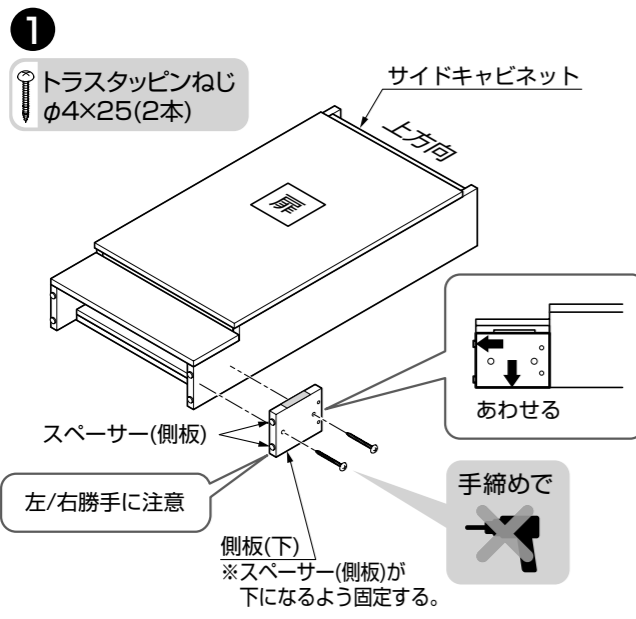


2方・3方エブロンの場合 (対面設置のみ)



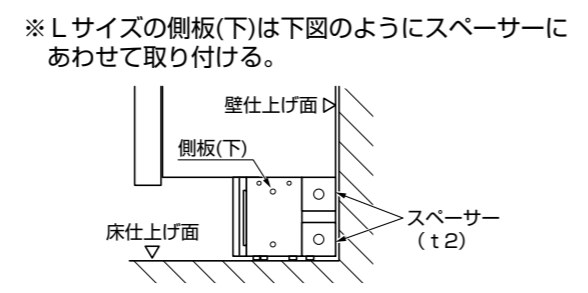
MEMO

2 側板(キャビネット側)の取り付け

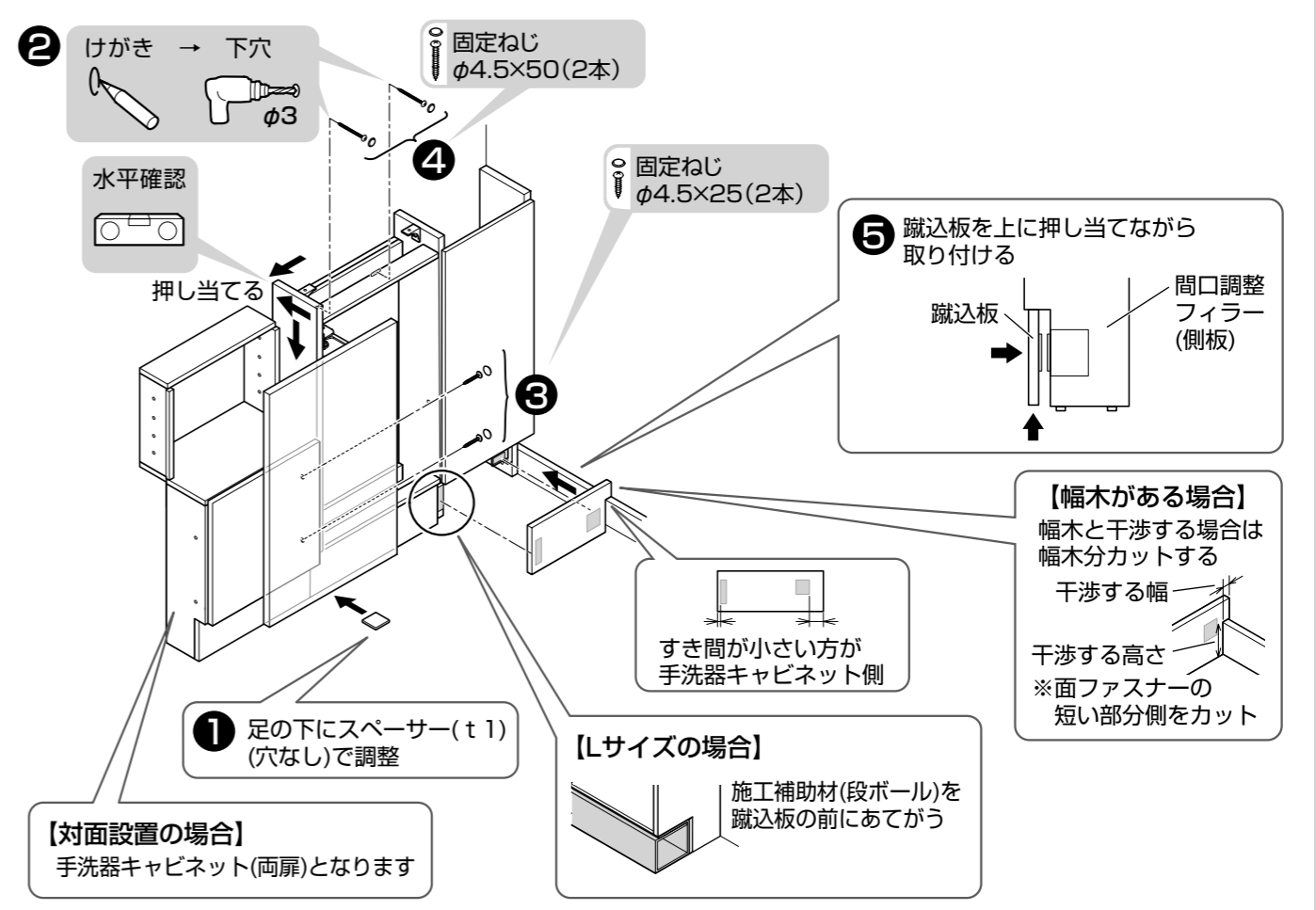


側板位置決めの目安

		固定タイプ
Mサイズ	側板(上)	キャビネット側板の後ろから70mm
	側板(下)	キャビネット側板の後ろあわせ
Lサイズ	側板(上)	キャビネット側板の後ろから200mm
	側板(下)	キャビネット側板のスペーサーあわせ※

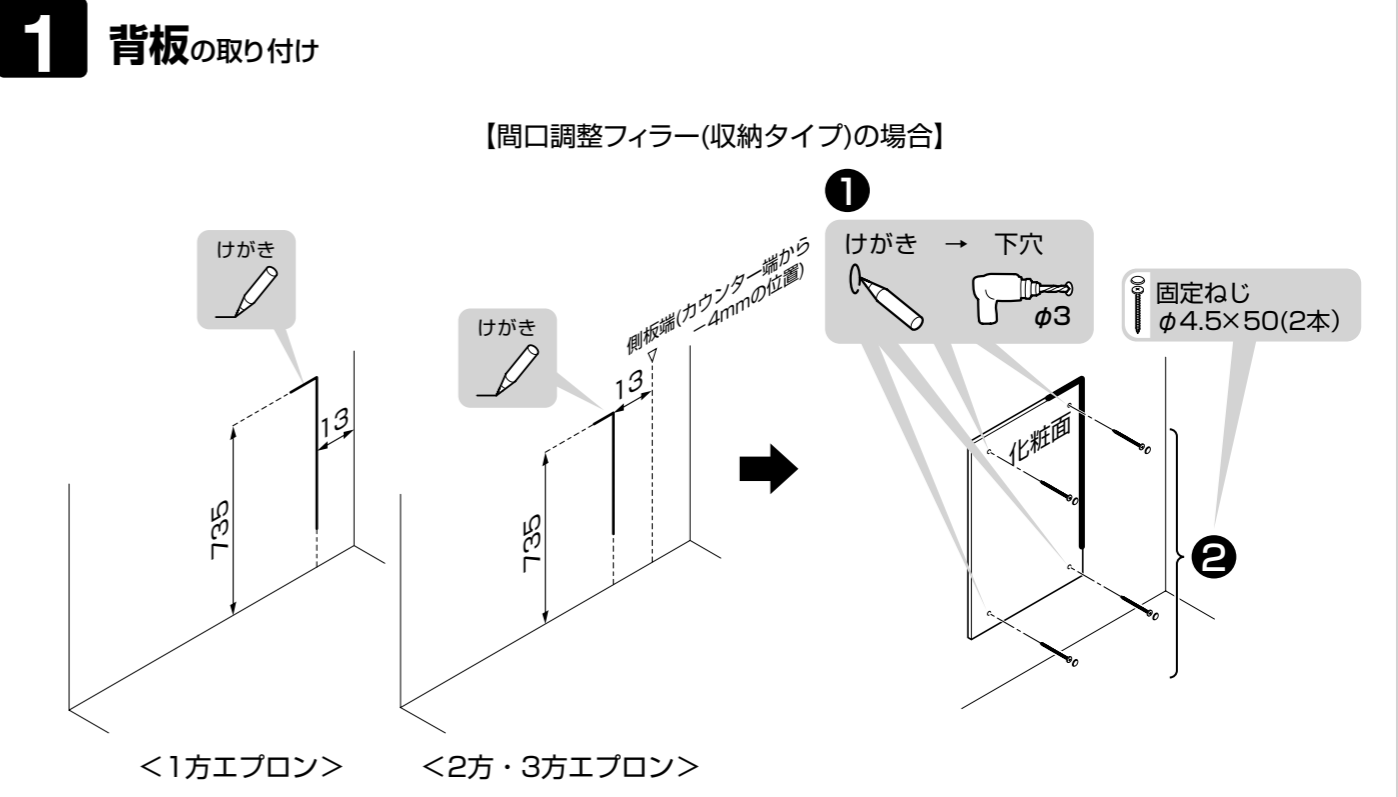


3 サイドキャビネット・蹴込板の取り付け



6 棚受ダボ・棚板を取り付ける

間口調整フィラー(収納タイプ)・サイドキャビネットの場合(対面設置)

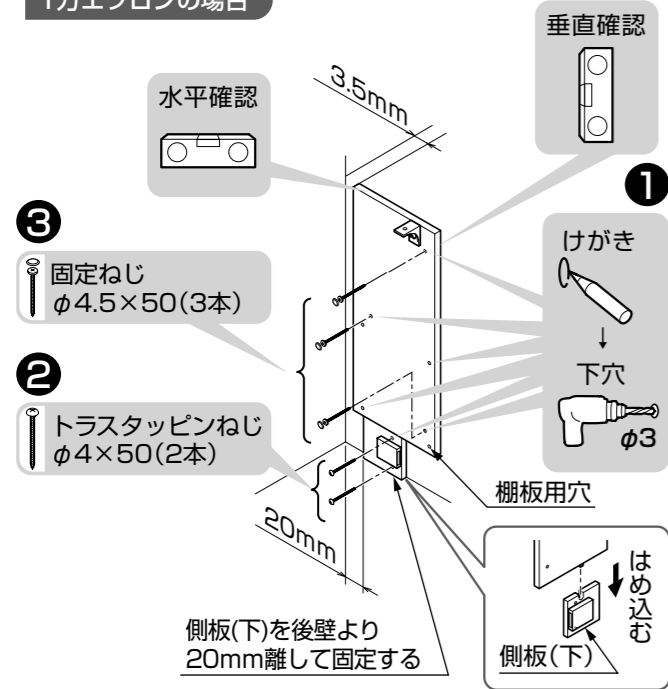


7 間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)

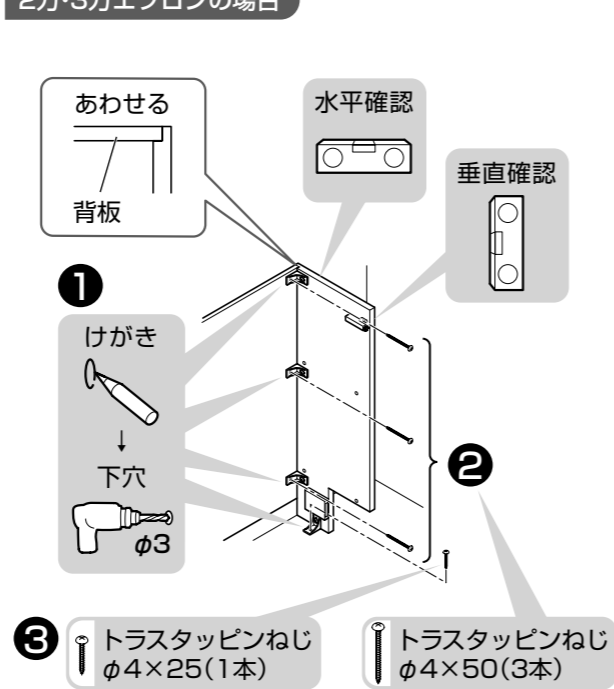
7 間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)

2 側板(壁側)の取り付け

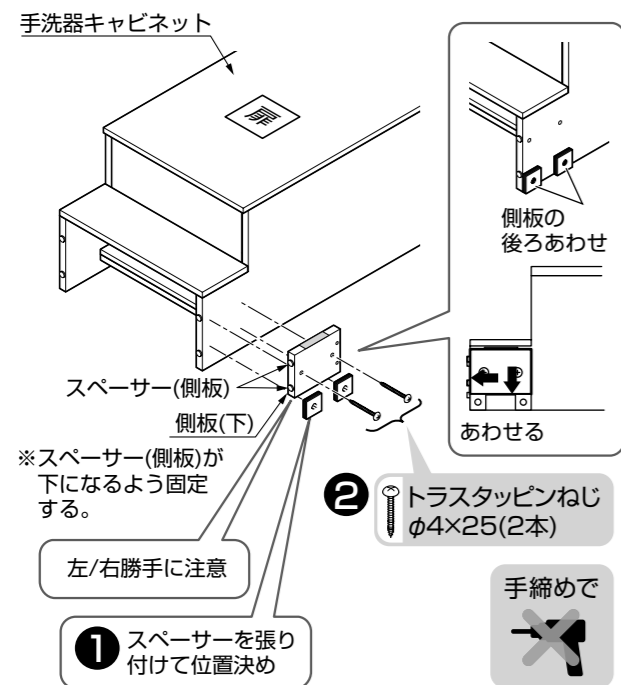
1方エプロンの場合



2方・3方エプロンの場合



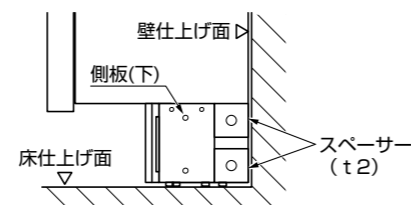
3 側板(キャビネット側)の取り付け



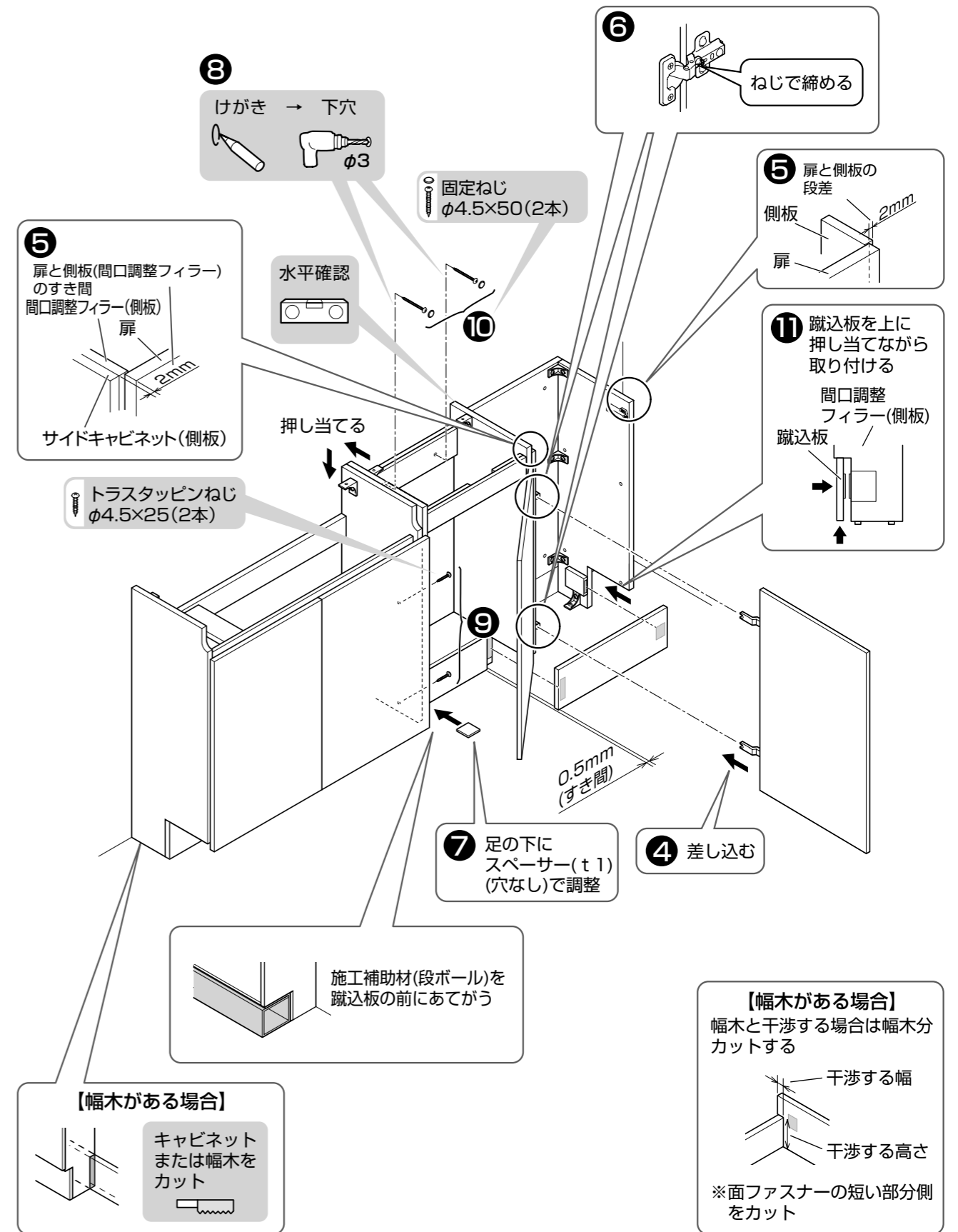
側板位置決め目安

		収納タイプ
Lサイズ	側板(上)	キャビネット側板の前あわせ
	側板(下)	キャビネット側板のスペーサーあわせ※

※側板(下)は下図のようにスペーサーにあわせて取り付ける。



4 サイドキャビネット・蹴込板・扉の取り付け



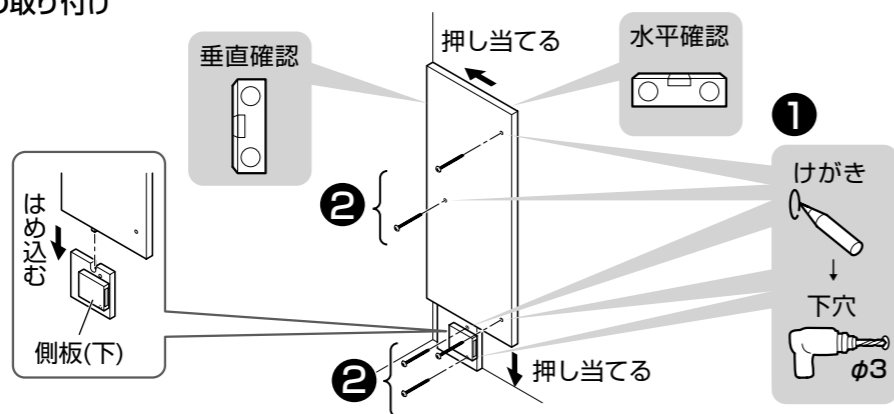
⑫ 棚受ダボ・棚板を取り付ける

間口調整フィラー(固定タイプ)のみの場合(対面設置)

1 側板(壁側)の取り付け

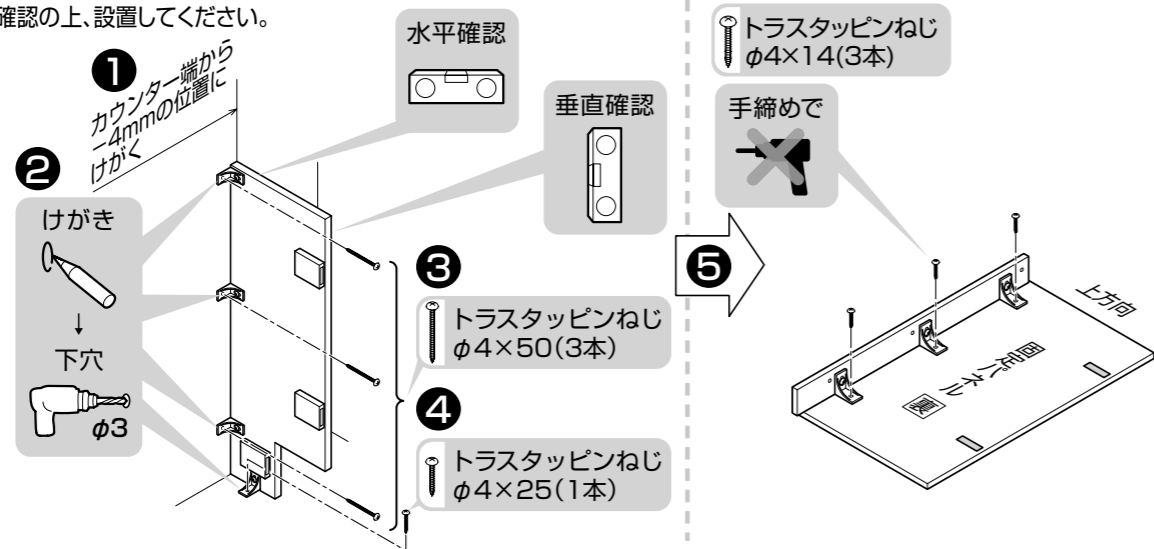
1方エプロンの場合

トラスタッピンねじ
φ4×50(5本)

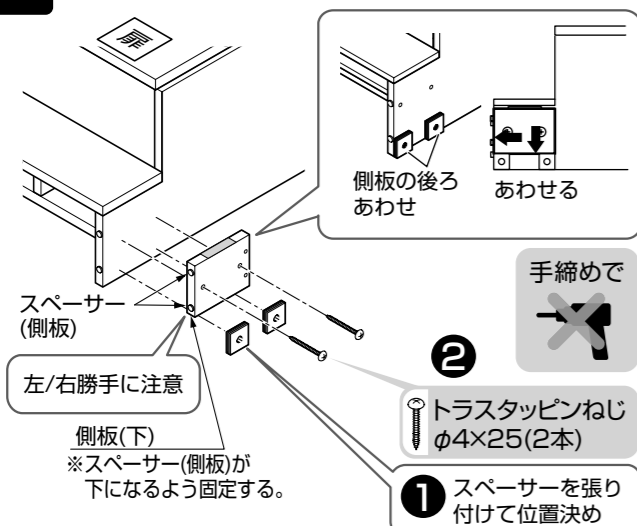


2方・3方エプロンの場合 (対面設置のみ)

※プラン図を確認の上、設置してください。

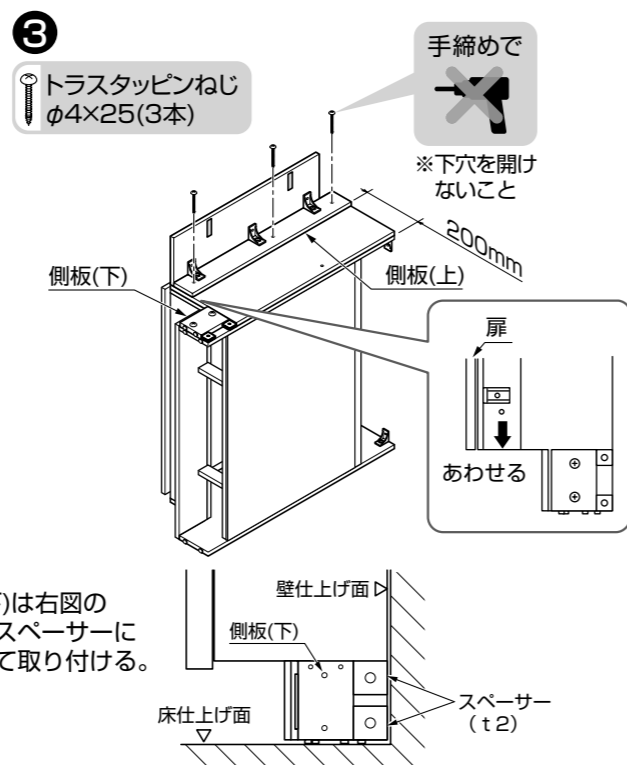


2 側板(キャビネット側)の取り付け



側板位置決め目安

		固定タイプ
L サイズ	側板(上)	キャビネット側板の 後ろから200mm
	側板(下)	キャビネット側板の スペーサーあわせ※



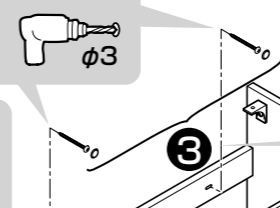
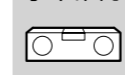
※側板(下)は右図の
ようにスペーサーに
あわせて取り付け。

3 サイドキャビネット・蹴込板の取り付け

2 けがき → 下穴



水平確認



固定ねじ
φ4.5×50(2本)



水平確認



蹴込板を上に押し当てながら
取り付ける



間口調整
フィラー
(側板)



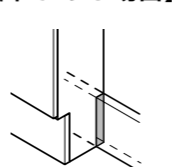
【幅木がある場合】
幅木と干渉する場合は
幅木分カットする
干渉する幅



干渉する高さ
※面ファスナーの
短い部分側をカット

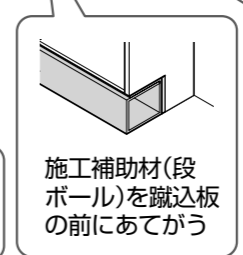


【幅木がある場合】



キャビネット
または幅木を
カット

1 足の下に
スペーサー(t1)
(穴なし)で調整



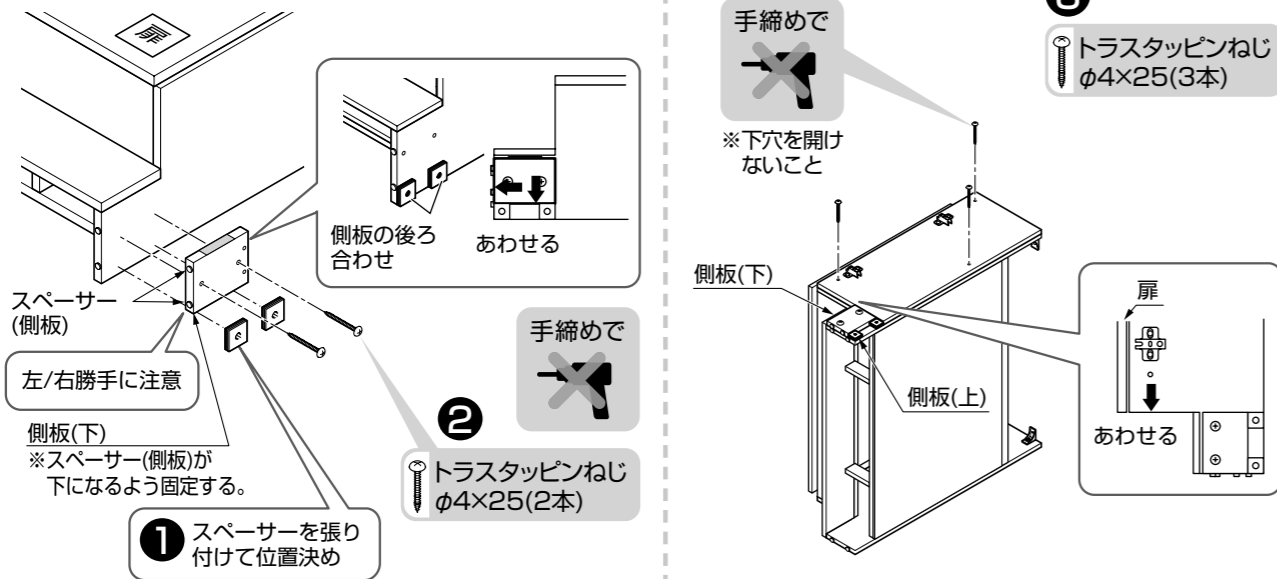
施工補助材(段
ボール)を蹴込板
の前面にあてがう

すき間が小さい方が
手洗器キャビネット側

MEMO

間口調整フィラー(収納タイプ)のみの場合(対面設置)

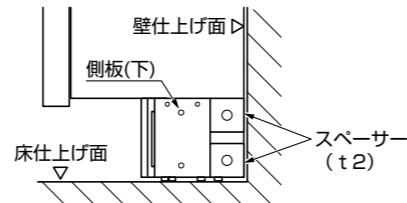
1 側板(キャビネット側)の取り付け



側板位置決めの目安

		収納タイプ(対面)設置のみ
Lサイズ	側板(上)	キャビネット側板の前あわせ
	側板(下)	キャビネット側板のスペーサーあわせ※

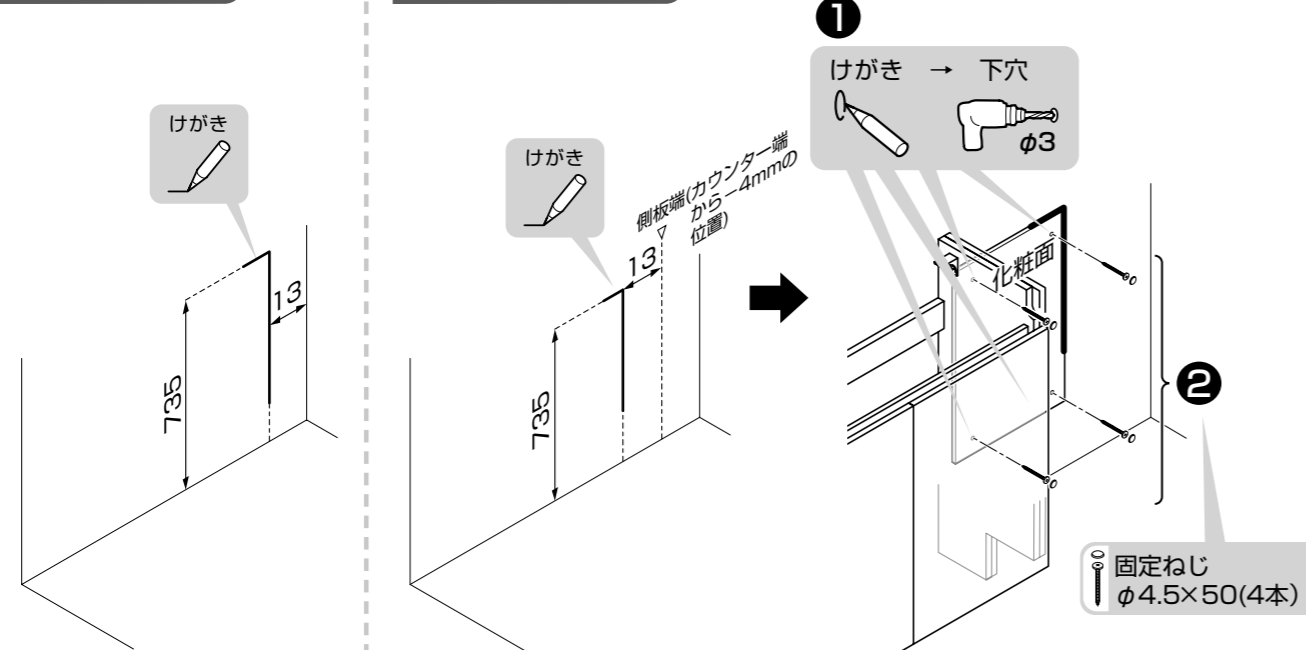
※側板(下)は右図のようにスペーサーにあわせて取り付ける。



2 背板の取り付け

1方エプロンの場合

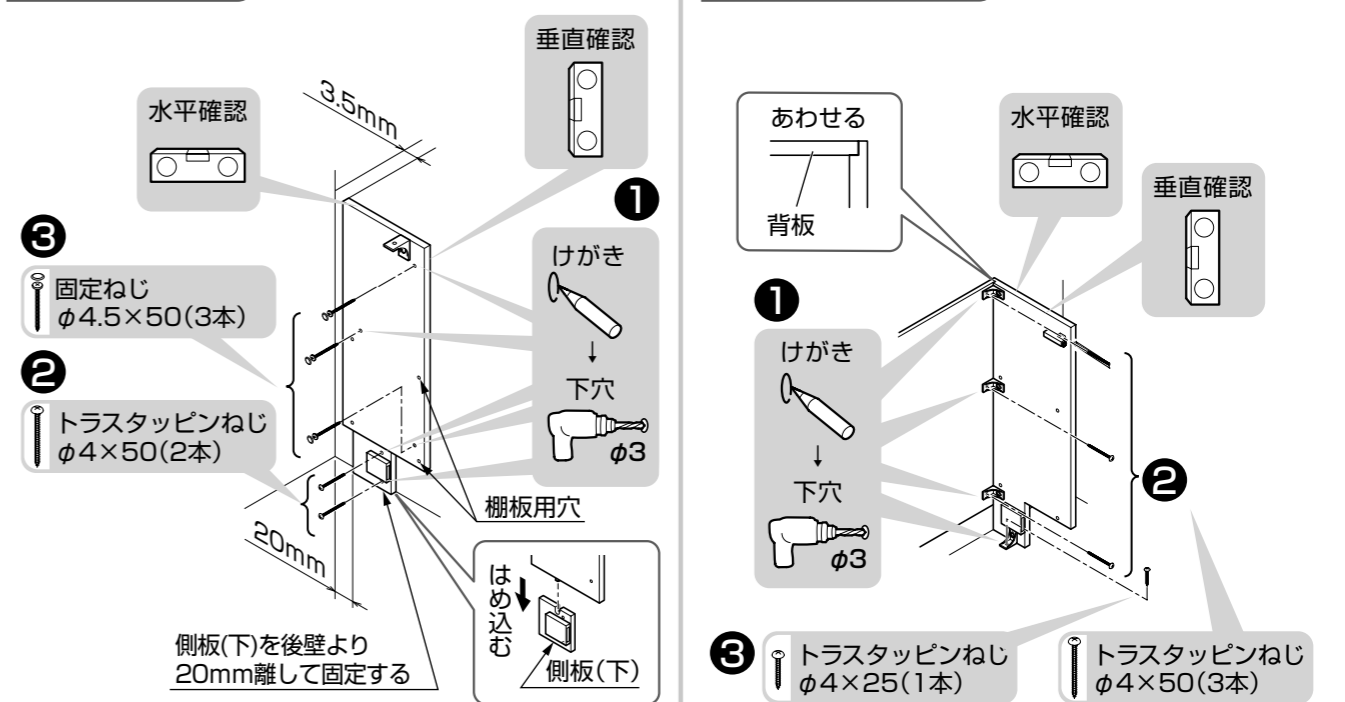
2・3方エプロンの場合



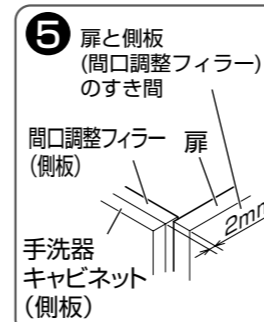
3 側板(壁側)の取り付け+手洗器キャビネット・蹴込板・扉の取り付け

1方エプロンの場合

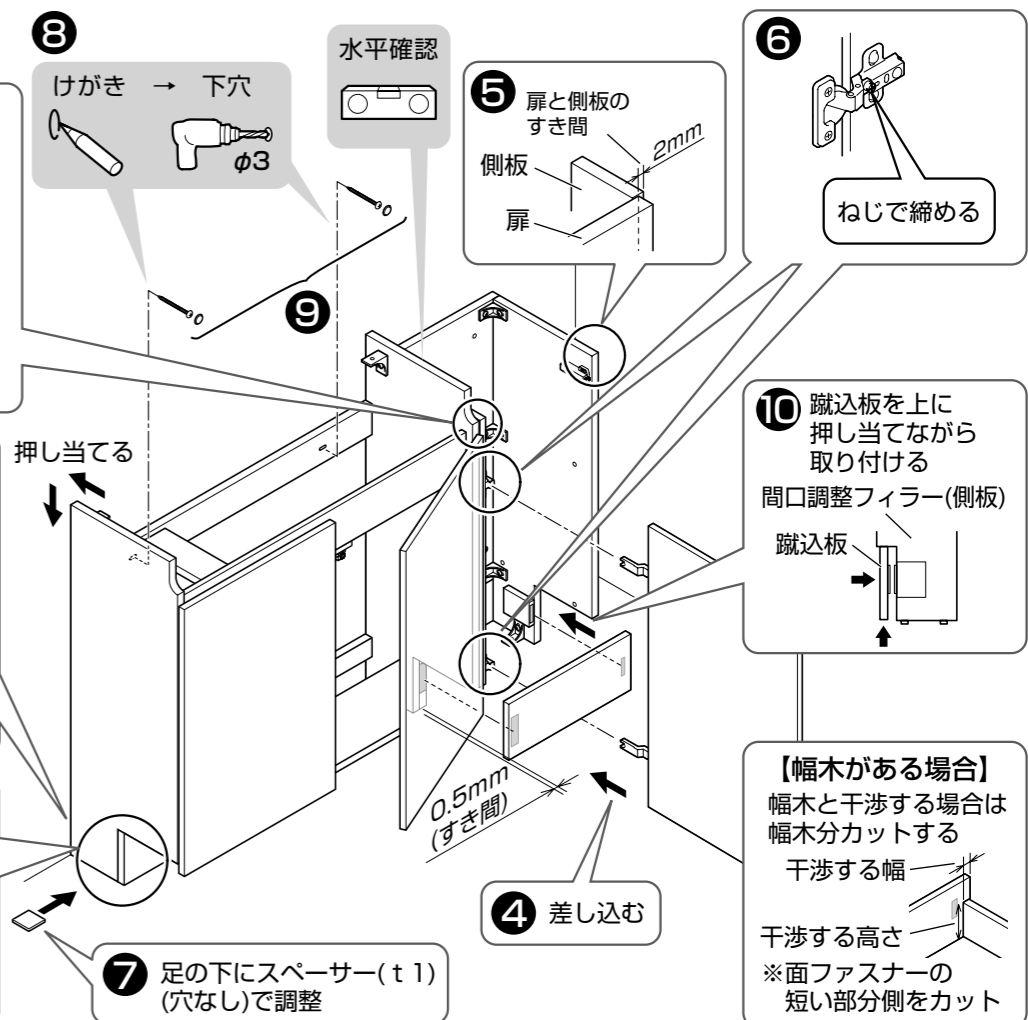
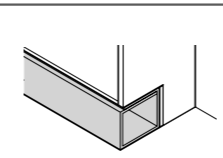
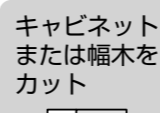
2方・3方エプロンの場合



固定ねじ $\phi 4.5 \times 50$ (2本)



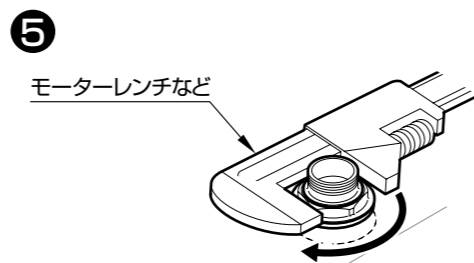
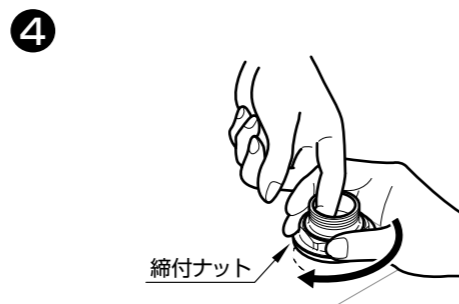
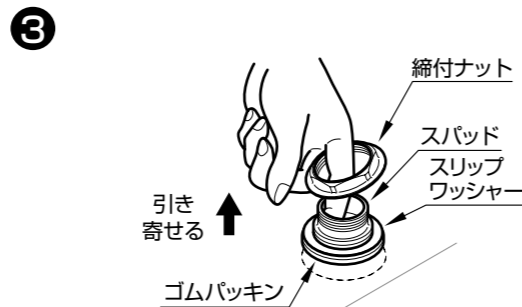
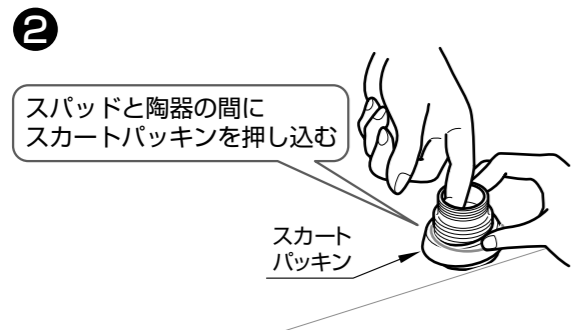
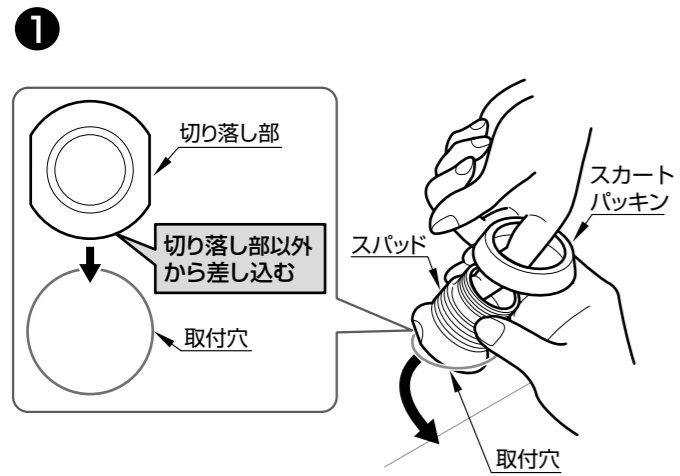
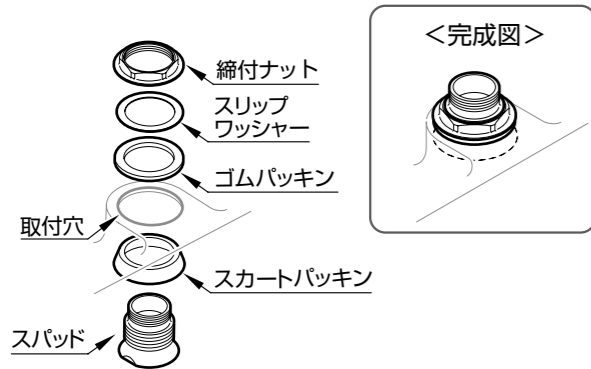
【幅木がある場合】



⑪ 棚受ダボ・棚板を取り付ける

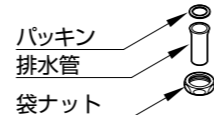
8. 排水金具(ボウル一体タイプ)

1 排水金具の取り付け



注意
 接続管を締め過ぎない
 排水金具が破損し、水漏れして家財などを
 めらす財産損害発生の原因となります。
 手締めで止まる位置まで回し、工具にて
 半回転締め付けるくらいが適切です。

6 カウンターをブラケットにセット
 してから排水管を取り付ける



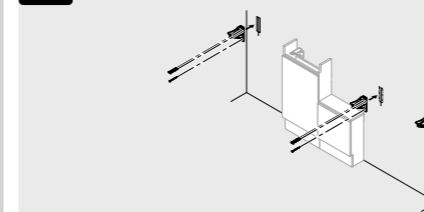
MEMO

9. カウンター

カウンターの水平について

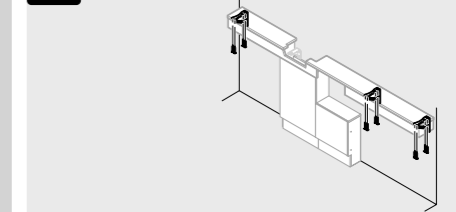
ブラケットおよびカウンターが水平となるように、同梱のスペーサーで必ず調整してください。
 壁仕上げの状態(垂直、目地、鏡面など)によって、カウンターの見え方に影響が出ることがあります。

1 ブラケットの取り付け



▶P.61

2 カウンターの本固定



▶P.62

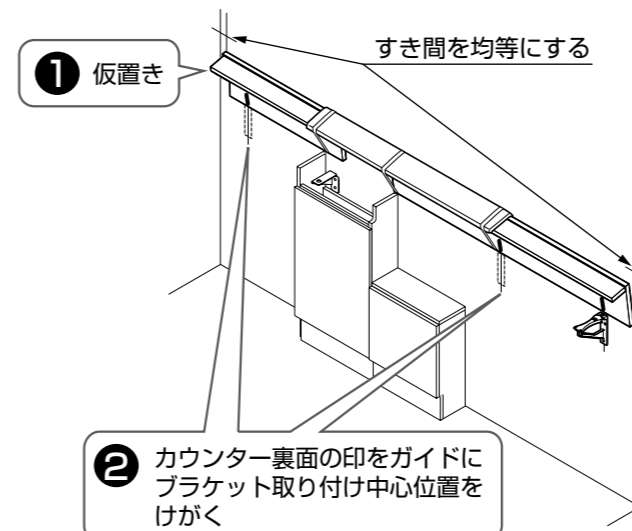
1 ブラケットの取り付け

注意

[Mサイズの場合]
 カウンターを取り付ける直前まで
 養生ダンボールを外さない

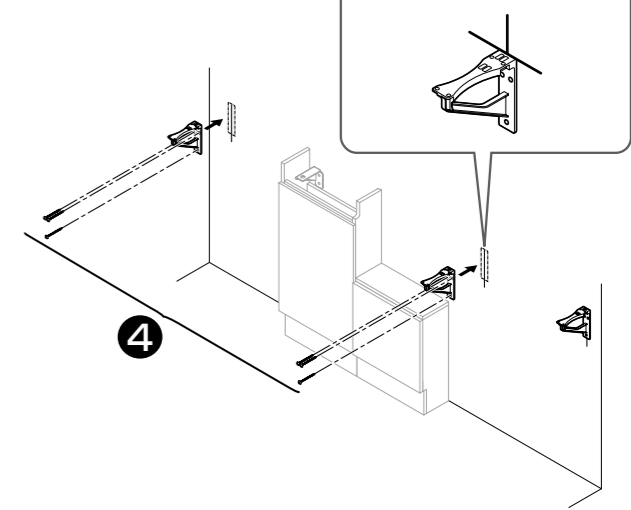
トラスタッピンねじ
 φ5×50
 (ブラケット1個につき3本)

1 仮置き



2 カウンター裏面の印をガイドに
 ブラケット取り付け中心位置を
 けがく

3 ブラケットの センターをあわす



ポイント

けがき線が露出しないこと

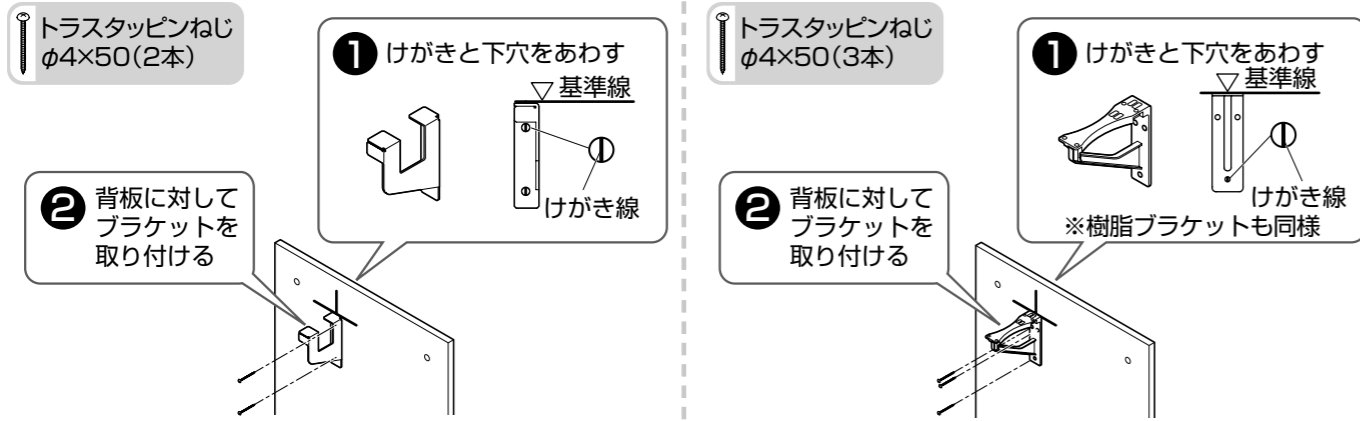
対面設置の場合

カウンター裏面の印をガイドにブラケットを取り
 付けてください。
 ただし、間口調整フィラー、サイドキャビネットが
 設置された位置に印がある場合、ブラケットは
 不要です。

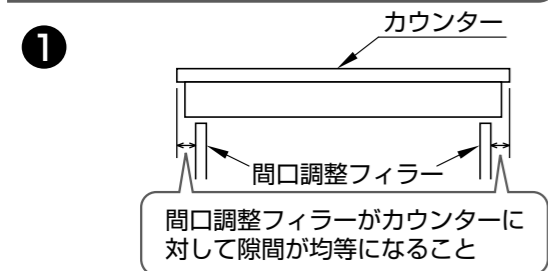
注意

間口調整フィラー、サイドキャビネットが設
 置された位置に印がある場合、ブラケット
 は不要です。
 ただし、2方エプロン 間口調整フィラー
 (収納タイプ)の場合は取り付けてください。

間口調整フィラー(収納タイプ)の場合



3方エプロンで両側に間口調整フィラーがつく場合

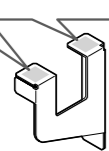


2 カウンターの本固定

※プランによってブラケット、アングル材の位置・個数が異なります。
※使用しないブラケットが生じる場合があります。

金型ブラケットがある場合

金型ブラケットの上面に両面テープを張り、はくり紙をはがしてカウンターを設置する

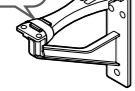


Mサイズ(両扉)の場合

手洗器キャビネット内にあるブラケットはカウンターに固定しない

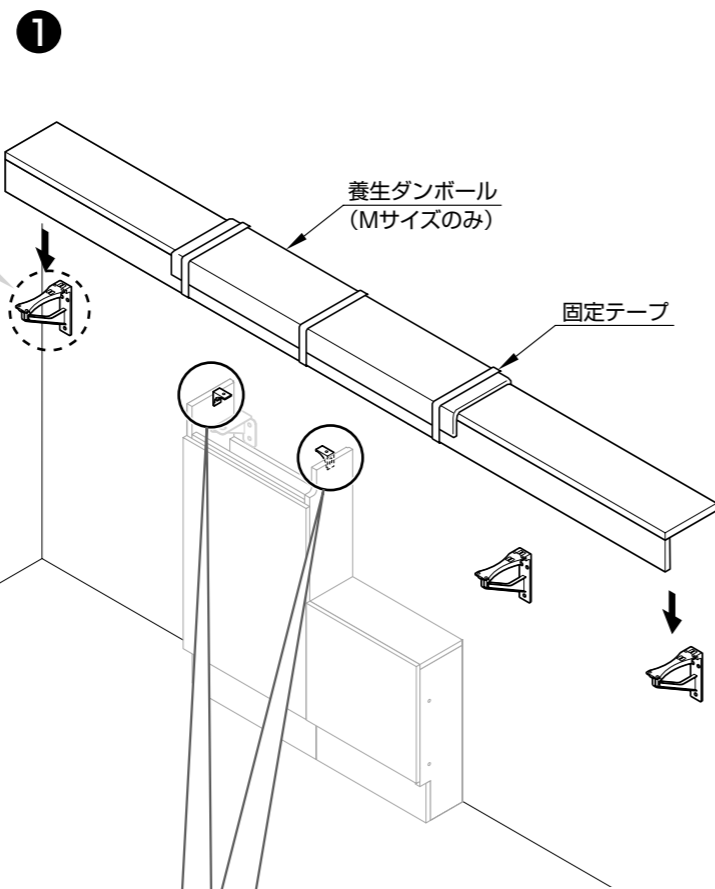
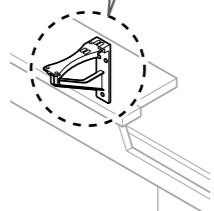
ポイント

水平を出すにはスペーサーで調整し、テープで固定する



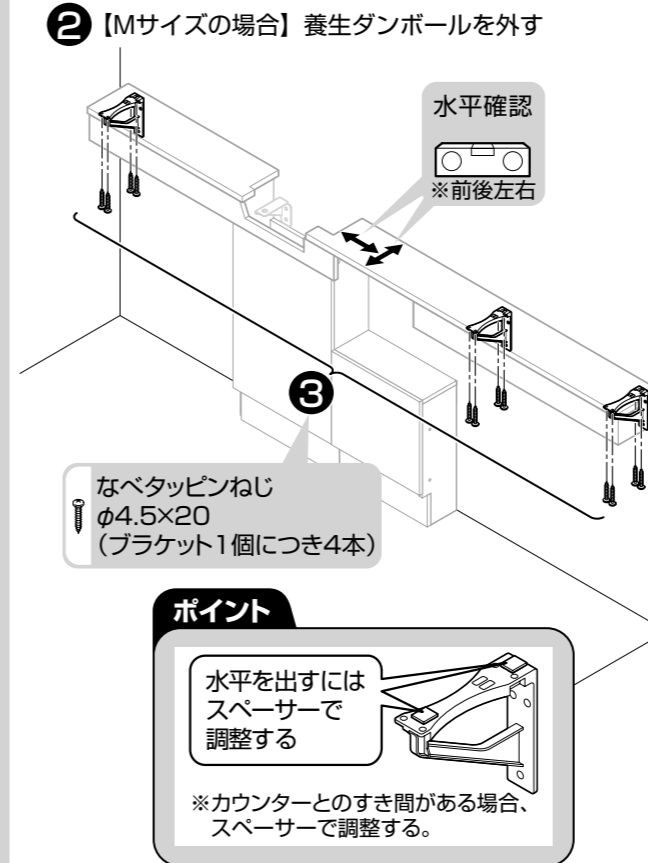
※カウンターとのすき間がある場合、スペーサーで調整する。

固定しない

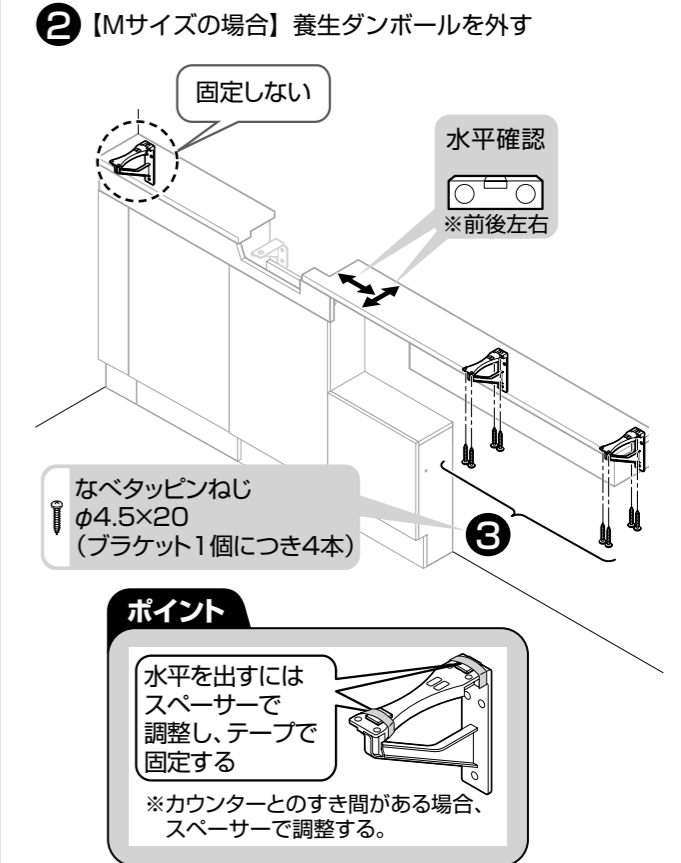


【Lサイズ(ベッセルタイプ)の片扉手洗器キャビネットの場合】
手洗器キャビネットにあるアングルのねじをゆるめておく

間口調整フィラー・サイドキャビネットなしの場合



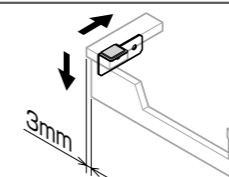
間口調整フィラー(固定タイプ)の場合



Mサイズの場合

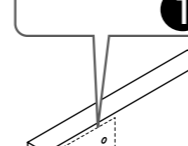
左勝手の場合

【カウンター長さ1201~1372 (2方エプロン)の場合】
①、②後、カウンターピースを両面テープに張り付け



トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 12$ (4本)

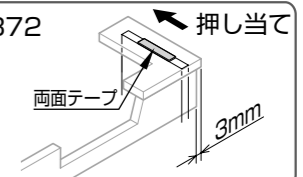
下穴に対してねじ止め



③ 手洗器キャビネットの側板上面に両面テープを張り、はくり紙をはがして固定する(張付面は水抜き、乾燥後張り付ける)

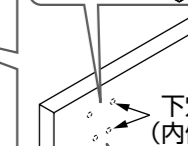
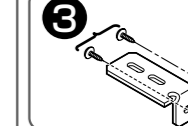
右勝手の場合

【カウンター長さ1201~1372 (2方エプロン)の場合】
①後、カウンターピースを両面テープに張り付け



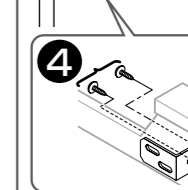
トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 12$ (4本)

下穴に対してねじ止め



① 手洗器キャビネットの側板上面に両面テープを張り、はくり紙をはがして固定する(張付面は水抜き、乾燥後張り付ける)

手洗器キャビネット



間口調整フィラー・サイドキャビネットありの場合

1 ブラケットを取り付けたあと、カウンター固定アングルで固定する

トラスタッピンねじ
φ4×16 (6本)

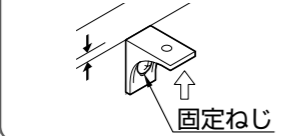
1方エプロン

【間口調整フィラー(収納タイプ)の場合】

トラスタッピンねじ
φ4×16 (1本)

※スペーサーの位置により張付部が補強材になる場合と補強材なしの部分になる場合があります。

スペーサーの厚み分長穴固定ねじをゆるめて移動する



固定ねじ
スペーサー

【Lサイズ(ベッセルタイプ)の片扉手洗器キャビネットの場合】
先ほど下げたアングルを補強材に押し当てて締めて固定する

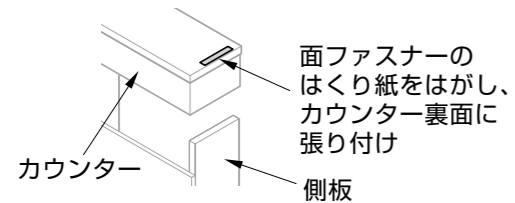
水平確認

※前後左右

ポイント

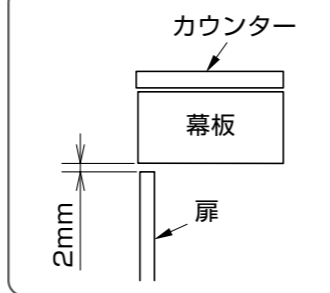
カウンターが水平でない場合は
カウンター裏面のキャビネットに
接する部分にスペーサーを必要枚数
テープなどで固定する

間口調整フィラー(後方)がつく場合



面ファスナーのはくり紙をはがし、
カウンター裏面に張り付け

カウンター
側板



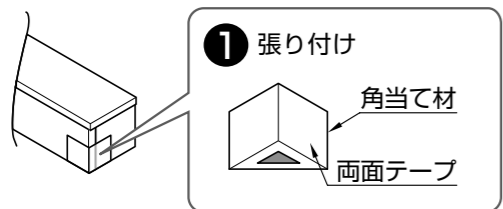
カウンター

幕板

扉

2mm

Mサイズ パッケージタイプ(ショートサイズ)の場合



1 張り付け

角当て材
両面テープ

ポイント

奥壁側(大便器側)の幕板角に張り付けること
(張付面は水抜きし、乾燥後張り付ける)

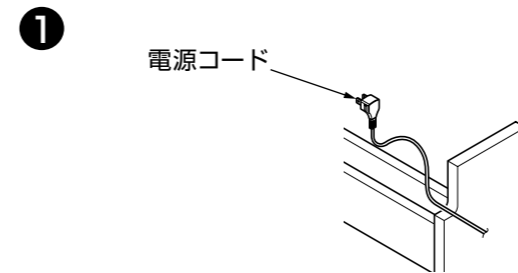
注意

必ず角当て材を取り付ける
幕板のエッジにぶつかり、
けがをするおそれがあります。

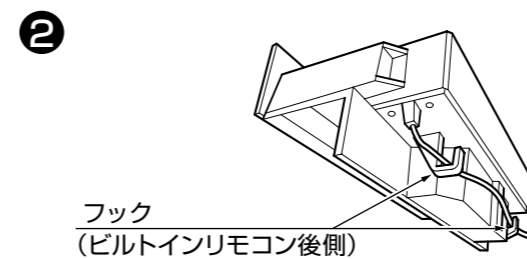
10. ビルトインリモコン

ビルトインリモコンなしの場合はP.66へ

1 ビルトインリモコンの取り付け

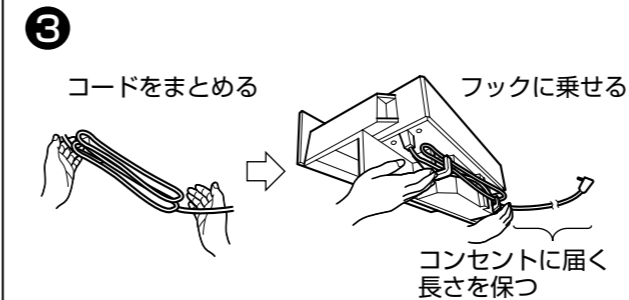


電源コード



フック
(ビルトインリモコン後側)

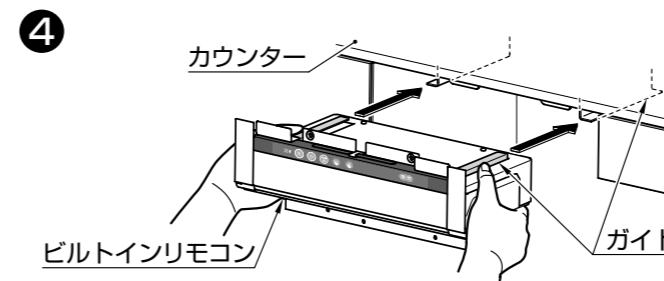
余ったコードはフックに乗せる



コードをまとめる

フックに乗せる

コンセントに届く
長さを保つ



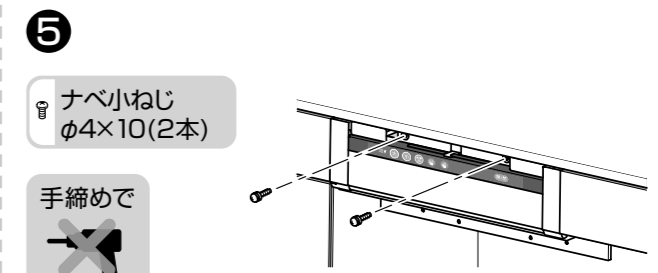
カウンター

ビルトインリモコン

ガイド

注意

ビルトインリモコンと化粧板は
傷つきに注意する

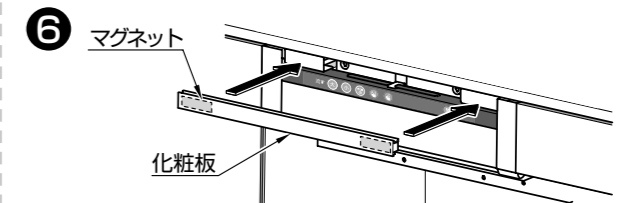


ナベ小ねじ
φ4×10(2本)

手締めで

ポイント

ねじは硬くなるまでしっかり締め付ける



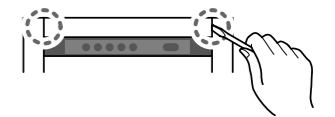
マグネット

化粧板

※化粧板が水平になっているか、すき間が均一か確認する

化粧板のはずしかた

施工のやり直しなどで化粧板を取り外すときは、
化粧板とビルトインリモコンのすき間にマイナスドライバーなどの工具
を差し込み取り外す

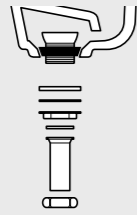


MEMO

11. 手洗器・水栓金具

1 排水金具の取り付け

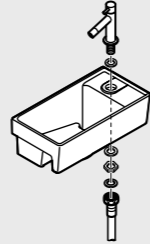
※Mサイズ・Lサイズ(ベッセルタイプ)の場合のみ



▶P.66

2 手洗器・水栓金具の取り付け

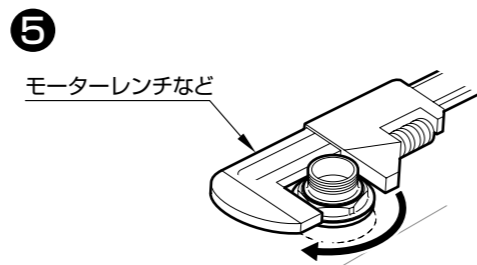
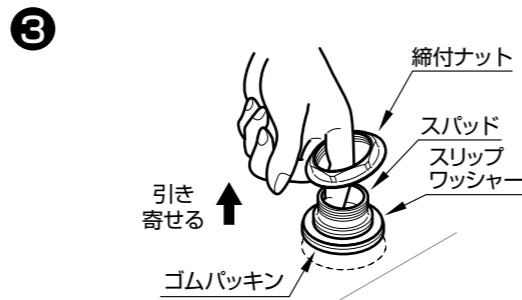
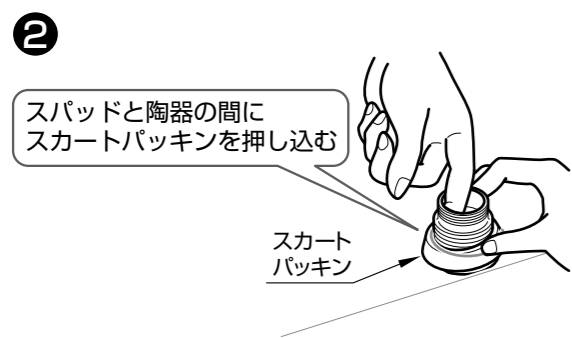
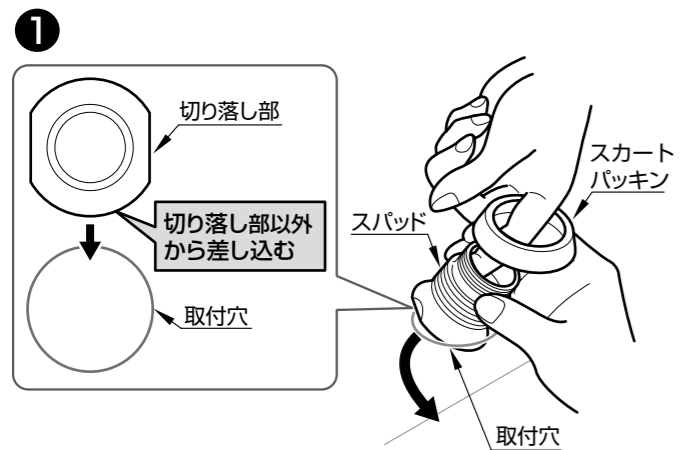
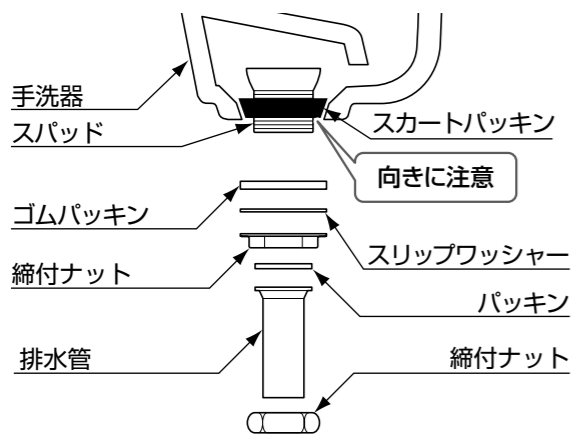
※Lサイズ(ベッセルタイプ)の場合は水栓金具のみ



▶P.67

1 排水金具の取り付け

※Mサイズ・Lサイズ(ベッセルタイプ)の場合のみ



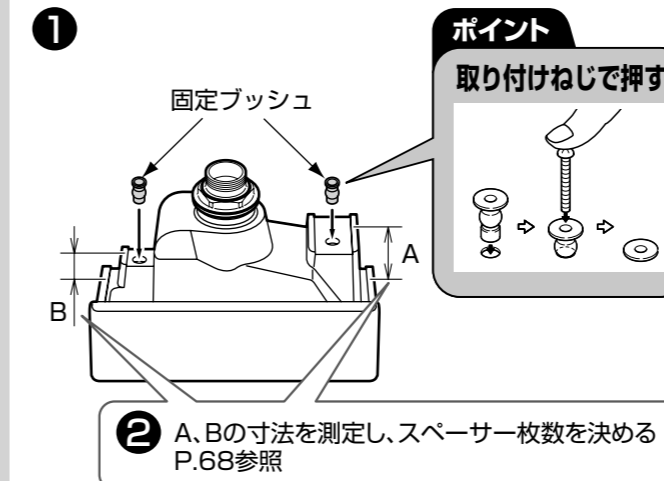
注意
 接続管を締め過ぎない
 排水金具が破損し、水漏れして家財などを
 むらす財産損害発生の原因となります。
 手締めで止まる位置まで回し、工具にて
 半回転締め付けるくらいが適切です。

6 手洗器をカウンターにセットしてから排水管を取付ける

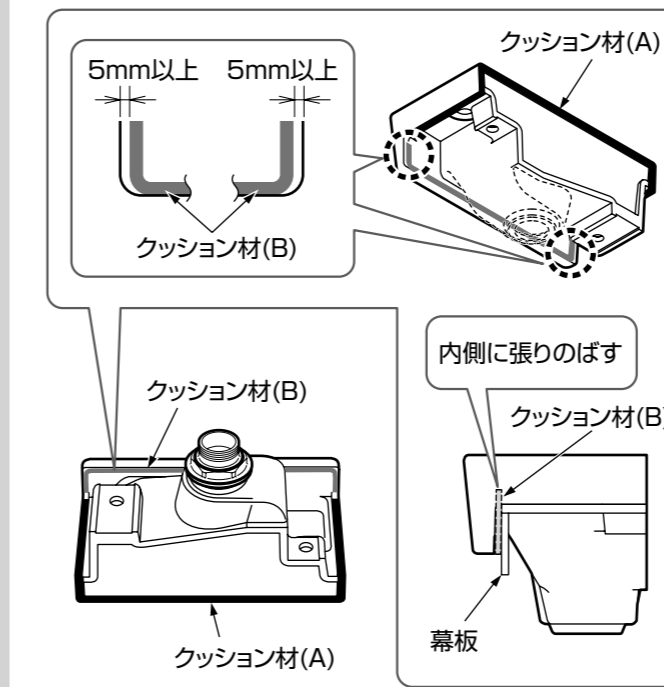
2 手洗器・水栓金具の取り付け

※Lサイズ(ベッセルタイプ)の場合は水栓金具のみ

Mサイズの場合



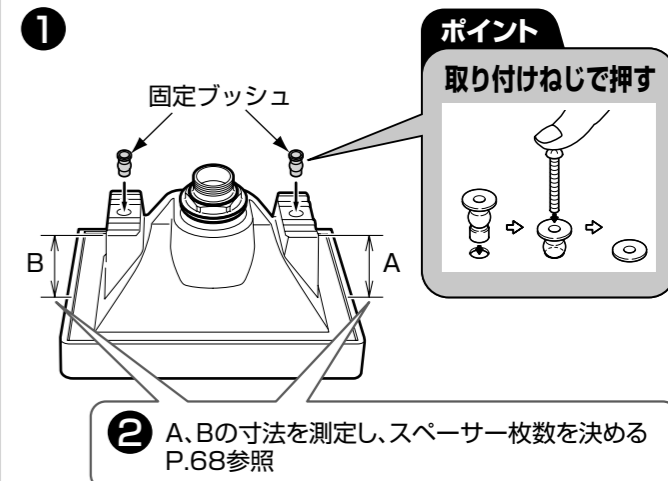
3 手洗器裏面の汚れを乾いた布などでふき取り、カウンター・壁に接する部分にクッション材を張る



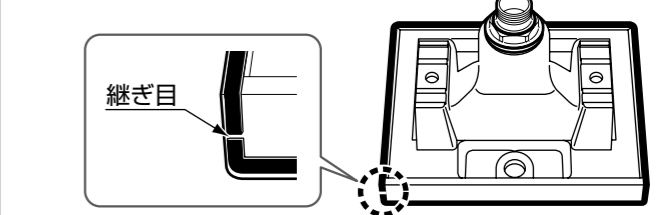
ポイント
 ・クッション材は手洗器の端から少し内側に張り付けるときれいに仕上がる
 ・クッション材のカット時は、製品を傷つけないように注意

警告
 必ず守る
 クッション材の張り付けは確実に行う
 水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。

Lサイズ(ベッセルタイプ)の場合



3 手洗器裏面の汚れを乾いた布などでふき取り、カウンター・壁に接する部分にクッション材を張る

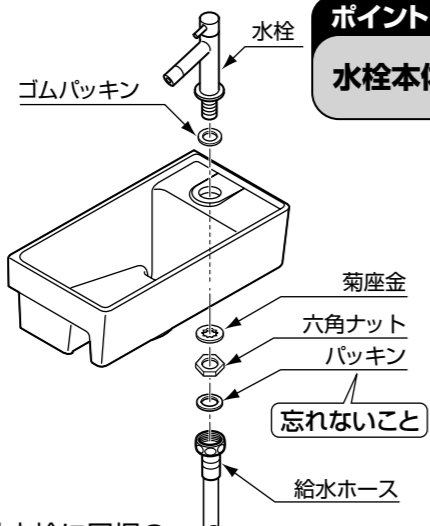


4 水栓本体の取り付け(全タイプ共通)

ハンドル式水栓の場合

ポイント

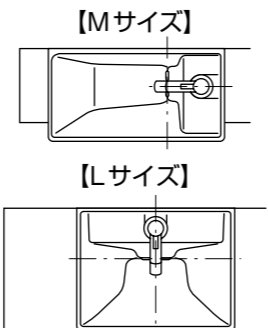
六角ナット・給水ホースの締付けにTZ工具(TZY15N別売品)を使用する



ポイント

水栓本体が動かないことを確認

吐水口の向き

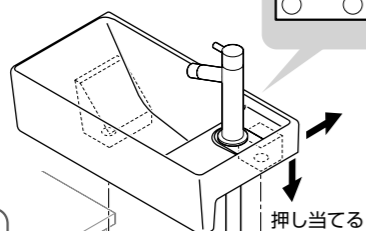


参照 自動水栓の取り付けは、自動水栓に同梱の施工説明書を参照してください。

Mサイズの場合

トラス小ねじ φ5×52(2本)

水平確認



5

②のA、Bを用いて、下記枚数分のスペーサー(t2)を固定ブッシュに張り付ける

左側： $(89-A) \div 2 = \text{枚数}$
右側： $(39-B) \div 2 = \text{枚数}$

ワッシャー

手締めで

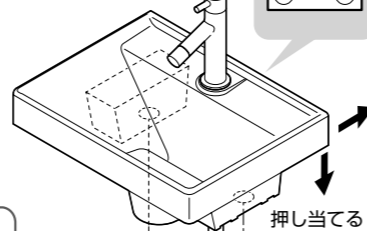
※トラス小ねじは回らなくなるまでしっかり締め付ける

6

Lサイズ(ベッセルタイプ)の場合

トラス小ねじ φ5×52(2本)

水平確認



5

②のA、Bを用いて、下記枚数分のスペーサー(t2)を固定ブッシュに張り付ける

左側/右側： $(97-A) \div 2 = \text{枚数}$

ワッシャー

手締めで

※トラス小ねじは回らなくなるまでしっかり締め付ける

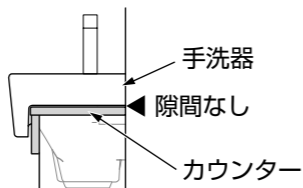
6

注意

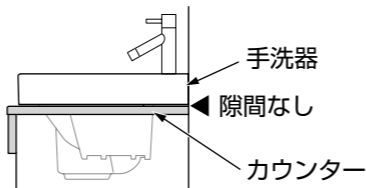


陶器とカウンターおよび陶器と壁に隙間がないこと(浮いている場合はスペーサーを減らすこと)落下してけがの原因となります。

[Mサイズ]



[Lサイズ(ベッセルタイプ)]



12. 給排水

ハンドル式水栓の場合

1 ハンドル式水栓給水ホースの取り付け



▶P.69

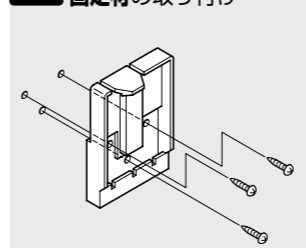
4 排水管の接続



▶P.74

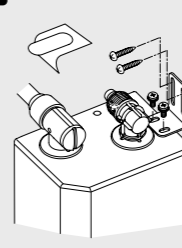
自動水栓の場合

2 自動水栓コントローラ固定材の取り付け



▶P.70

3 電気温水器の取り付け



▶P.71

4 排水管の接続

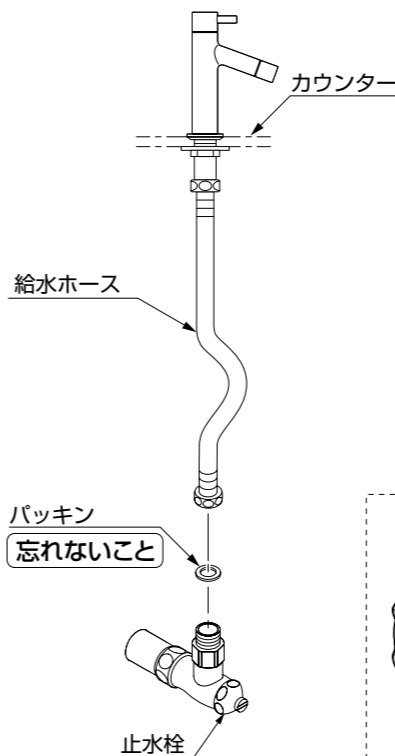


▶P.74

参照 電気温水器・自動水栓の取り付けは、それぞれに同梱の施工説明書を参照してください。

ハンドル式水栓の場合

1 ハンドル式水栓給水ホースの取り付け



注意



給水ホースは折らない
折れ曲がりによる吐水不良の原因となります。
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

ポイント

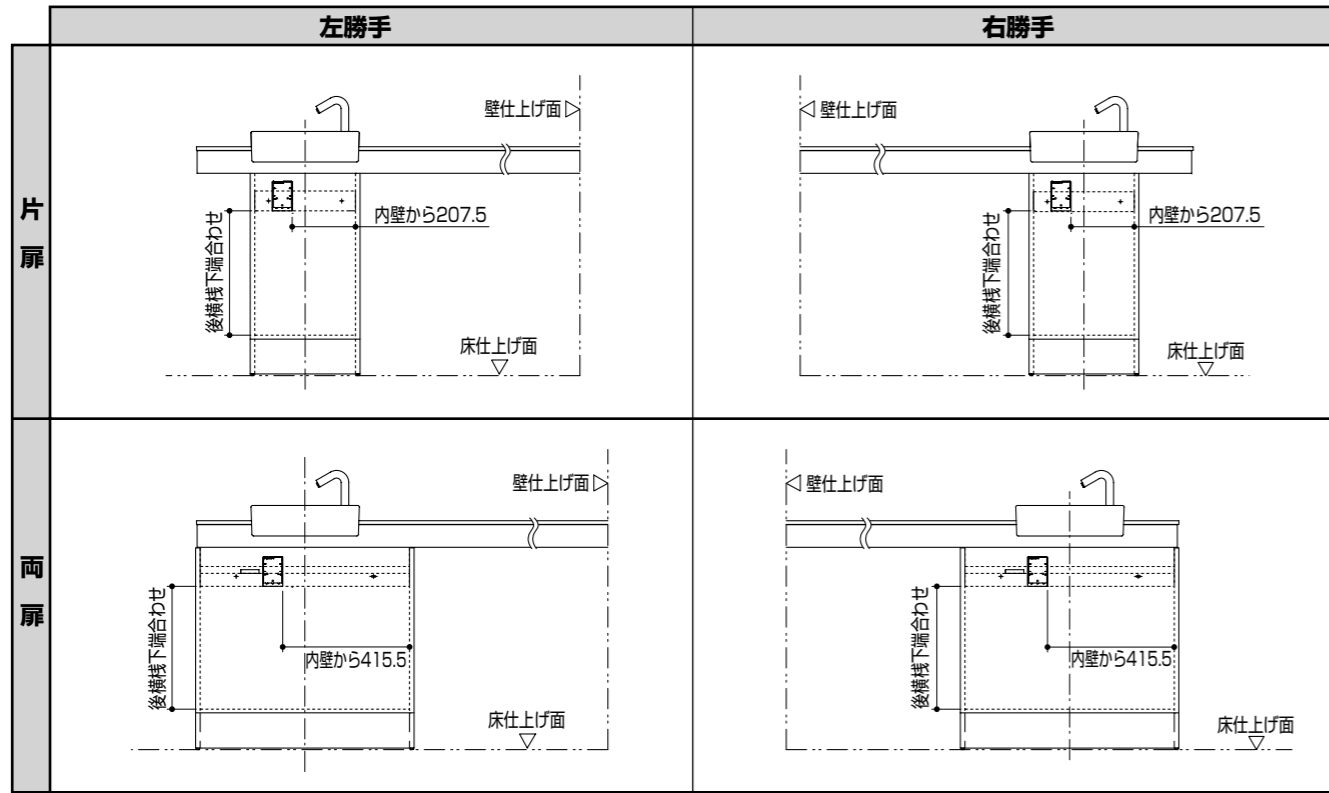
給水ホースが折れ曲がらないように、止水栓に接続する
※ホースの最小曲げ半径は60mmです。

自動水栓の場合

2 自動水栓コントローラー固定材の取り付け

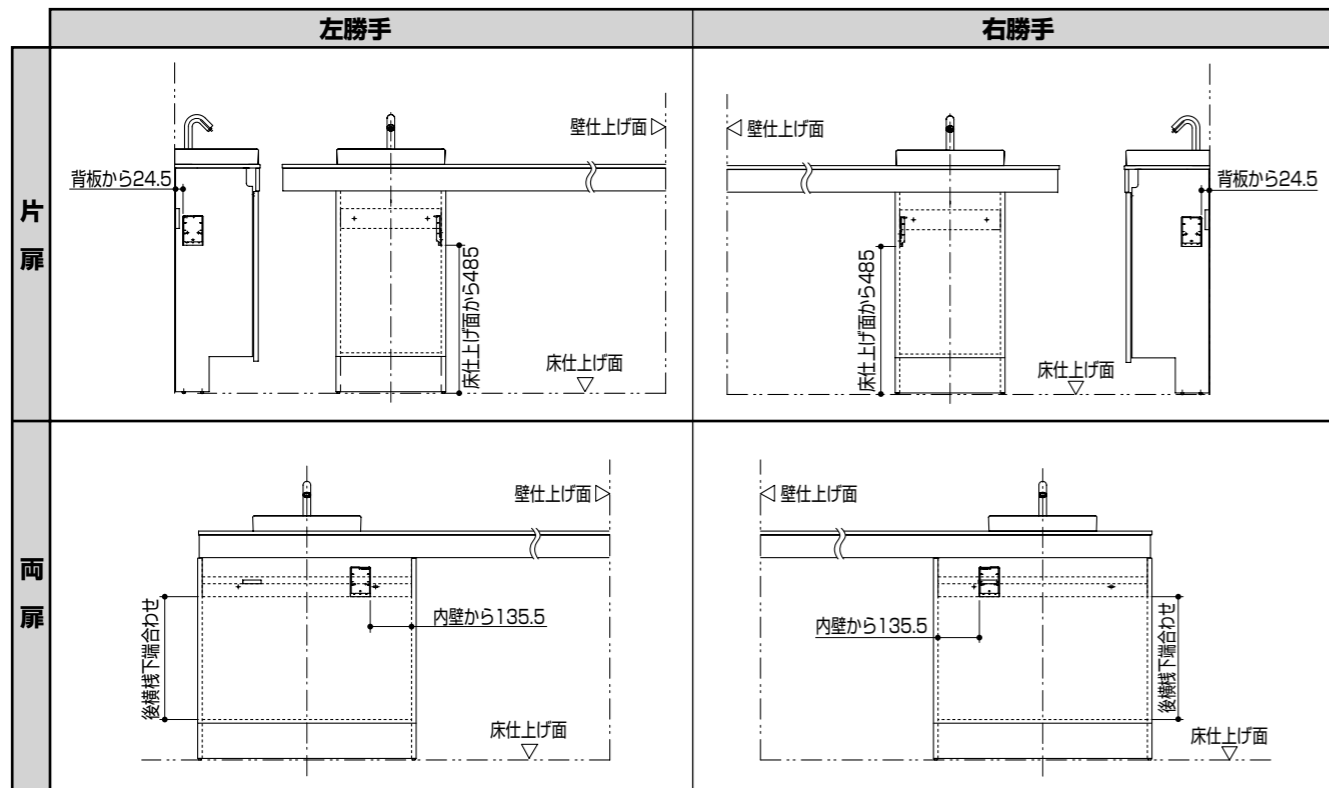
自動水栓コントローラー固定材取り付け位置

Mサイズ



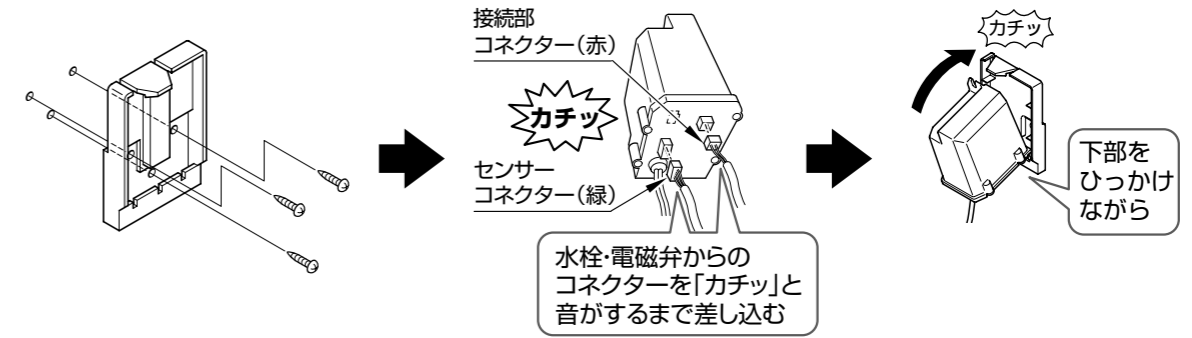
Lサイズ

※対面設置で手洗器位置が中央・振り分け指定の場合は、「左勝手・両扉」の図をご確認ください。



1

トラスタッピンねじ
φ4×14(3本)



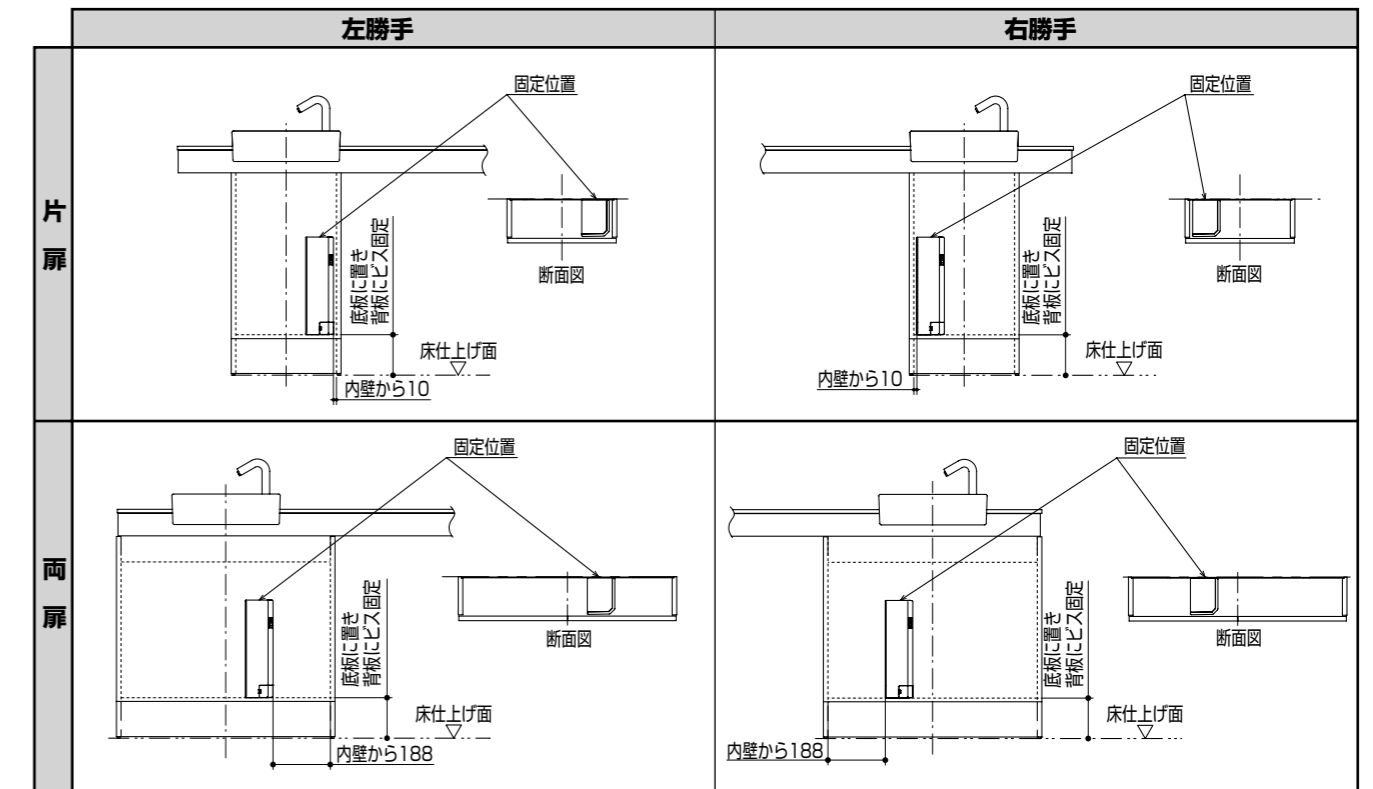
電気温水器付自動水栓の場合

3 電気温水器の取り付け

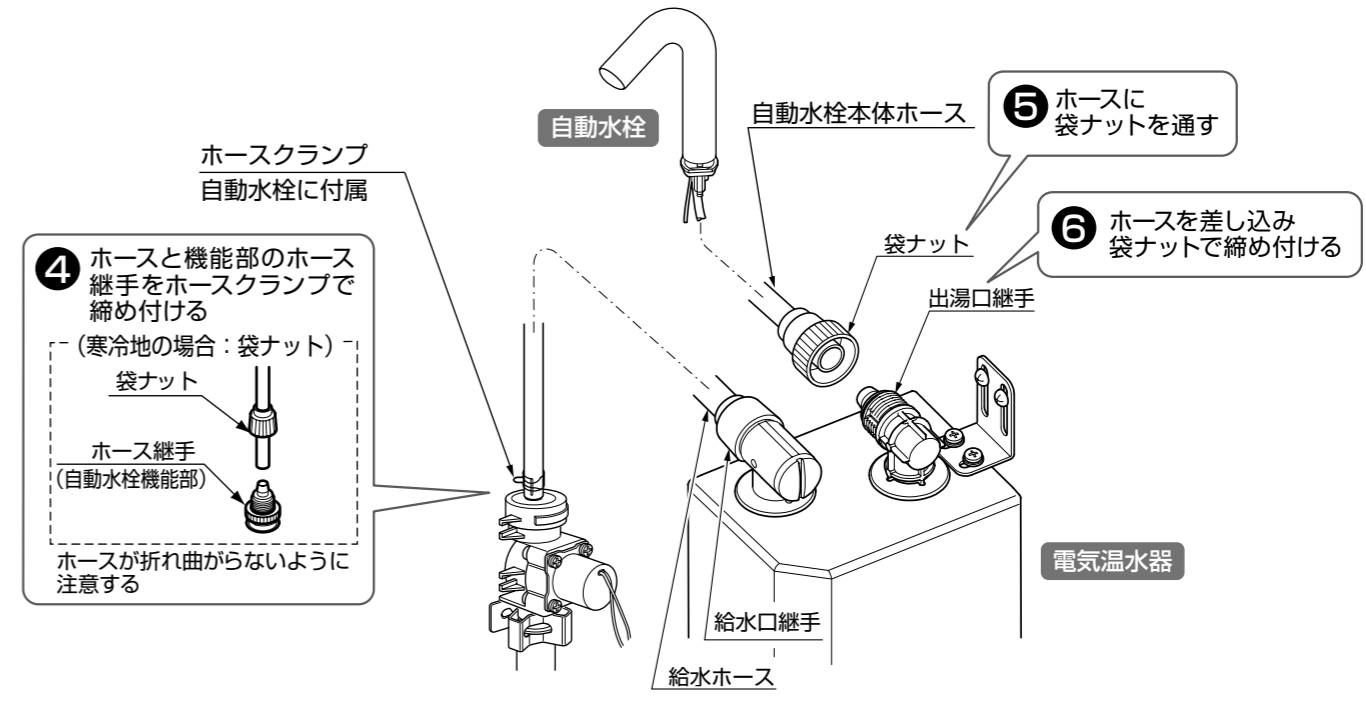
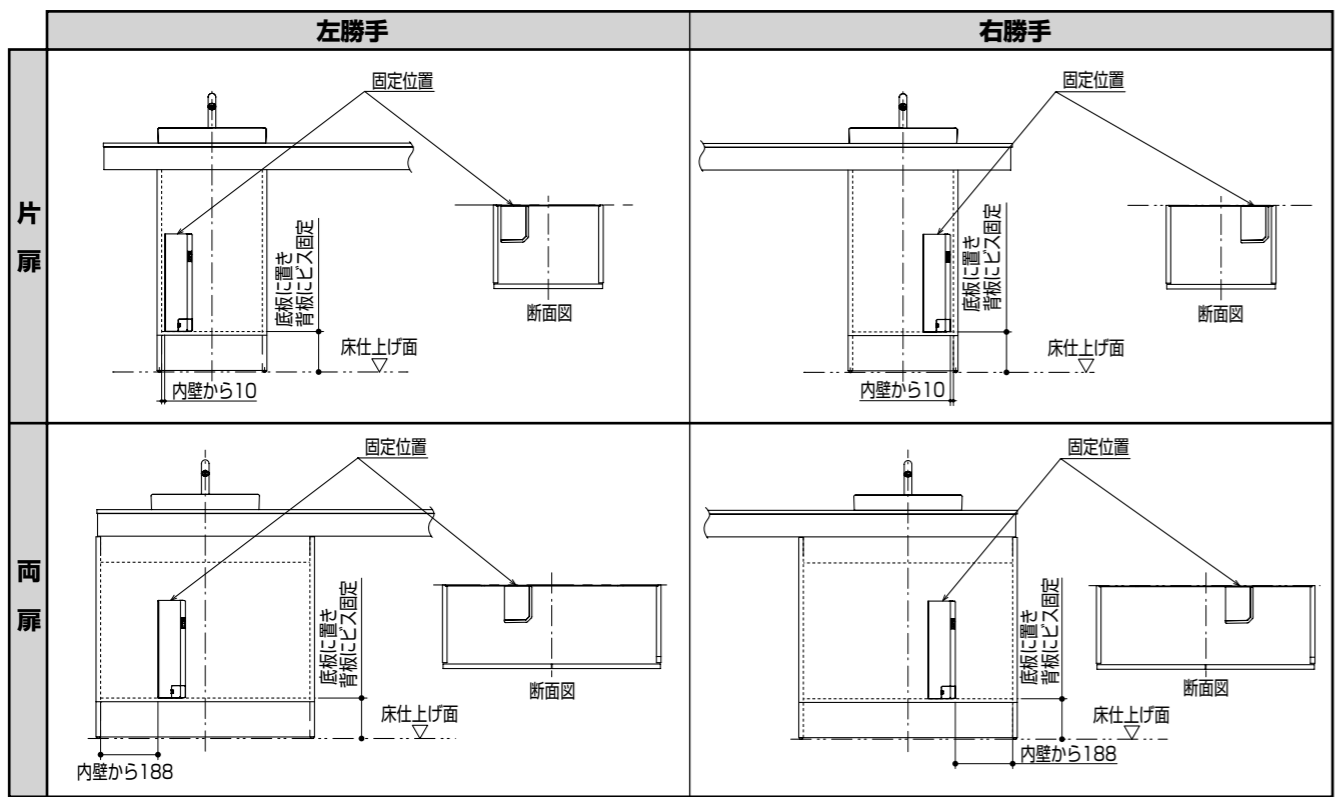
参照 電気温水器に同梱の施工説明書もあわせて参照してください。

電気温水器取り付け位置

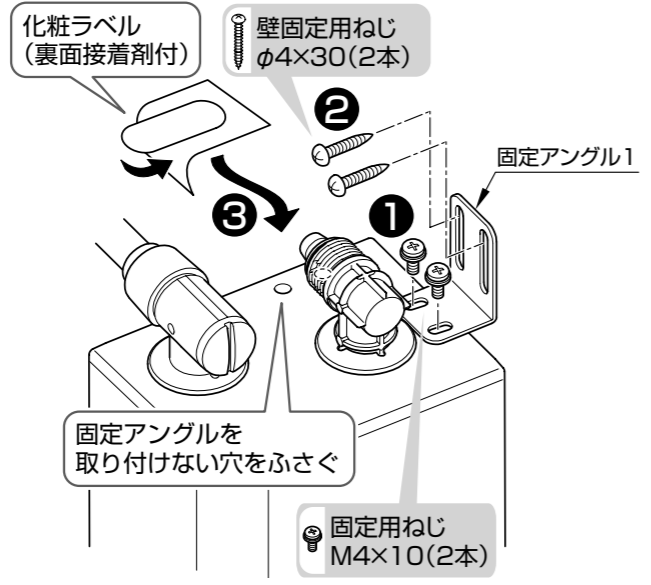
Mサイズ



Lサイズ ※対面設置で手洗器位置が中央・振り分け指定の場合は、「左勝手・両扉」の図をご確認ください。

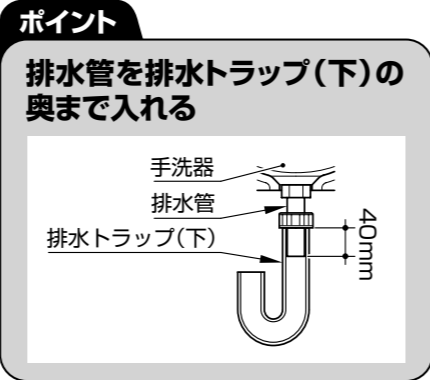
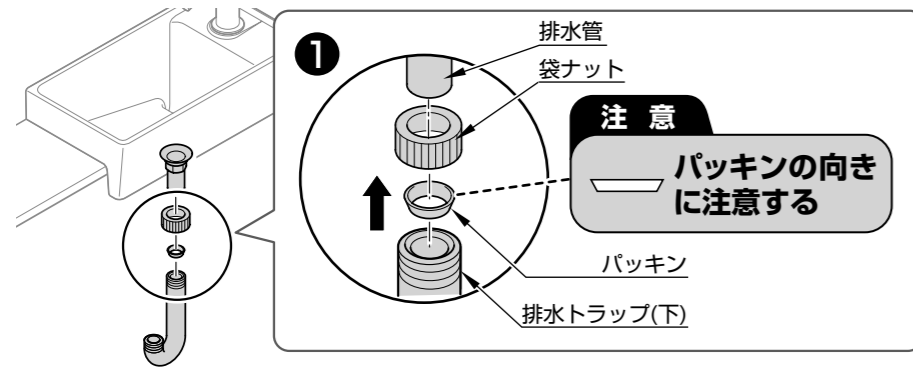


MEMO

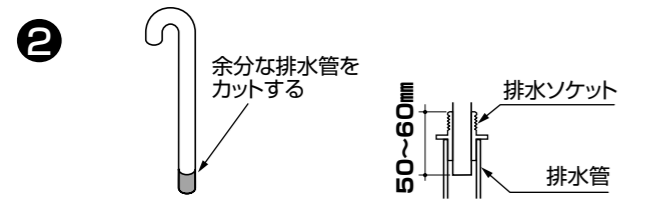


MEMO

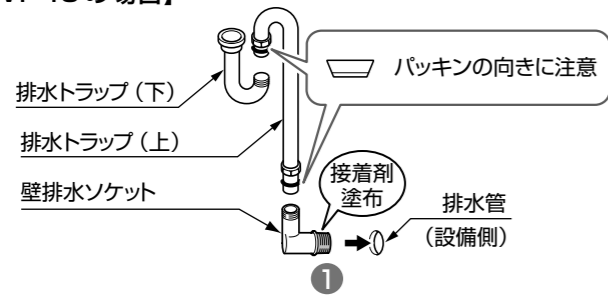
4 排水管の接続



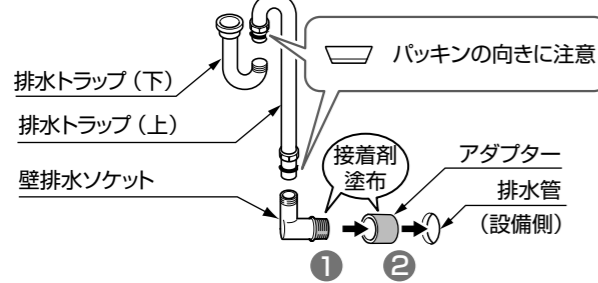
壁排水



【VP40の場合】

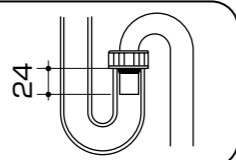


【VU40の場合】

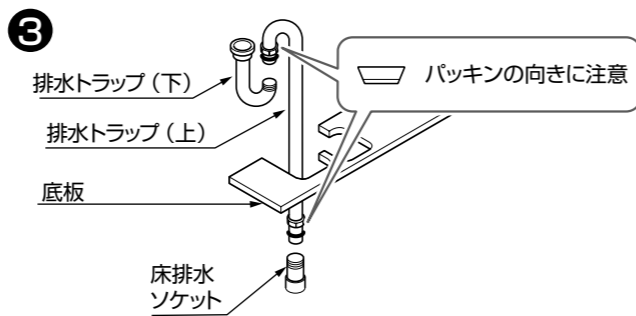
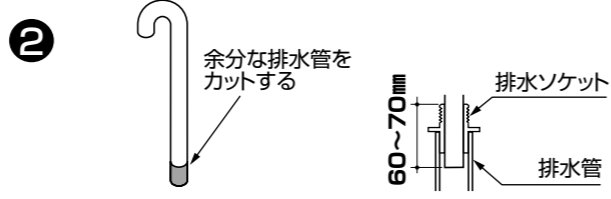


ポイント

排水トラップ(上)を排水トラップ(下)の奥まで入れる。

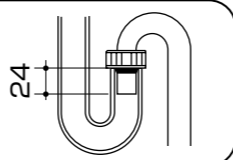


床排水



ポイント

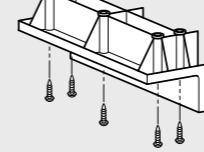
排水トラップ(上)を排水トラップ(下)の奥まで入れる。



底板の配管用化粧カバーの取り付けは、P.81へ

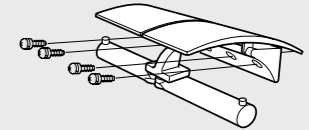
13. 紙巻器

1 紙巻器固定材の取り付け (ビルトインリモコンなしの場合のみ)



▶P.75

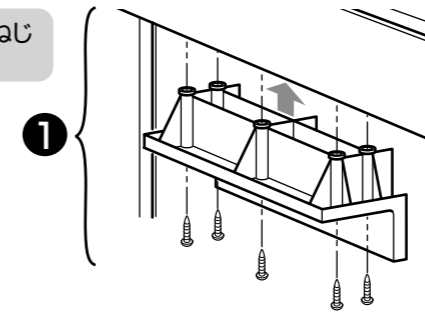
2 紙巻器の取り付け (ビルトインリモコンあり/なし共通)



▶P.75

1 紙巻器固定材の取り付け (ビルトインリモコンなしの場合のみ)

トラスタッピンねじ (φ4×16(5本))

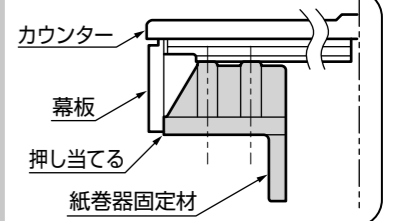


紙巻器設置位置は、P.8を参照

ポイント

幕板の裏に紙巻器固定材の手前側を押し当てた位置で固定する

※手締めにて取り付けてください。

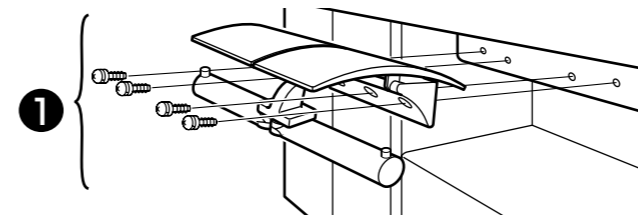


2 紙巻器の取り付け (ビルトインリモコンあり/なし共通)

メタル製紙巻器

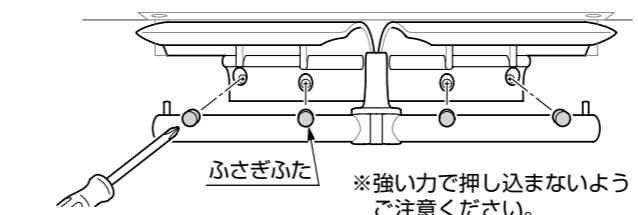
なべ座金組込小ねじ (M4×10(4本*))

※ビルトインリモコンありの場合は3本固定となります。



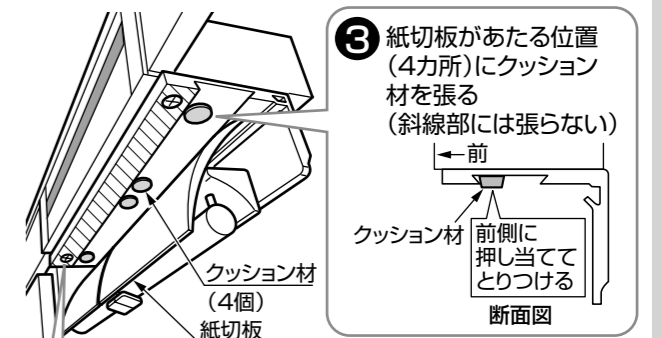
注意

同梱のなべタッピンねじ (φ4×40、4本) は使わない
ビルトインリモコンもしくは、紙巻器固定材を破損するおそれがあります。



ねじ穴部4カ所をふさぎふたでふさぐ

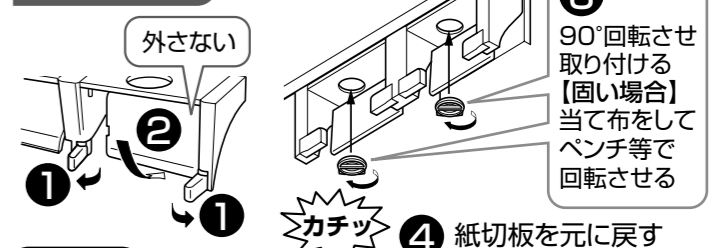
ビルトインリモコンありの場合



4 【めっき仕上げの場合】
ねじの頭部(2カ所)に
ふさぎシールを張る
(映り込み防止)

ふさぎシール (2個)

樹脂製紙巻器

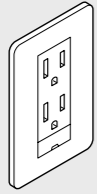


注意

90°回転させて固定する
破損・落下し、けがのおそれがあります。
必ず守る

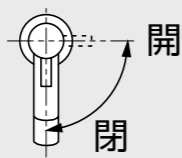
14. 試運転・確認

1 電源コンセントの確認



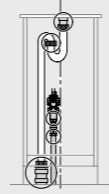
▶P.76

2 吐水の確認 (ハンドル式水栓の場合)



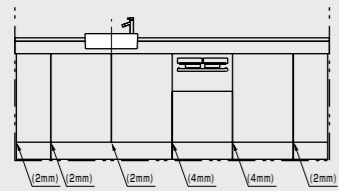
▶P.77

3 水漏れの確認



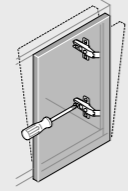
▶P.77

4 キャビネットのすき間の確認



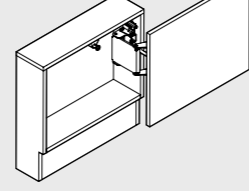
▶P.77

5 手洗器キャビネットの調整



▶P.78

6 スライド扉の調整



▶P.79

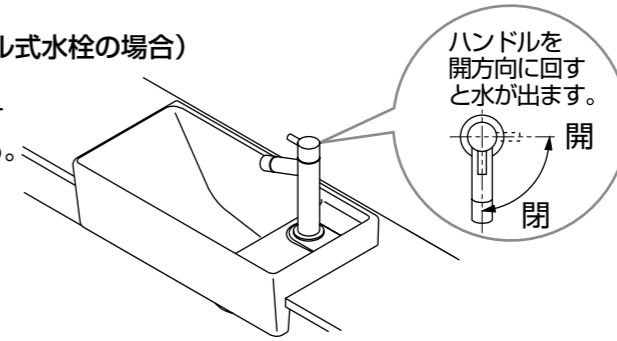
1 電源コンセントの確認

コンセントに電源プラグを下図を参考に根元まで確実に差し込む。

設置機器			手洗器キャビネット内		
自動水栓	電気温水器	ビルトインリモコン	コンセント	プラグの差し込み位置	
				下側	上側
○	○	○	 ・接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセント	 電気温水器	 自動水栓
○	○	-		 電気温水器	 自動水栓
○	-	○	 ・壁埋込式2口コンセント	 ビルトインリモコン	 自動水栓
○	-	-		 ビルトインリモコン	 自動水栓
-	-	○	 ・壁埋込式1口コンセント	 ビルトインリモコン	 自動水栓
-	-	○		 ビルトインリモコン	 自動水栓

2 吐水の確認 (ハンドル式水栓の場合)

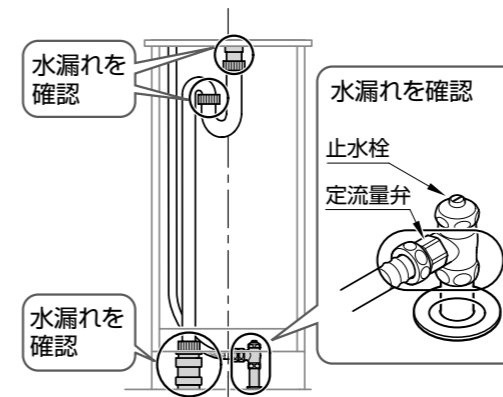
止水栓のねじを反時計回りに回し全開にする。



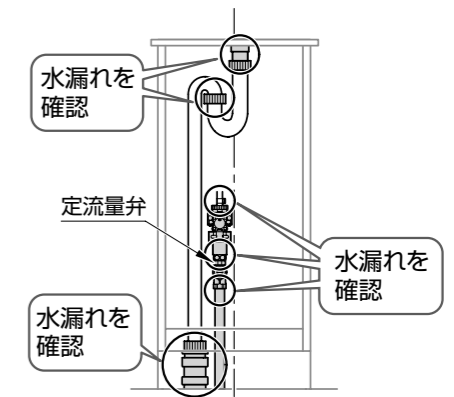
参照 自動水栓・電気温水器の確認は、それぞれに同梱の施工説明書を参照してください。

3 水漏れの確認

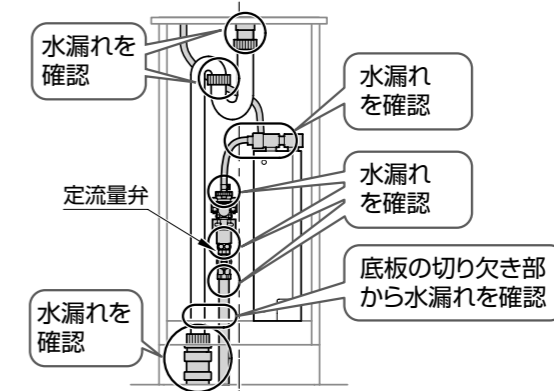
ハンドル式水栓



自動水栓

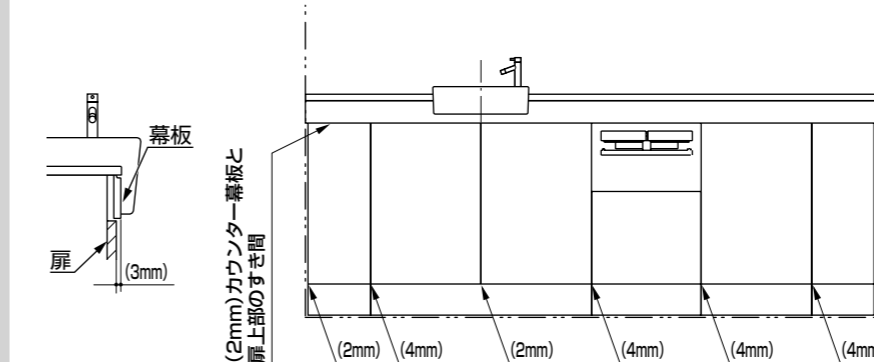


電気温水器付自動水栓



4 キャビネットのすき間の確認

すき間の調整は、P.78「5 手洗器キャビネットの調整」、P.79「6 スライド扉の調整」を参照



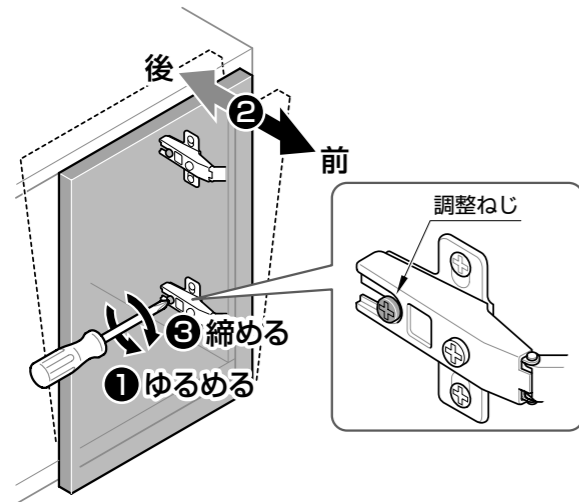
ポイント

- 【間口調整フィラーがある場合】
間口調整フィラーを基準にして各扉を調整する。
- 【間口調整フィラーがない場合】
サイドキャビネットまたは手洗器キャビネットを基準にして各扉を調整する。

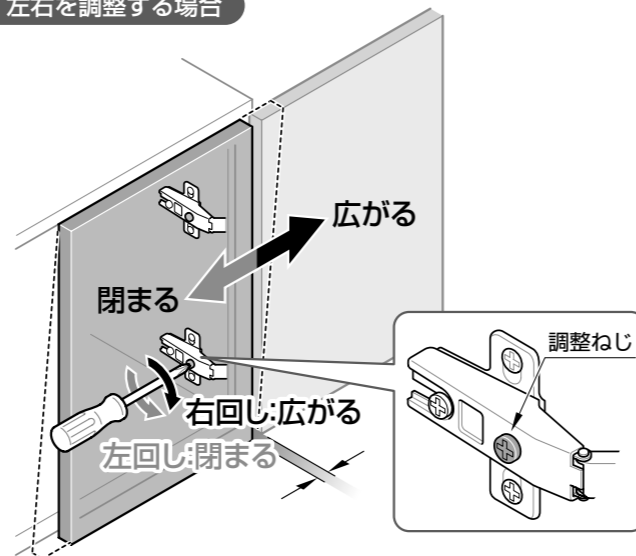
5 手洗器キャビネットの調整

キャビネット扉の調整

前後を調整する場合

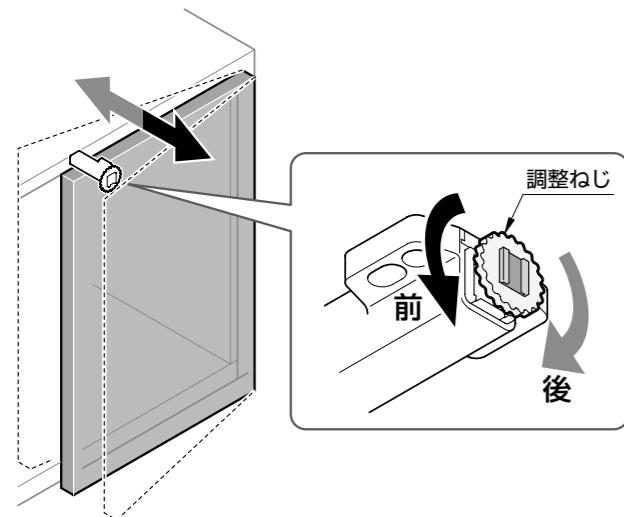


左右を調整する場合



プッシュラッチの調整

前後を調整する場合

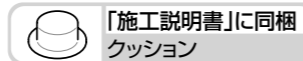


クッションの張り付け

ポイント

張付面は水拭きし、乾燥後張り付ける

扉を開けた時、壁などと当たる場合は張り付ける



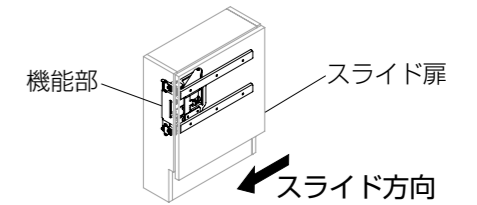
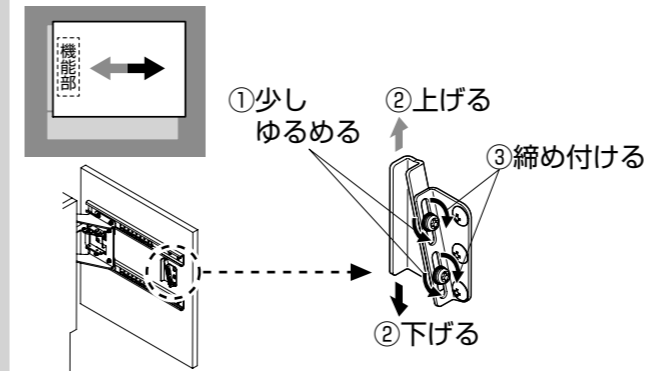
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒にお客様に渡してください。

6 スライド扉の調整

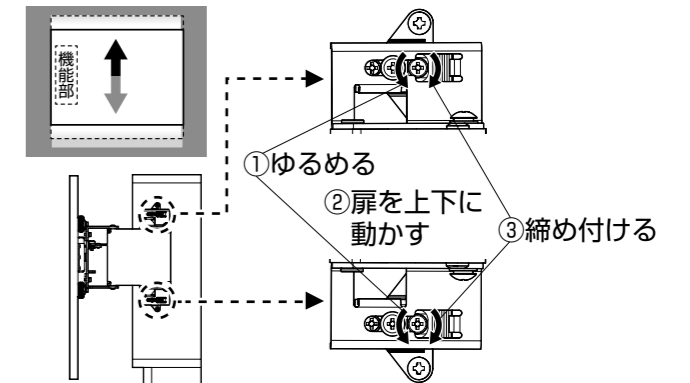
※スライド扉を閉める際、扉が途中で止まる場合は、いったん全開にしてください(表紙参照)。

左スライド扉

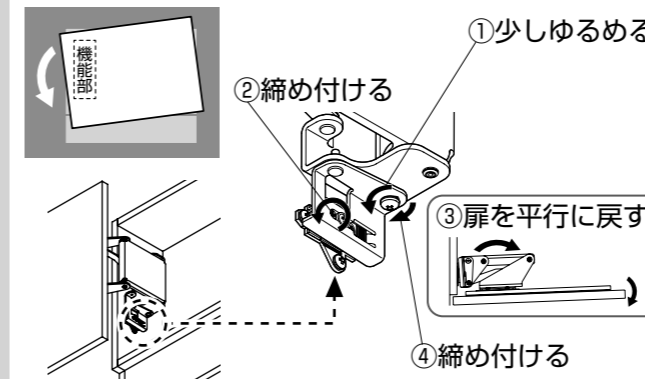
左右に動かす場合



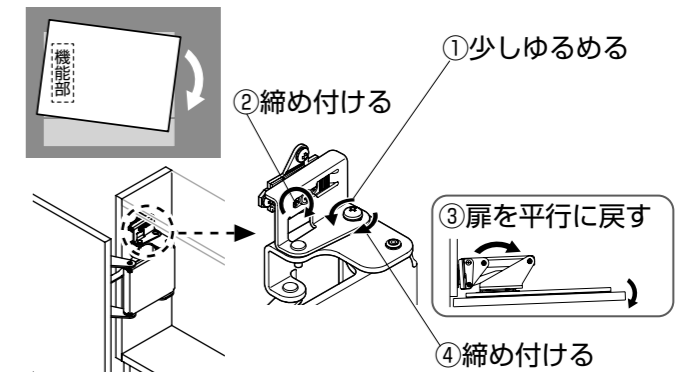
上下に動かす場合



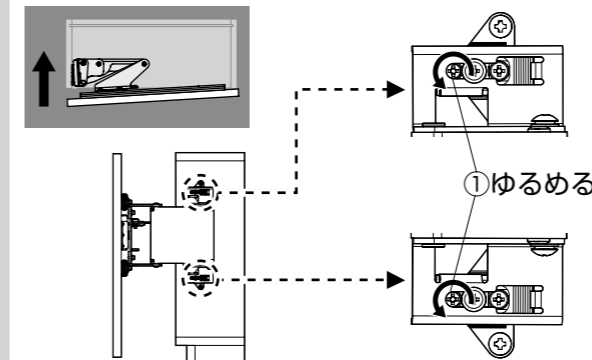
左側を下げる場合



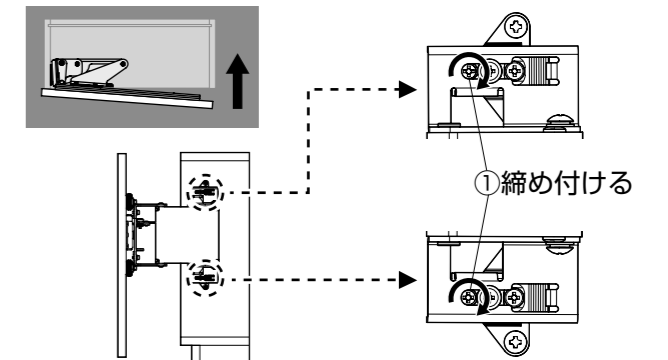
右側を下げる場合



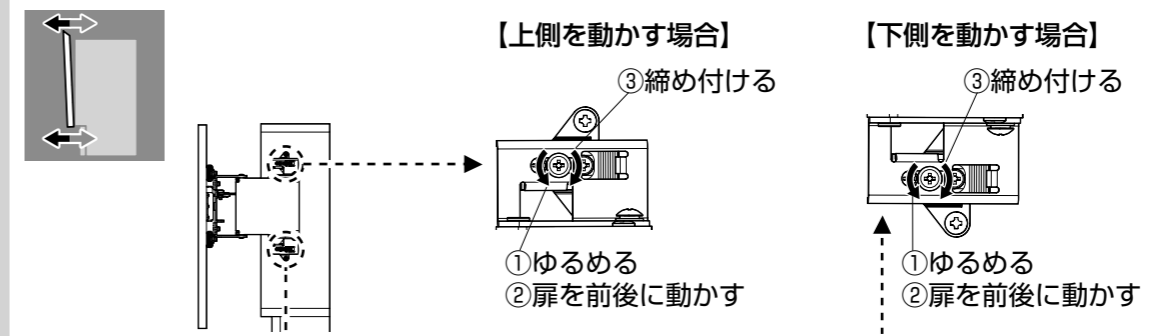
左側にすき間がある場合



右側にすき間がある場合



上下どちらかを前後に動かす場合



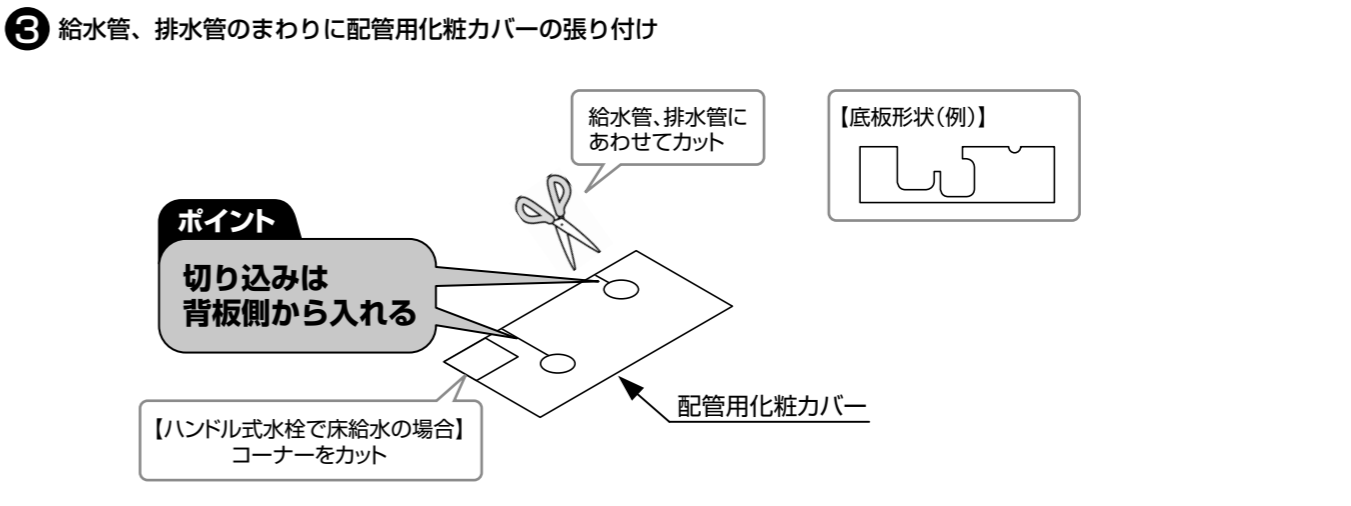
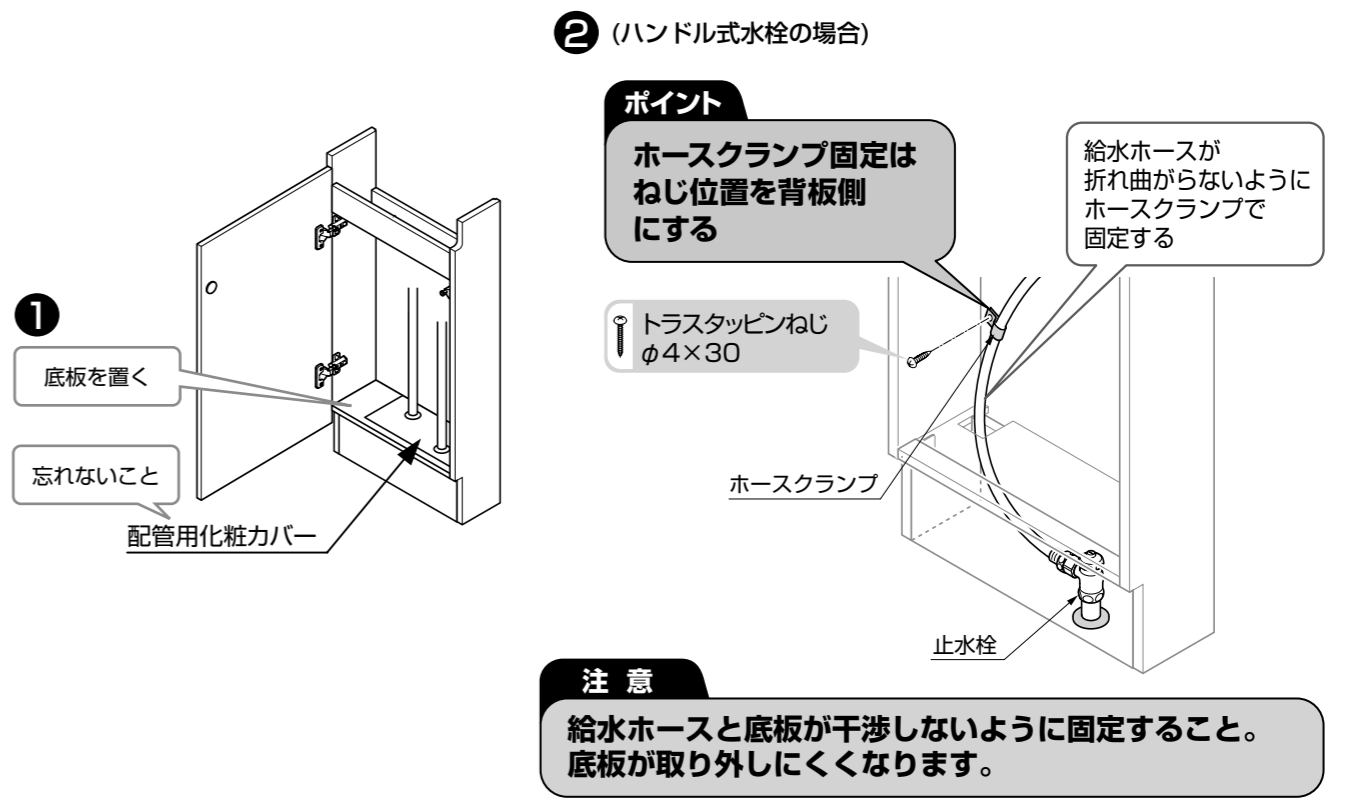
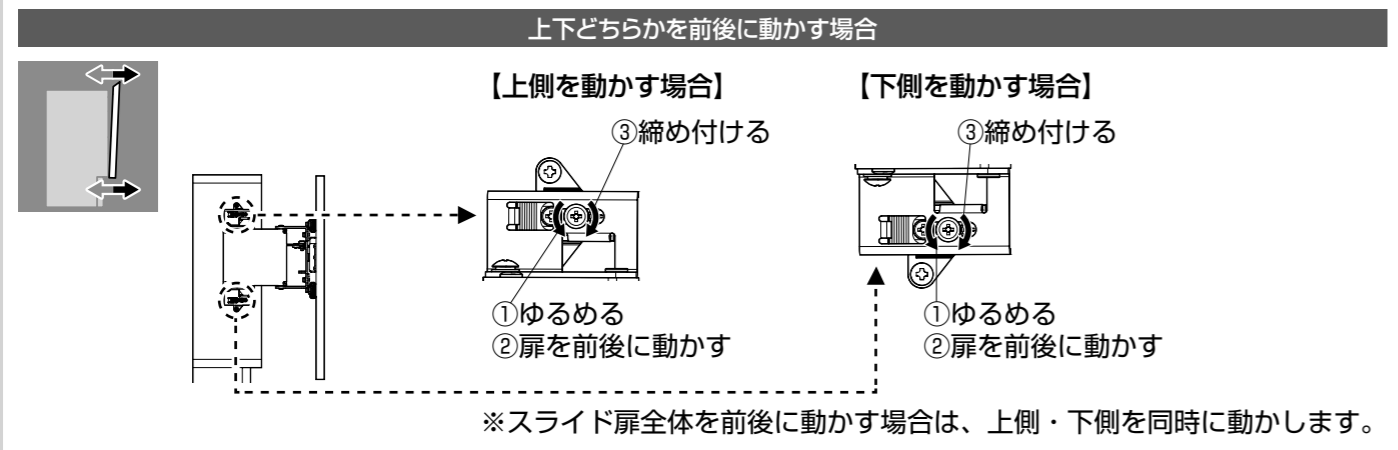
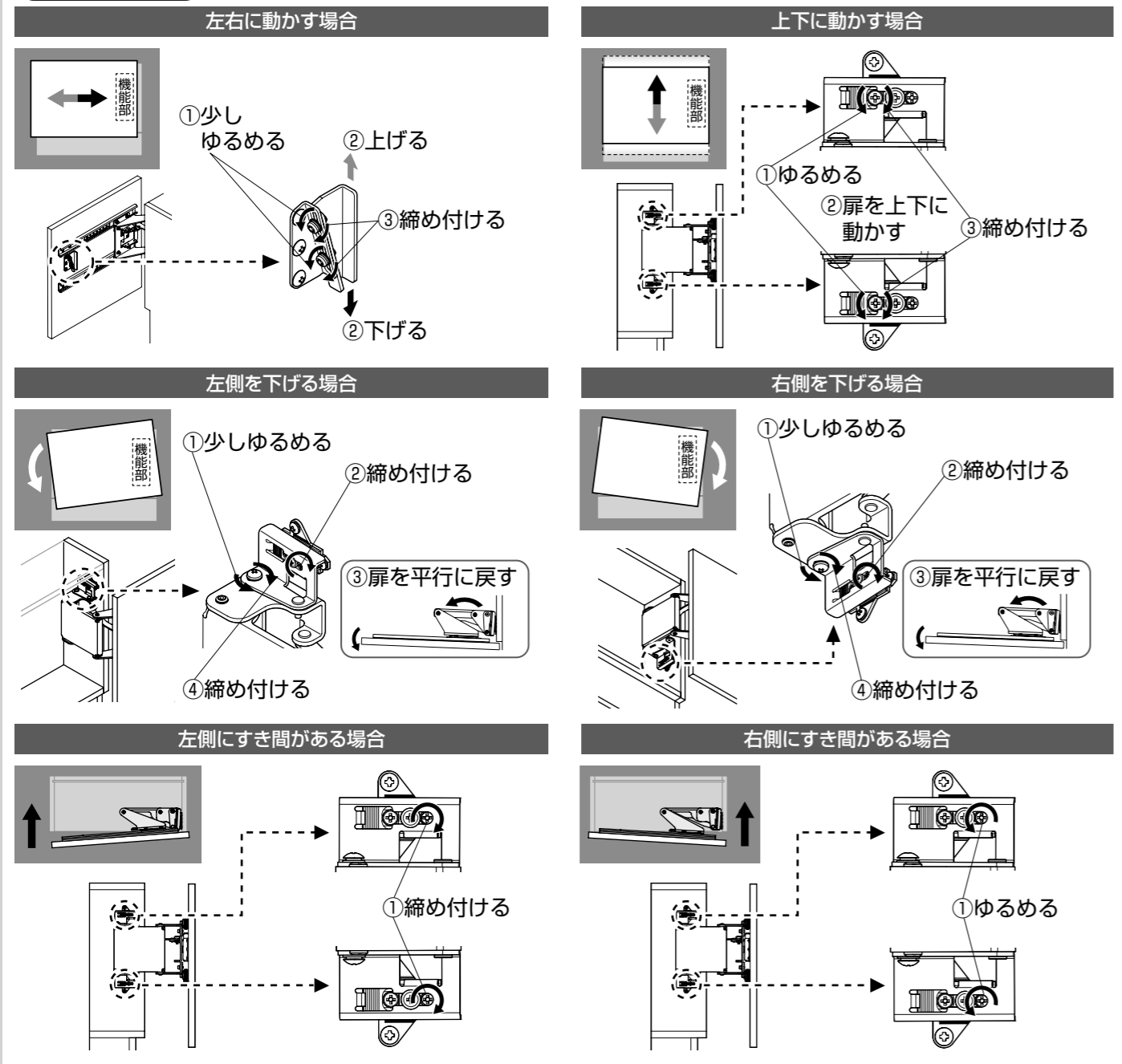
※スライド扉全体を前後に動かす場合は、上側・下側を同時に動かします。

MEMO

15. 配管用化粧カバー

1 配管用化粧カバーの張り付け

右スライド扉

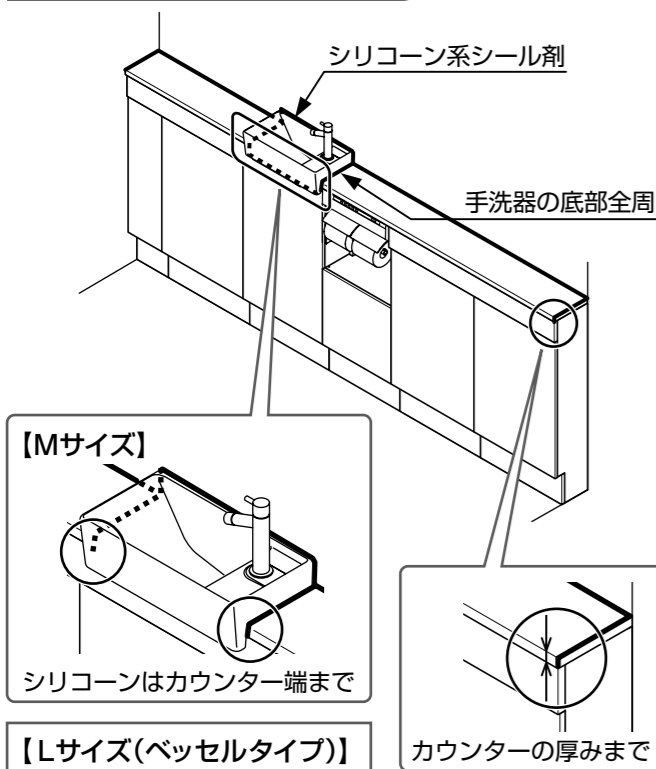


MEMO

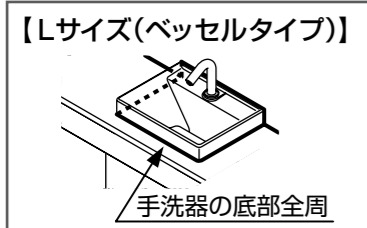
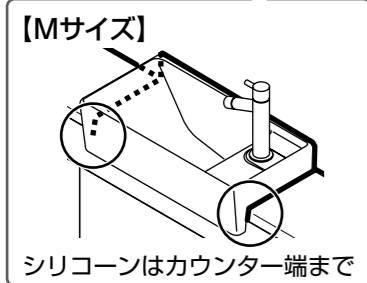
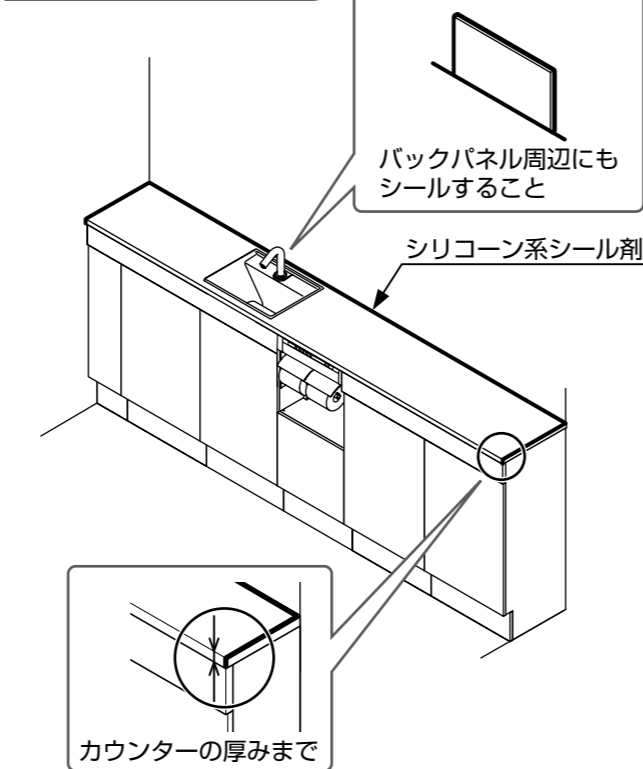
16. シリコン系シール剤

1 シリコン系シール剤の塗布

Mサイズ・Lサイズ(ベッセルタイプ)



Lサイズ(ポウル一体タイプ)

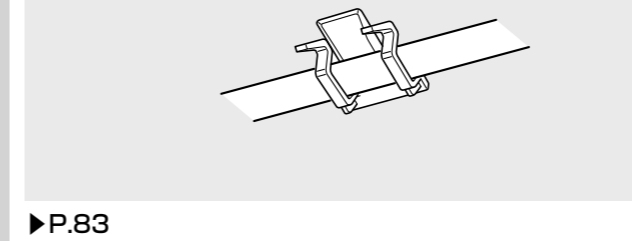


警告
必ず守る
シリコン系シール剤の塗布(コーキング)は確実に
水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の
原因となります。

MEMO

17. ビルトインリモコン組み合わせ設定

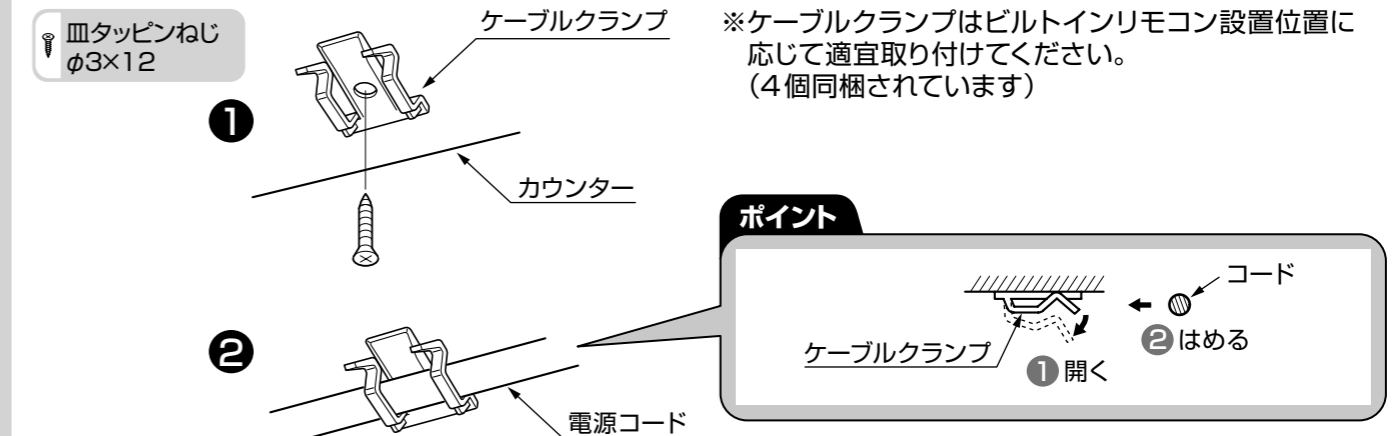
1 ビルトインリモコン電源コードの固定



2 ビルトインリモコンの組み合わせ設定

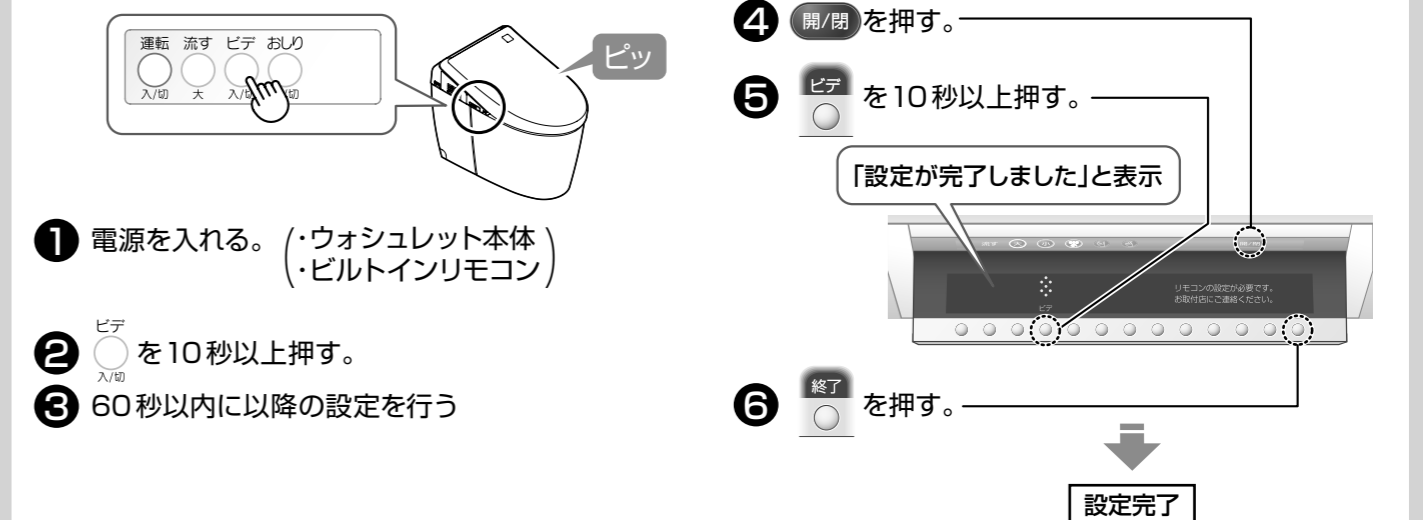


1 ビルトインリモコン電源コードの固定



2 ビルトインリモコンの組み合わせ設定

※設定をしないとビルトインリモコンは動作しません。必ず下記の設定を行ってください。



※正常に設定されない場合はもう一度最初からやり直してください。

工事店様へ

このたびはレストルームドレッサー システムシリーズを施工いただきありがとうございました。

UGX1120

